



取扱説明書

CuratOR[®] MIR-1

4K メディカル イメージング レコーダー

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

絵表示について

本書および本体では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
	注意（警告を含む）を促すものです。例えば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。例えば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. この製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

使用上の注意

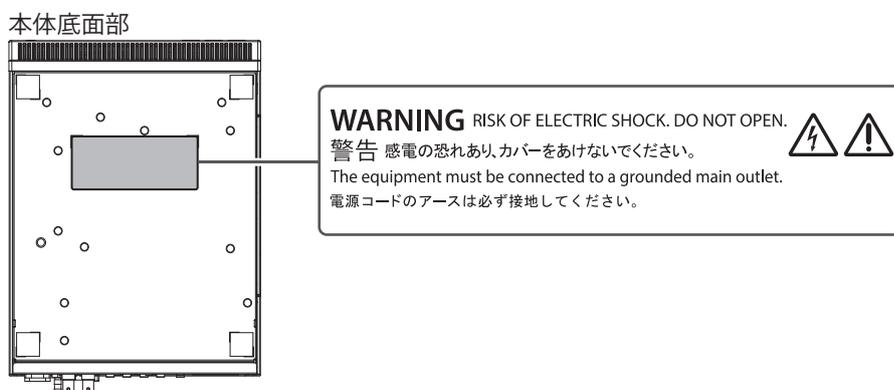
重要

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If operated outside this region, the product may not perform as stated in the specifications.

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

警告表示位置



参考

- 本体底面部に、次の情報が記載されたラベルが貼付されています。貼付位置は上記「警告表示位置」のとおりです。
 - 本製品の製造業者、製品名、定格電圧
 - 警告表示

製品に使われている記号について

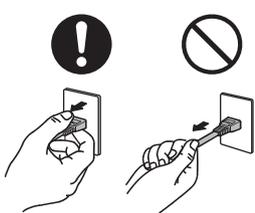
記号	意味
○	主電源スイッチ：この製品の主電源をオフにします。
⏻	主電源スイッチ：この製品の主電源をオンにします。
⏻	電源スイッチ：この製品の電源をオンまたはオフにします。
～	交流
⚡	危険警告・感電
⚠	注意

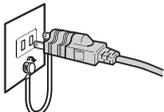
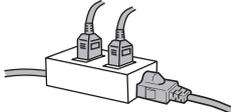
使用上の注意

記号	意味
	等電位
	段ボールのリサイクルマーク
	リサイクルマーク
	欧州包装廃棄物指令に基づく段ボールの材質表示
	最大積段数（記号内の数値は製品によって異なります。）
	天地無用
	水濡れ注意
	われもの注意

警告

<p> 警告</p>	<p>万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡する そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。</p>	
<p> 警告</p>	<p>分解しない、製品を改造しない この製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。</p>	
<p> 警告</p>	<p>修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。</p>	
<p> 警告</p>	<p>異物を入れない、液体を置かない この製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。 万一、この製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。</p>	
<p> 警告</p>	<p>丈夫で安定した場所に正しく設置する 取扱説明書に従って、十分な強度のある場所に正しく設置してください。正しく設置されていないと、落下したり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。 万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。</p>	

<p> 警告</p>	
<p>次のような場所で使用しない 火災や感電、故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 屋外・ 車両・船舶などへの搭載・ 湿気やほこりの多い場所・ 水滴のかかる場所。浴室、水場など・ 油煙や湯気が直接当たる場所・ 熱器具、加湿器の近く・ 直射日光が直接製品に当たる場所・ 可燃性ガスのある環境・ 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境・ ほこりや空气中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境	
<p> 警告</p>	
<p>プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する 包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。</p>	
<p> 警告</p>	
<p>付属の電源コードを使用し、100VAC電源に接続して使用する 付属の電源コードは日本国内100VAC専用品です。 誤った接続をすると火災や感電の原因となります。</p>	
<p> 警告</p>	
<p>電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。</p> <div data-bbox="343 1579 598 1792"></div>	 

<p>⚠ 警告</p>	<p>電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する</p> <p>なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。</p> <p>二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。</p>  
<p>⚠ 警告</p>	<p>次のような誤った電源接続をしない</p> <p>誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続 ・タコ足配線  
<p>⚠ 警告</p>	<p>電源コードを傷つけない</p> <p>電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。</p> 
<p>⚠ 警告</p>	<p>操作者はこの製品に触れたまま患者に接触しない</p> <p>この製品は患者との接触を意図していません。</p> 
<p>⚠ 警告</p>	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない</p> <p>感電の原因となります。</p> 
<p>⚠ 警告</p>	<p>製品の後段に診断や治療などの医療行為をおこなう機器を接続しない</p> <p>万一、製品が故障した場合、医療行為に支障をきたす可能性があります。</p> 

 **警告**

電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れ、やけどの原因となります。

- 電池を飲み込まない。化学反応による障害の危険があります。誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- この製品は、コイン/ボタン形電池を含んでいます。コイン/ボタン形電池を飲み込んだ場合、2時間足らずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至る可能性があります。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、きれいな水で洗い流す。
- 電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師に相談する。
- 分解や加熱をしたり、濡らしたり、ショートさせたりしない。
- 一次電池は充電しない。



 **警告**

電池は子供の手の届かないところに置く

電池を誤って飲み込むと窒息や中毒の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。電池収納部がしっかり閉まらない場合、製品の使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。

この製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



注意

<p> 注意</p>	
<p>使用する前に必ず動作確認をする</p> <p>画面に入力信号が表示されること、および録画テストをおこない録画できることを確認してから使用してください。録画テストの方法については、録画をテストする [P. 56]を参照してください。</p>	
<p> 注意</p>	
<p>固定機能付きケーブル/コードは、固定して使用する</p> <p>固定せずに使用すると、ケーブル/コードが抜けて動作しなくなる原因となります。</p>	
<p> 注意</p>	
<p>運搬のときは、接続コードやオプション品を外す</p> <p>コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。</p>	
<p> 注意</p>	
<p>製品の前面底部および背面にある通風孔をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> 通風孔の上や周囲にものを置かない。 風通しの悪い、狭いところに置かない。 横倒しや逆さにして使わない。 <p>通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。</p>	
<p> 注意</p>	
<p>濡れた手で電源プラグに触れない</p> <p>感電の原因となります。</p> 	
<p> 注意</p>	
<p>電源プラグの周囲にものを置かない</p> <p>火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。</p>	

使用上の注意

 注意	
落下などによる衝撃を製品に与えない 衝撃を受けた状態で使用すると、火災や感電の原因となります。	
 注意	
電源プラグ周辺および製品の前面底部および背面にある通風孔は定期的に掃除する ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。	
 注意	
クリーニングの際は電源プラグを抜く プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。	
 注意	
長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源コンセントから電源プラグも抜く	

この製品について

使用用途

この製品は、医療機器などで撮影された画像や映像を記録することを意図しています。

注意点

- この製品およびこの製品で記録された画像や映像は、診断用を使用することは意図していません。
- 本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。
- 本書に定められている仕様は、付属の電源コード使用時にのみ適用いたします。
- この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

使用上の留意点

- 長時間使用することにより、製品内部の部品が劣化することがあります。正常に動作することを定期的を確認してください。
- この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたり、温度が低い部屋から高い部屋に移動したりすると、製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。
- 画像、映像、および音声の記録については、著作権に関する法律に十分ご注意ください。
- この製品にはSSDが内蔵されています。この製品で記録された画像、映像、および音声などのデータは内蔵SSDに保存され、古いものから順に自動的に削除されます（自動削除機能を「オン」にしている場合のみ）。記録データを長期保管する場合は、サーバーなどの別のストレージに保存してください。
- 内蔵SSDに保存されたデータが漏洩しないように当機器は適切に管理してください。盗難や第三者による不正操作などを防ぐ対策を講じてください。
- ネットワーク機能を初めて使用するまたはネットワーク設定を変更する場合は、サーバーやネットワーク経路の負荷などのリスクを確認した上でご使用ください。
- タッチパネル使用時の注意事項
タッチ操作時には、次の点に注意してください。故障や誤操作の原因となります。
 - タッチパネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
 - ボールペンや金属類などの硬い物でタッチパネルをタッチしないでください。
 - タッチパネルおよびその周囲にラベルなどを貼ったり、物を接触させたりしないでください。

個人情報の保護について

この製品を使用して記録された個人を特定できる映像は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。法律に従って、映像を適切に取り扱ってください。

サイバーセキュリティに関するお願い

- サイバー攻撃から製品や情報資産を保護するため、以下の対策をおこなってください。
 - 第三者が製品またはデータを保存した（外部）ストレージに物理的にアクセスできないように保護する。
 - ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上でこの製品を使用する。
 - パスワードが流出しないように管理する。
- EIZO株式会社またはその代理店からソフトウェアを更新するように案内があった場合は速やかにソフトウェア更新をおこなってください。ソフトウェアの更新データはEIZO株式会社またはその代理店を通じて提供されたものを使用してください。
- この製品は、ログオンパスワードを設定できます。管理者ユーザーのパスワードを忘れると、データを復元することができなくなります。パスワードを紛失しないように注意してください。
- この製品は、患者情報を暗号化して保存する機能を搭載しています。暗号化の際に設定したパスワードを忘れると、データを復元することができなくなります。パスワードを紛失しないように注意してください。
- 万一パスワードを忘れた場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。（復旧には製品のリセットが必要となります。その際、この製品内に保存されているデータ、設定情報およびユーザー情報はすべて削除されます。）
- 患者情報の暗号化は無効化できます。無効化する場合は、データを保存するストレージやアクセスするネットワークが適切に保護されていることを事前に確認し、管理者の責任においておこなってください。
- この製品は、製品起動時にユーザー名とパスワードの入力を省略して自動的にログオンするように設定できます。自動ログオンを設定する場合は、不正アクセスを防止する対策を講じた上で管理者の責任においておこなってください。

クリーニング

- この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。
- 製品に付いた汚れは、少量の水や、水で薄めた中性洗剤をしめらせた柔らかい布を使って、やさしく拭き取ってください。

注意点

- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、製品をいためるため絶対に使用しないでください。
- 消毒のためにアルコールなどの薬品を使用すると、ひび割れ、光沢の変化、変色、色あせ、表示画質の劣化などにつながる恐れがあります。ご使用の際は次の点に注意してください。
 - 製品に薬品を直接吹き付けしないでください。
 - 薬液含浸済のウェットワイパー類は液量が多いことがありますので使用をお控えください。
 - 製品の隙間や内部に薬品が入らないようにしてください。
- クリーニングおよび消毒の詳細は、当社Webサイトをご確認ください。
 確認方法：www.eizo.co.jpにアクセスし、サイト内検索ボックスに「消毒」と入力して検索

薬品による消毒

- 柔らかい布地に、軽くしめらせる程度の薬品を付けてやさしく拭いてください。
 製品を消毒する場合は、当社でテスト済みの薬品の使用をお勧めします（次の表を参照してください）。なお、これらの薬品を使用した場合でも、製品が損傷したり劣化しないことを保証するものではありません。

分類	薬品の種類	商品例
アルコール系	消毒用エタノール（エチルアルコール）	エタノール
アルコール系	イソプロパノール	イソプロピルアルコール（IPA）
塩素系	次亜塩素酸ナトリウム	ピューラックス
ビグアナイド系	グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン液
アルコール系	塩化ベンザルコニウム	ウエルパス
アルデヒド系	グルタラール	ステリハイド
アルデヒド系	グルタラール	サイデックスプラス28
両性界面活性剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩	サテニジン液
アンモニア	アンモニア	アンモニア水
第四級アンモニウム塩	塩化ベンザルコニウム	ザルコニン液
第四級アンモニウム塩	塩化ベンゼトニウム	ベゼトン液
酸化剤	過酸化水素	オキシドール

目次

使用上の注意	3
重要	3
警告表示位置	3
製品に使われている記号について	3
警告	5
注意	9
この製品について	11
使用用途	11
使用上の留意点	11
個人情報の保護について	12
サイバーセキュリティに関するお願い	12
クリーニング	12
薬品による消毒	13
1 はじめに	18
1.1 特長	18
1.1.1 録画性能	18
1.1.2 入出力	18
1.1.3 操作	18
1.1.4 データ管理	19
1.2 梱包品の確認	19
1.3 各部の名称と機能	20
1.3.1 前面	20
1.3.2 側面	21
1.3.3 背面	22
1.3.4 ホーム画面	23
1.3.5 記録モード画面	24
1.3.6 ソフトウェアキーボード	25
1.4 システム構成例	26
2 セットアップ	27
2.1 設置	27
2.1.1 設置条件	27
2.1.2 ラックへの取り付け	28
2.2 接続	28
2.2.1 ケーブルを接続する	28
2.2.2 電源を入れる / 電源を切る	30
2.3 設定	30
2.3.1 ユーザーを登録する	30
2.3.2 言語を設定する	33
2.3.3 現在の時刻とタイムゾーンを設定する	35
2.3.4 映像入力信号を設定する	37

2.3.5	音声入力信号を設定する（任意）	37
2.3.6	ネットワークの設定をおこなう（任意）	38
2.3.7	同時記録の設定をおこなう（任意）	42
2.3.8	モニターのタリー機能を使用する（任意）	44
2.3.9	バーコード入力を使用する（任意）	45
2.3.10	トリガー入力を使用する（任意）	46
2.3.11	その他.....	47
2.3.12	試運転.....	47
3	操作の流れ.....	48
3.1	操作の流れ.....	48
3.1.1	Step 1 録画の準備	48
3.1.2	Step 2 録画 / 静止画のキャプチャ	49
3.1.3	Step 3 再生	50
3.1.4	Step 4 記録モードの終了.....	50
3.1.5	Step 5 電源を切る	51
4	録画 / 再生.....	52
4.1	録画の準備	52
4.1.1	外部ストレージを接続する	52
4.1.2	患者情報を入力する	55
4.1.3	録画をテストする.....	56
4.2	録画.....	57
4.3	静止画のキャプチャ.....	59
4.4	再生.....	59
4.5	記録モードの終了	61
4.6	記録データの操作	63
4.6.1	条件を指定して検索する.....	63
4.6.2	記録データの一覧を並べ替える	63
4.6.3	記録データの詳細を確認する.....	64
4.6.4	患者情報を変更する	64
4.6.5	記録一覧から録画を再生する / 静止画を表示する	65
4.6.6	記録データを外部ストレージにコピーする	65
4.6.7	記録データを削除する.....	66
5	設定.....	68
5.1	設定一覧.....	68
5.1.1	映像入力.....	69
5.1.2	音声入力.....	70
5.1.3	録画.....	71
5.1.4	ストレージ	73
5.1.5	患者情報.....	74
5.1.6	画面表示.....	76
5.1.7	ユーザー	77
5.1.8	システム.....	79

5.2	映像入力.....	84
5.2.1	映像入力信号の設定.....	84
5.3	音声入力.....	85
5.3.1	音声入力信号の設定.....	85
5.4	録画.....	86
5.5	ストレージ.....	89
5.5.1	内蔵SSD.....	89
5.5.2	USBストレージ.....	90
5.6	患者情報.....	92
5.6.1	ID入力.....	92
5.6.2	バーコードリーダー.....	93
5.7	画面表示.....	95
5.8	システム.....	95
5.8.1	日付時刻.....	95
5.8.2	言語.....	95
5.8.3	ネットワーク.....	97
5.8.4	明るさ.....	99
5.8.5	音声.....	100
5.8.6	周辺機器.....	100
5.8.7	セキュリティ.....	103
5.8.8	初期化.....	104
5.8.9	ソフトウェア更新.....	106
5.8.10	ログ.....	107
5.8.11	ライセンス情報.....	108
5.8.12	キャリブレーション.....	109
6	インフォメーション.....	111
6.1	機器情報.....	111
6.2	現在の設定.....	111
6.3	入力信号.....	112
6.4	ネットワーク.....	112
6.5	ログインユーザー.....	113
6.6	ストレージ.....	113
6.6.1	内蔵SSD.....	113
6.6.2	NAS.....	114
6.6.3	USBストレージ.....	114
7	メンテナンス.....	116
7.1	記録データの退避.....	116
7.2	ソフトウェア更新.....	116
8	こんなときは.....	117
8.1	映像が出力されない場合.....	117
8.2	タッチパネルに関する症状.....	118
8.3	録画に関する症状.....	118

8.4	その他の症状	120
9	仕様	122
9.1	仕様	122
9.1.1	映像入力	122
9.1.2	映像出力	122
9.1.3	録画	122
9.1.4	録音	122
9.1.5	電源	122
9.1.6	機構	122
9.1.7	タッチパネル	122
9.1.8	USB（前面）	123
9.1.9	USB（背面）	123
9.1.10	音声入力	123
9.1.11	音声出力	123
9.1.12	ネットワーク	123
9.1.13	その他	123
9.1.14	動作環境条件	123
9.1.15	輸送 / 保存環境条件	124
9.2	対応解像度	125
9.3	外観寸法	126
9.4	オプション品	126
9.4.1	フットスイッチ（CuratOR FS500）	126
付録	129
	商標	129
	ライセンス	129
	医療規格	130
	EMC情報	131
	意図した使用環境	131
	技術的説明	132
	VCCI	137
	その他規格	137
アフターサービス	138
	修理を依頼される時	138
	修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容	138
	廃棄について	138
保証書	140

1 はじめに

1.1 特長

1.1.1 録画性能

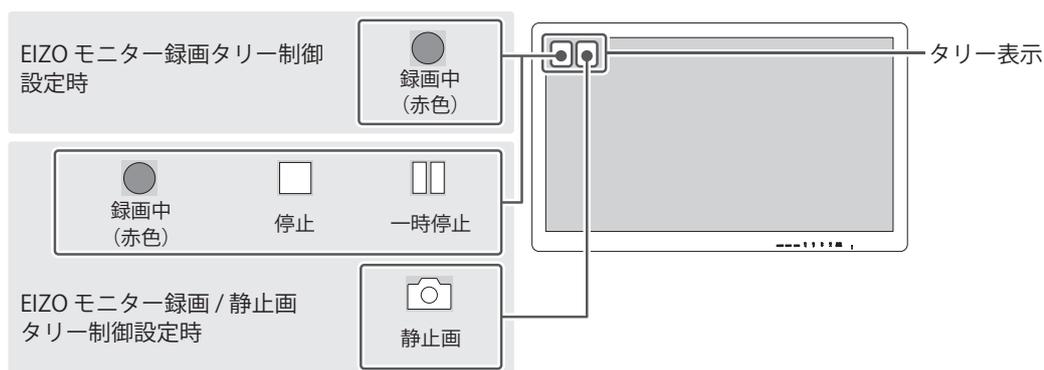
- 4K解像度の60Hz録画に対応
- H.264とH.265の映像圧縮規格に対応
映像圧縮方式は、従来の国際標準規格H.264 / AVCと、その約2倍の圧縮率を実現し後継規格とされるH.265 / HEVCにも対応しています。記録した手術映像の再生および編集方法に合わせて圧縮規格を選択できます。

1.1.2 入出力

- 4Kに対応したBNC（12G-SDI）端子とHDMI®端子を搭載
- ループスルー出力対応
SDIとHDMIはループスルー出力に対応しています。

1.1.3 操作

- 視認性の良いタッチパネルモニター
前面に5.0型のタッチパネルモニターを搭載しています。
画面タッチで直感的な操作が可能です。
- タリー表示機能
EIZO CuratORシリーズモニターをご使用の場合、録画中は画面内にタリー表示が可能です。本機の動作状態を示すアイコンが表示されます。（表示されるアイコンはモニターによって異なります。）



1.1.4 データ管理

- 外部ストレージに同時記録可能^{※1}

内蔵SSDに映像を記録すると同時にネットワーク接続型ストレージ（以降NAS）やUSB端子に接続されたストレージ（最大2台まで）にも記録されます。NASやUSBストレージを接続してから記録を始めると、記録後のデータ転送が不要になります。同時記録はNASとUSBストレージのどちらか一方となります。

- 安心電源機能

録画中に電源が遮断された際にも、一定時間稼働状態を維持し、正常に録画を終了する回路を搭載しています。録画データの破損を防止します。

- 自動削除機能

自動削除機能が「オン」の状態の内蔵SSDの空き領域が一定の値を下回ると、自動的に古いデータから削除されます。録画中に内蔵SSDの空き領域が不足し、録画が停止することを防ぎます。

※1 音声を記録する場合は、LAN1端子に接続されたNASまたはUSB1端子に接続されたUSBストレージに記録可能です。USB2端子に接続されたUSBストレージには記録できません。

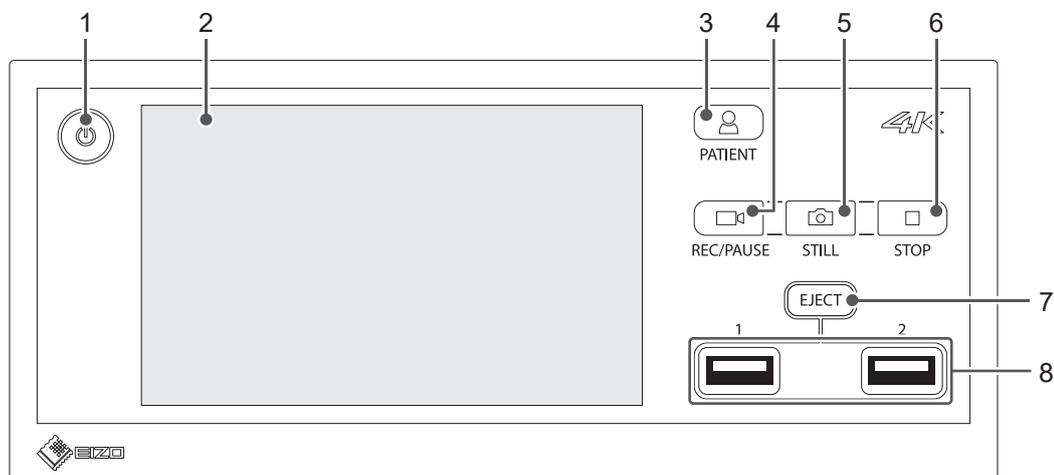
1.2 梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。

参考
<ul style="list-style-type: none"> • 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。 • レコーダー本体 • HDMIケーブル（2.0 m） • 電源コード（二芯アダプタ付き）（2.0 m） • HDMIケーブルクランプ（3個） • 電源コードクランプ（1個） • 取扱説明書（本書、保証書付き） • お客様ご相談窓口のご案内

1.3 各部の名称と機能

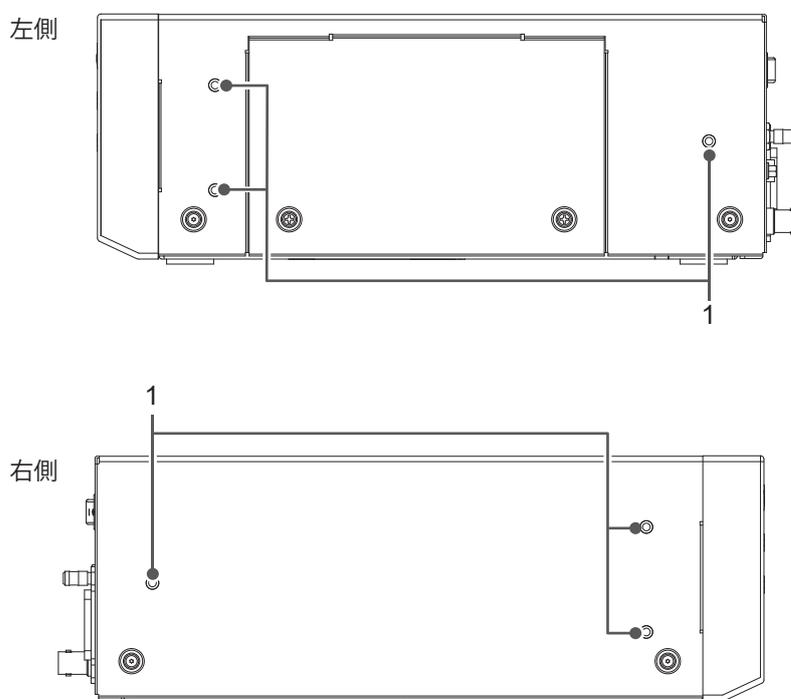
1.3.1 前面



<p>1. 「POWER」 ボタン</p>	<p>背面の主電源スイッチが入った状態でこのボタンを押すと、電源が入り、タッチパネルモニターと各ボタンが点灯します。</p> <p>製品の稼働状態に応じて「POWER」ボタン (Ⓢ) のランプの色が変化します。</p> <p>緑：稼働状態、橙：スタンバイ状態、消灯：主電源オフ</p>
<p>2. タッチパネルモニター</p>	<p>タッチパネルモニターで各項目の設定をおこないます。</p> <p>テキスト入力のある画面では、ソフトウェアキーボードが表示されます。</p>
<p>3. 「PATIENT」 ボタン</p>	<p>このボタンを押すと、「患者情報」画面に移動します。</p>
<p>4. 「REC/PAUSE」 ボタン</p>	<p>このボタンを押すと、録画面面に移動し録画を開始します。</p> <p>録画中は、タッチパネルモニターにⓈと録画経過時間が表示されます。録画中にこのボタンを押すと、録画を一時的に停止することができます。一時停止中はタッチパネルモニターに⏸が表示されます。再度押すと、録画が再開されます。</p>
<p>5. 「STILL」 ボタン</p>	<p>このボタンを押すと、静止画のキャプチャをします。</p> <p>キャプチャをすると、タッチパネルモニターに一定時間、静止画キャプチャで撮影された画像または📷が表示されます。</p>
<p>6. 「STOP」 ボタン</p>	<p>このボタンを押すと、録画を停止します。</p> <p>録画停止後、タッチパネルモニターに一定時間⏹が表示されません。</p>

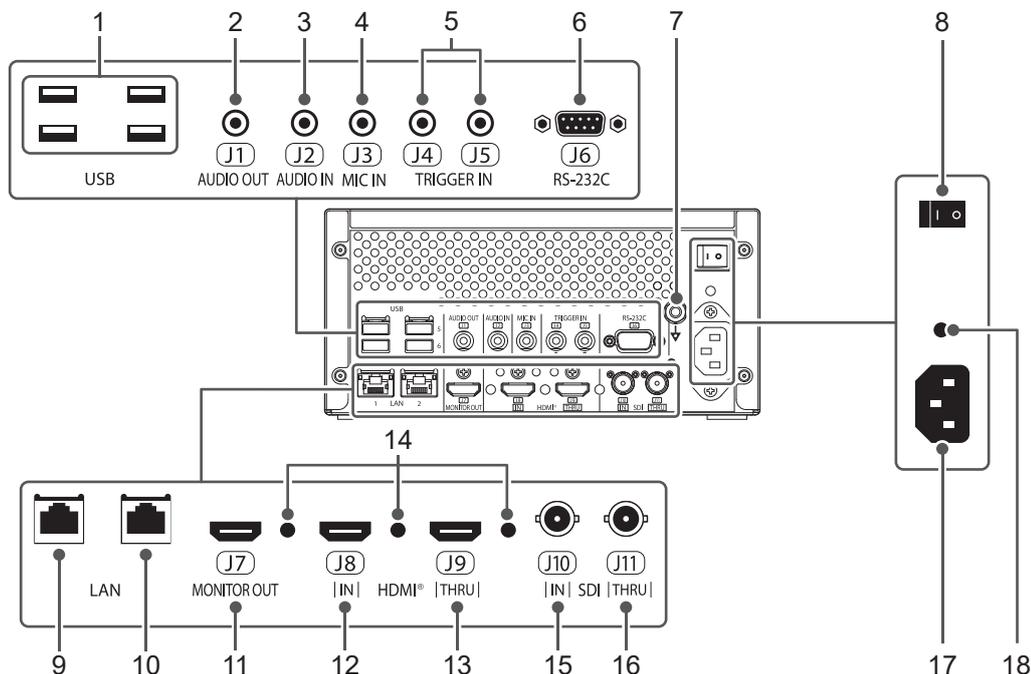
7. 「EJECT」 ボタン	<p>このボタンを押すと、USBストレージを取り出し可能な状態にします。</p> <p>取り出し可能な状態になると、タッチパネルモニターに「USBストレージを取り外すことができます。」とメッセージが表示されます。この製品がUSBストレージにアクセスしているときは、タッチパネルモニターに「USBストレージがアクセス中のため、取り外せません。」とメッセージが表示され、取り出し処理がキャンセルされます。</p>
8. USB端子 (USB 5Gbps)	<p>外付けのハードディスクおよびSSDなどのUSBストレージを接続し、記録データの書き出しに使用します。また、アップデートファイルをコピーしたUSBストレージを接続し、ソフトウェア更新をおこないます。</p> <p>USBハブ経由で接続したUSBストレージはサポートされません。</p>

1.3.2 側面



1. ラック取り付け用穴	<p>左右に各3か所あります。</p> <p>ラックなどに設置するときは、ねじで固定します。</p> <p>ねじ穴のサイズおよび深さは、ラックへの取り付け [P. 28]を参照してください。</p>
---------------------	---

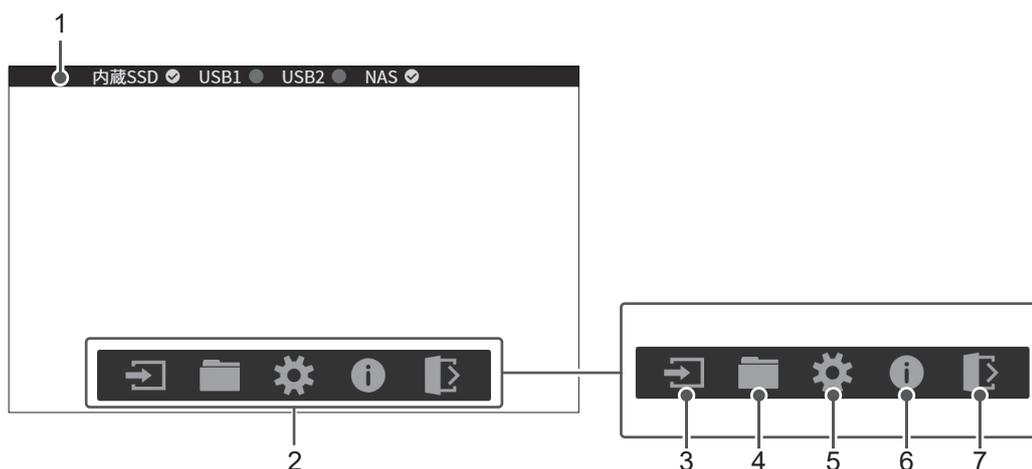
1.3.3 背面



1. USB端子 (USB2.0)	USBキーボード、USBバーコードリーダーなどの入力機器を接続します。
2. オーディオ出力端子 (J1)	再生時の音声を出力するための端子です。スピーカーなどの外部機器を接続します。
3. オーディオ入力端子 (J2)	マイク付きカメラなどの音声信号出力機器を接続します。ライン入力が可能です。マイク入力端子 (J3) との同時録音には対応していません。
4. マイク入力端子 (J3)	マイクなどの音声信号出力機器を接続します。オーディオ入力端子 (J2) との同時録音には対応していません。
5. トリガー入力端子 (J4) (J5)	フットスイッチや内視鏡CCUなどのトリガー出力機器を接続します。
6. RS-232C端子 (J6)	この端子にEIZO CuratORシリーズモニターを接続すると、タリー表示機能が使用できます。
7. 等電位端子	機器間の電位を等しくするための端子です。等電位プラグを接続します。
8. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。 ■：オン、●：オフ
9. LAN1端子	ネットワークに接続します。録画データをNASに保存するなどのネットワーク接続が必要な機能が利用できます。
10. LAN2端子	機能拡張用です。
11. HDMI出力端子 (Monitor OUT) (J7)	再生映像の確認用に外部モニターを接続します。 解像度は1920 x 1080のみをサポートします。 音声出力には対応していません。

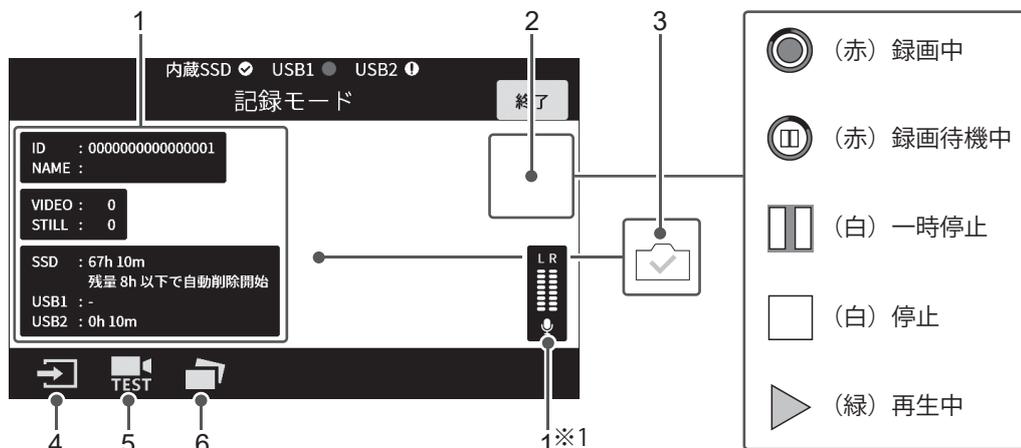
12. HDMI入力端子 (J8)	術野カメラなどの映像信号出力機器を接続します。音声入力には対応していません。
13. HDMI出力端子 (スルーアウト) (J9)	HDMI入力端子に入力された信号を無加工で出力します。
14. HDMIケーブルクランプ取り付け穴	HDMIケーブルの抜け防止のためのクランプを取り付けます。
15. SDI入力端子 (J10)	術野カメラなどの映像信号出力機器を接続します。音声入力には対応していません。
16. SDI出力端子 (スルーアウト) (J11)	SDI入力端子に入力された信号を無加工で出力します。
17. 電源入力端子	付属の電源コードを接続します。
18. 電源コードクランプ取り付け穴	電源コードの抜け防止のためのクランプを取り付けます。

1.3.4 ホーム画面



1. ステータスバー	タッチパネルモニター上部にステータスバーが表示されます。内蔵SSDと外部ストレージの接続状態、および現在の日付時刻を表示します。外部ストレージの接続状態は 外部ストレージを接続する [P. 52] を参照してください。
2. ホーム画面メニュー	ログインするとホーム画面メニューが表示されます。
3. 入力信号切り替え	入力信号 (SDI / HDMI) の切り替えができます。
4. 記録一覧	このボタンを押すと「記録一覧」に移動します。
5. 設定	このボタンを押すと「設定」に移動します。 注意点 ログインしたユーザーのタイプが「管理者」の場合のみ有効です。
6. インフォメーション	このボタンを押すと「インフォメーション」に移動します。 この製品に関する機器情報、現在の設定値などが確認できます。
7. ログアウト	このボタンを押すと、ログアウトを実行して、ログイン画面に移動します。

1.3.5 記録モード画面



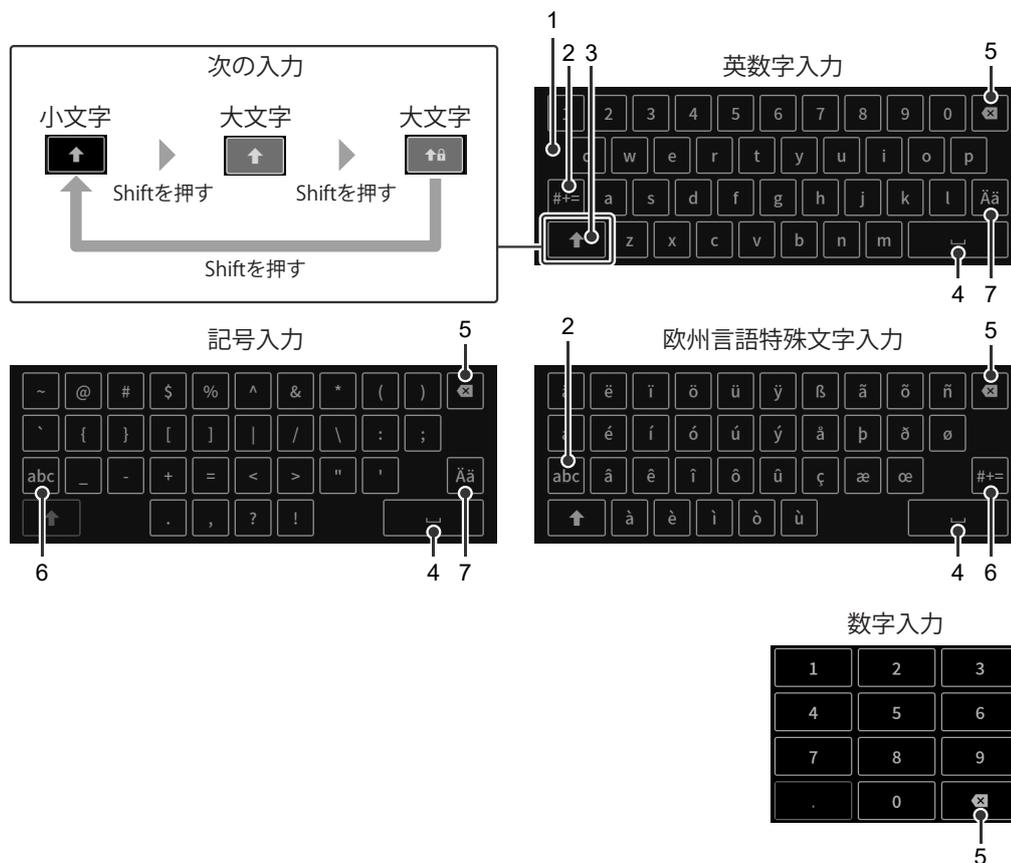
<p>1. オーバーレイ表示 (各種情報表示)</p>	<p>患者情報、記録データ数、ストレージ残量、および接続している音声信号出力機器からの入力音量を表示します。表示枠をタッチして表示 / 非表示の切り替えができます。表示枠外をタッチすると全表示 / 全非表示の切り替えができます。録画中のストレージ残量の表示は推定値です。想定される最大値で計算するため、実際の残量とは異なる場合があります。</p>
<p>2. 録画 / 再生状態表示</p>	<p>録画 / 再生状態を表示します。</p>
<p>3. 静止画撮影状態表示</p>	<p>静止画撮影状態を表示します (画面表示 [P.76]参照)。</p>
<p>4. 入力信号切り替え</p>	<p>入力信号 (SDI / HDMI) の切り替えができます。</p>
<p>5. 録画テスト</p>	<p>このボタンを押すと「録画テスト」を開始します。</p>
<p>6. 記録詳細</p>	<p>このボタンを押すと「記録詳細」に移動します。</p>

※1 入力音量は音声記録時のみ表示されます。

<p>参考</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ オーバーレイ表示および状態表示アイコンは記録データに保存されません。

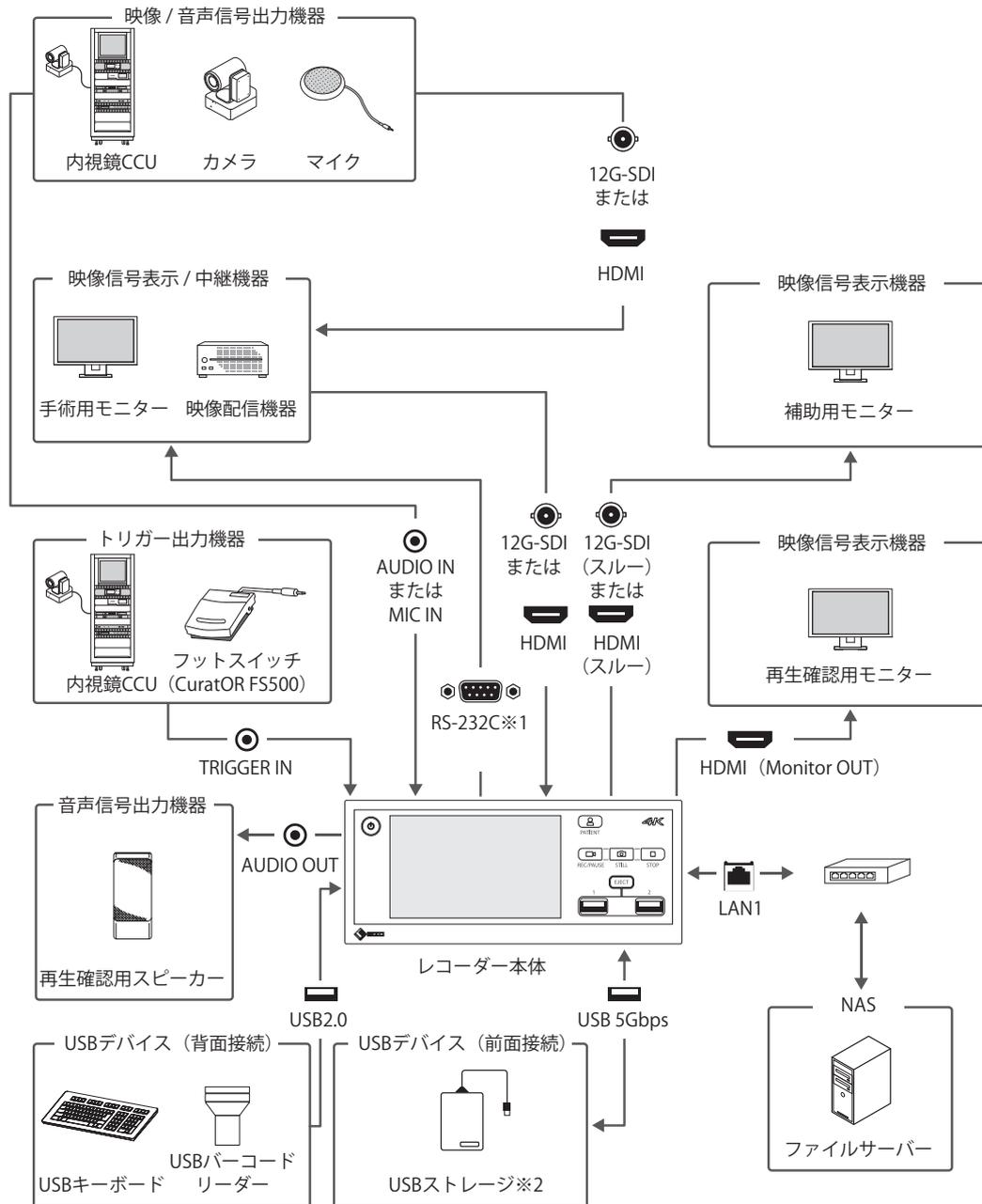
1.3.6 ソフトウェアキーボード

テキスト入力が必要な項目では、ソフトウェアキーボードが表示されます。



1. ソフトウェアキーボード	ソフトウェアキーボードは「英数字入力」、「記号入力」、「欧州言語特殊文字入力」および「数字入力」の4種類の表示があります。数字のみ入力可能な場合は「数字入力」、それ以外は「英数字入力」が表示されます。 「英数字入力」、「記号入力」または「欧州言語特殊文字入力」は、  、  または  で切り替えができます。 USBキーボードやバーコードリーダーによる入力も受け付けます。
2. 記号入力切り替え	このキーを押すと、「記号入力」に切り替わります。
3. Shift	このキーを1回押すと、次の入力文字が大文字に切り替わります。このときキーボードの各アルファベットが大文字で表示されます。もう1回押すと、連続大文字に切り替わり、Shiftキーに鍵マークが表示されます。 さらにもう1回押すと、小文字入力に戻ります。
4. Space	このキーを押すと、空白が挿入されます。
5. Backspace	このキーを押すと、前の文字が1文字ずつ削除されます。
6. 英数字入力切り替え	このキーを押すと、「英数字入力」に切り替わります。
7. 欧州言語特殊文字入力切り替え	このキーを押すと、「欧州言語特殊文字入力」に切り替わります。

1.4 システム構成例



※1 EIZO CuratORシリーズモニターを接続する場合のみ使用可能です。

※2 USB 5Gbps以上のSSD / HDDを使用してください。

注意点

- 本製品に接続するすべての機器は、IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、またはその他のIEC / ISO規格などに適合した機器を使用してください。

2 セットアップ

2.1 設置

2.1.1 設置条件

- 十分な強度のある安定した場所に設置してください。
- 必ず電源を切り、安全上の注意事項を守り、適切な場所に設置してください。
- 次のような場所に置かないでください。
 - 暑い場所や寒い場所
動作環境条件の温度は0 °C~40 °Cです。
 - 湿度の高い場所
動作環境条件の湿度は20 %~80 %R.H. (結露なきこと) です。
 - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生する機器の近く
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
 - 蛍光管や窓の反射の影響を受ける場所
 - 不安定な照明下 (フリッカーが発生する場所)
 - レーザー光の近く
 - 高圧線や線路の近く
 - ほこりや砂の多い場所
 - 振動する場所
 - 水滴が発生しやすい場所
 - 蒸気や油分の多い場所
 - 可燃性雰囲気などの特殊な環境
 - 放射線やX線、および塩害や腐食性ガスの発生する場所
 - プールや温泉など、薬剤を使用する場所
- 水平に設置してください。縦置きなどにしないでください。
- 落下の恐れのない平らな場所に設置してください。
- この製品の上に物を積まないでください。

2.1.2 ラックへの取り付け

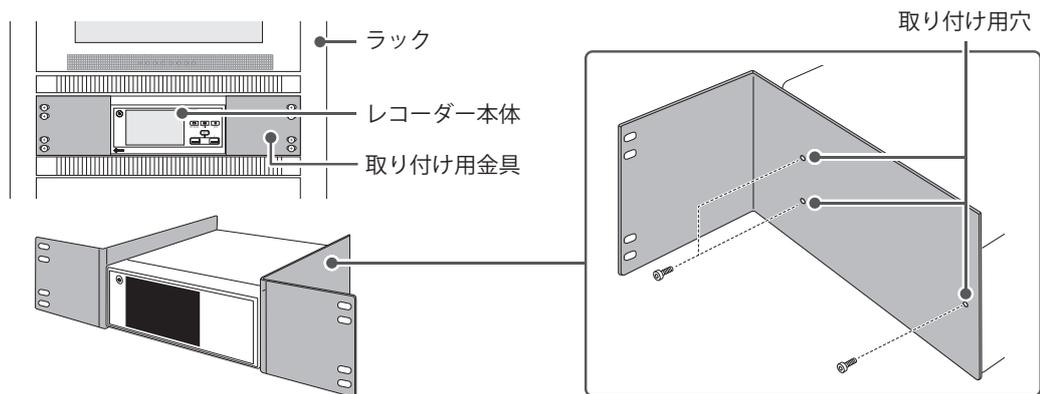
ラックに取り付ける際は、底面のゴム足を必要に応じて取り外してください。

側面の取り付け用穴を使用します（左右各3か所）。

取り付け用穴サイズはM4です（最大深さ 16.3 mm）。製品の破損を防止するため、必ずこの仕様に合ったねじを使用してください。

注意点

- ・ ラックに取り付けた状態で、この製品の上に物を積まないでください。



2.2 接続

2.2.1 ケーブルを接続する

詳細は、[1.4 システム構成例 \[P. 26\]](#)を参照してください。

1. カメラなどの映像信号出力機器を接続します。

接続する映像信号出力機器に応じてHDMI入力端子またはSDI入力端子に接続します。

注意点

- ・ 接続ケーブルは、付属品、別売オプション品、または当社指定製品を使用してください。
- ・ HDMI入力端子に接続する場合は、抜け防止のクランプ（付属品）を取り付けてください。
- ・ SDI入力端子に接続する場合は、12G-SDIに対応したケーブルを使用してください。
- ・ 足を引っ掛けないように、接続ケーブルは人の動線を外して引きまわしてください。
- ・ この製品の電源を入れた状態で接続ケーブルの抜き差しをおこなわないでください。

参考

- ・ この製品の対応解像度については、[9.2 対応解像度 \[P. 125\]](#)を参照してください。

2. モニターなどの映像信号表示機器を接続します。

モニターなどの映像信号表示機器を接続する場合は、接続する映像信号表示機器に応じてHDMI出力端子またはSDI出力端子に接続します。

注意点

- 接続ケーブルは、付属品、別売オプション品、または当社指定製品を使用してください。SDI出力端子に接続する場合は、12G-SDIに対応したケーブルを使用してください。EIZO CuratORシリーズモニターをRS-232C経由で接続する場合は、ストレートケーブルを使用してください。
- HDMI出力端子に接続する場合は、抜け防止のクランプ（付属品）を取り付けてください。
- タリー機能を使用する場合は、RS-232Cで接続します。詳細は、[モニターのタリー機能を使用する（任意） \[P.44\]](#)を参照してください。
- この製品の電源を入れた状態で接続ケーブルの抜き差しをおこなわないでください。

3. マイクなどの音声信号出力機器を接続します。

マイクなどの音声信号出力機器を接続する場合は、接続する音声信号出力機器に応じてオーディオ入力端子またはマイク入力端子に接続します。

注意点

- この製品の電源を入れた状態で接続ケーブルの抜き差しをおこなわないでください。

4. ネットワークに接続します（任意）。

必要に応じて、LANケーブルを本製品のLAN1端子に接続して施設のネットワークに接続すると、録画データをNASに保存したり、ソフトウェアの更新をNAS経由でおこなうことができるようになります。

注意点

- LANケーブルはカテゴリ5e以上のものをお使いください。
- ネットワークの設定が必要です。詳細は、[ネットワークの設定をおこなう（任意） \[P.38\]](#)を参照してください。

5. その他の外部機器を接続します。

USBキーボードを接続する場合は、レコーダー本体背面のUSB端子に接続してください。

参考

- バーコードリーダーを接続する場合は、レコーダー本体背面のUSB端子に接続します。別途、設定が必要です。詳細は、[バーコード入力を使用する（任意） \[P.45\]](#)を参照してください。
- フットスイッチなどのトリガー出力機器を接続する場合は、レコーダー本体背面のトリガー入力端子に接続します。別途、設定が必要です。詳細は、[トリガー入力を使用する（任意） \[P.46\]](#)を参照してください。

6. 電源コードを接続します。

注意点

- 必ず付属の電源コードを使用し、抜け防止のクランプ（付属品）を取り付けてください。

2.2.2 電源を入れる / 電源を切る

電源を入れるときはレコーダー本体背面の主電源スイッチをオンにします。タッチパネルモニターが点灯し、ログイン画面が表示されます。電源を切るときは前面の「POWER」ボタン (⊙) を押します。電源が切れ、スタンバイ状態となります。その後、背面の主電源スイッチをオフにします。

注意点

- 次の処理を実行中に「POWER」ボタン (⊙) を押すと、「シャットダウンできません」とメッセージが表示され、電源を切ることができません。
 - 記録モード画面表示中
 - ソフトウェア更新中
 - 内蔵SSDアクセス中 (記録データの削除中、フォーマット中)
 - 外部ストレージアクセス中 (同時記録やコピー、フォーマット中)

2.3 設定

2.3.1 ユーザーを登録する

この製品を使用するには、少なくとも1名の管理者ユーザーの登録が必要です。最大30名分のユーザーを登録できます。

管理者ユーザーを登録する

この製品を初めて起動するとき、以下の手順で管理者ユーザーを登録します。

1. 「管理者ユーザーを登録してください。」の通知メッセージを確認し、「OK」を押します。



2. 「ユーザー名」、「パスワード」および「パスワード(確認)」を入力して、「OK」を押します。各項目の詳細は、[ユーザー \[P. 77\]](#)を参照してください。

注意点

- パスワードは適切に管理してください。詳細は、[サイバーセキュリティに関するお願い \[P. 12\]](#)を参照してください。

参考

- 文字を入力するときはソフトウェアキーボードまたはUSBキーボードを使います。ソフトウェアキーボードの操作方法については、[ソフトウェアキーボード \[P. 25\]](#)を参照してください。



管理者ユーザーの登録が完了します。

ユーザーの登録をする場合は、[ユーザーを登録する \[P.31\]](#)を参照してください。

自動ログインによりこの製品を使用する場合は、[自動ログインを設定する \[P.32\]](#)を参照してください。

ユーザーを登録する

ユーザーを登録します。

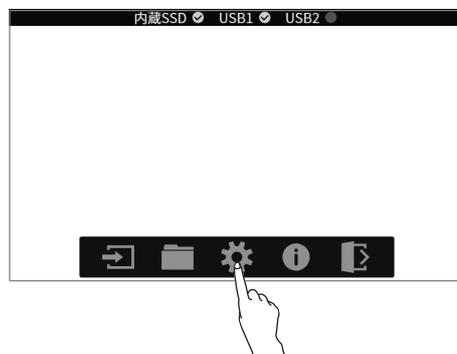
注意点

- ユーザーの登録は管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。
- 同一のユーザー名は、登録できません。

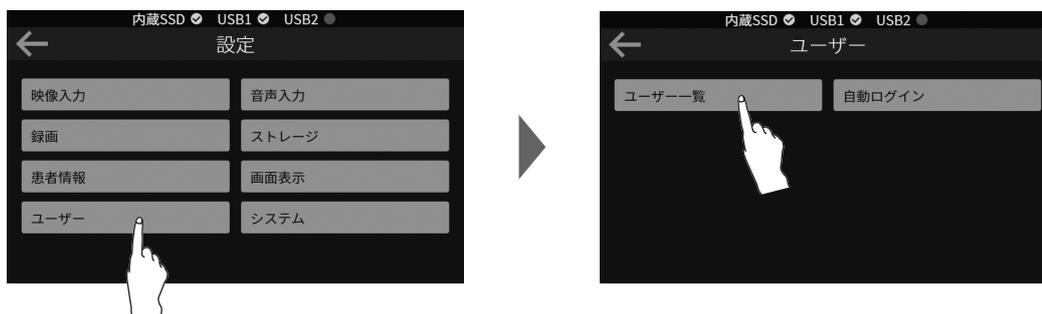
1. ログイン画面で管理者権限のある「ユーザー名」と「パスワード」を入力して「ログイン」を押します。



2. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。



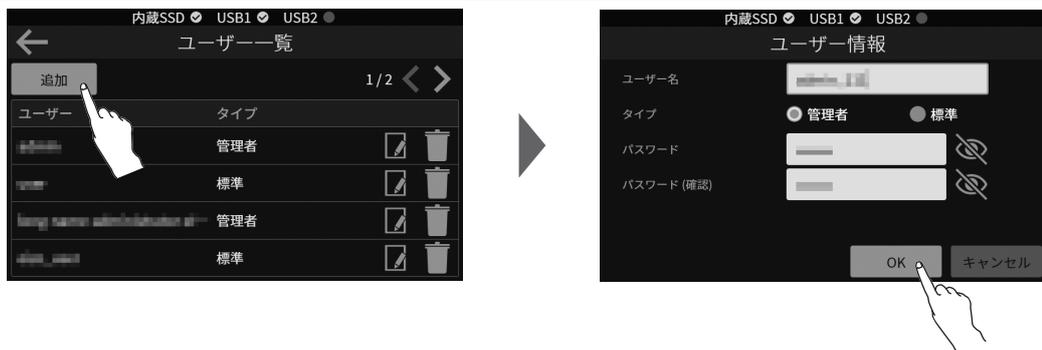
3. 「設定」で「ユーザー」を押して、「ユーザー一覧」を押します。



4. 「ユーザー一覧」で「追加」を押して、ユーザー情報の各項目を入力します。各項目の詳細は、[ユーザー \[P.77\]](#)を参照してください。

参考

- 文字を入力するときはソフトウェアキーボードまたはUSBキーボードを使います。ソフトウェアキーボードの操作方法については、[ソフトウェアキーボード \[P.25\]](#)を参照してください。



「OK」を押します。左上の◀を押して、「ユーザー」に戻り登録完了です。

自動ログインを設定する

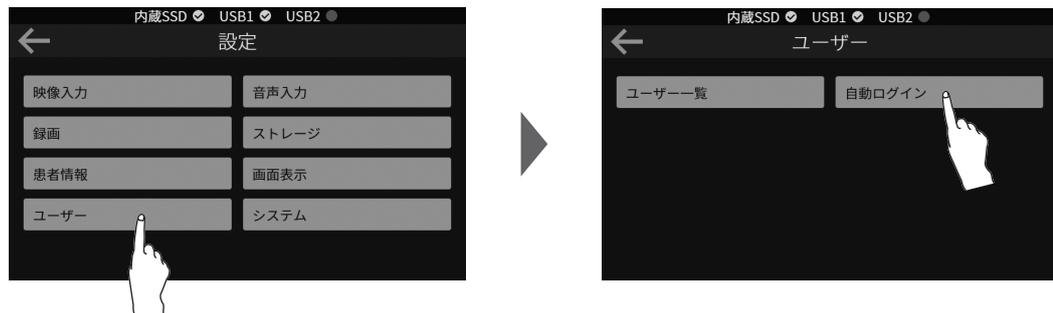
自動ログインを設定することにより、ログイン操作を省略することができます。

注意点

- 自動ログインを有効にすると、製品起動時にユーザー名とパスワードの入力を求められず、自動的にログインされるようになります。運用上のセキュリティリスクが高くなりますので、十分に注意ください。詳細は、[サイバーセキュリティに関するお願い \[P.12\]](#)を参照してください。
- 自動ログインの設定は管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。

- ログイン画面で管理者権限のある「ユーザー名」と「パスワード」を入力して「ログイン」を押します。
- 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。

3. 「設定」で「ユーザー」を押して、「自動ログイン」を押します。



4. 「自動ログイン」項目で「オン」にします。



左上の◀を押して、「ユーザー」に戻り設定完了です。

参考

- 自動ログインを「オン」にしたとき、ユーザーのタイプの初期設定は、「標準」ですが、必要に応じて変更できます。
- ユーザーのタイプについての詳細は、[ユーザー情報 - タイプ \[P.77\]](#)を参照してください。

2.3.2 言語を設定する

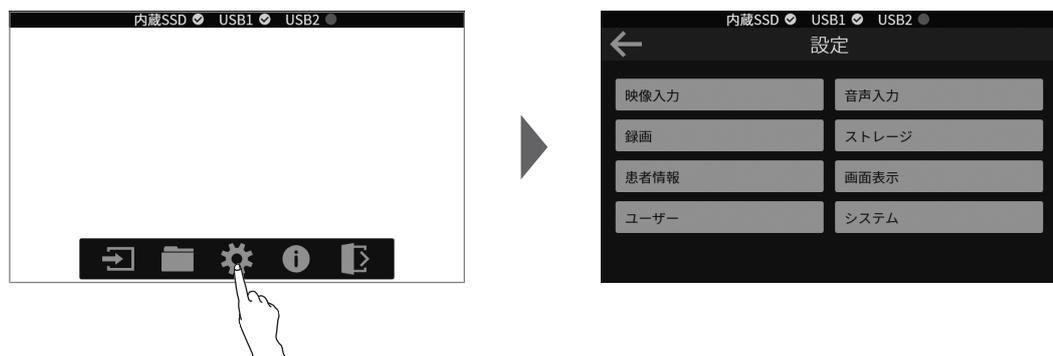
表示言語やUSB接続キーボードでの入力言語を設定できます。

注意点

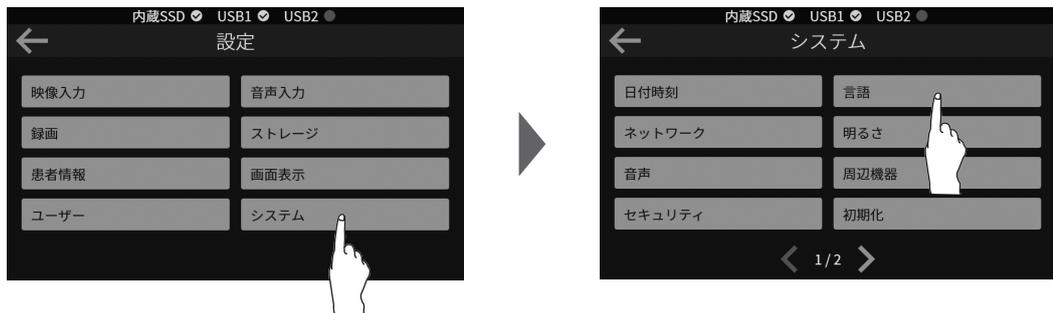
- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

表示言語を設定する

1. 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。



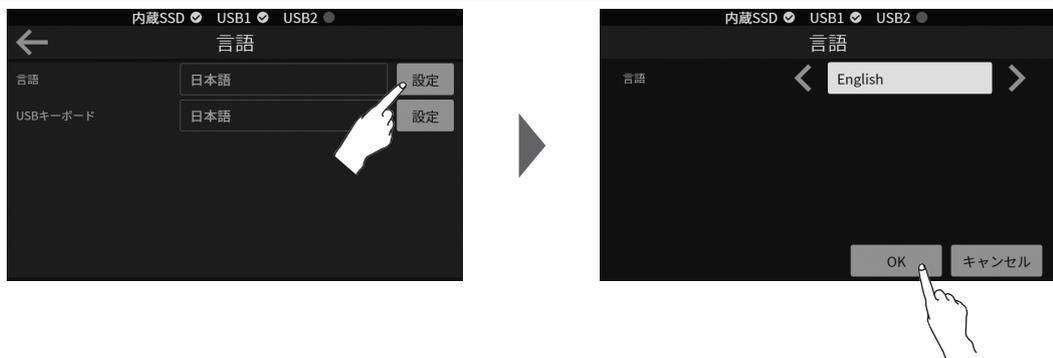
2. 「設定」で「システム」を押して、「言語」を押します。



3. 「言語」項目で「設定」を押して、表示する言語を選択します。

参考

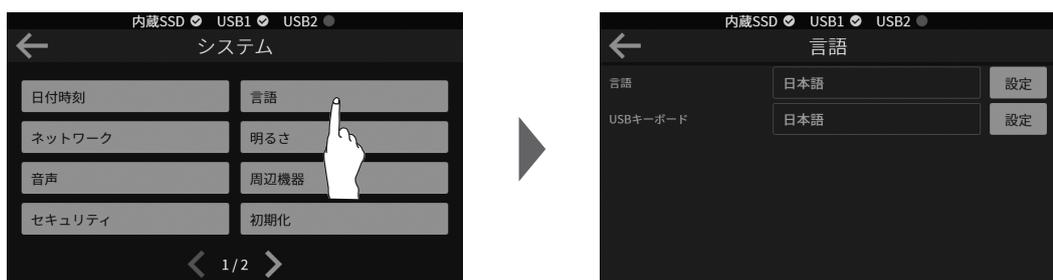
- 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / 簡体中国語を選択できます。



「OK」を押します。左上の◀を押して、「システム」に戻り登録完了です。

USBキーボード言語を設定する

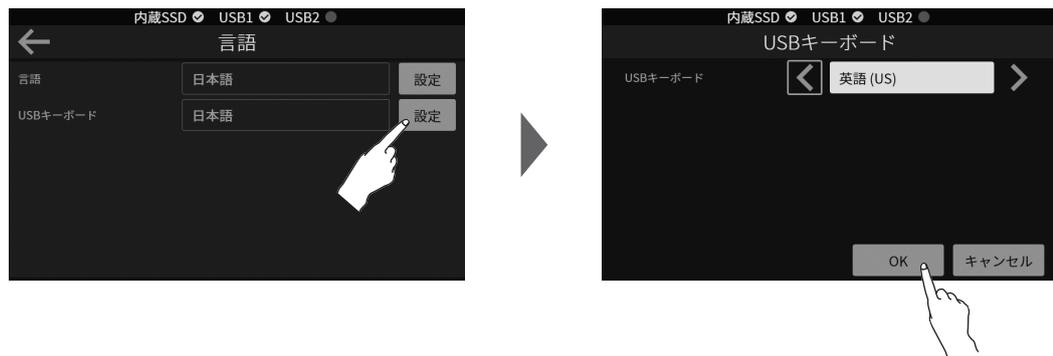
1. 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。
2. 「設定」で「システム」を押して、「言語」を押します。



3. 「USBキーボード」項目で「設定」を押して、USBキーボードの言語を選択します。

参考

- 日本語 / 英語 (US) / 英語 (UK) / ドイツ語を選択できます。



4. 「OK」を押します。

「以下の設定に変更して再起動します。よろしいですか？」の通知メッセージが表示されます。



通知メッセージで「はい」を押して、再起動したら、設定完了です。

2.3.3 現在の時刻とタイムゾーンを設定する

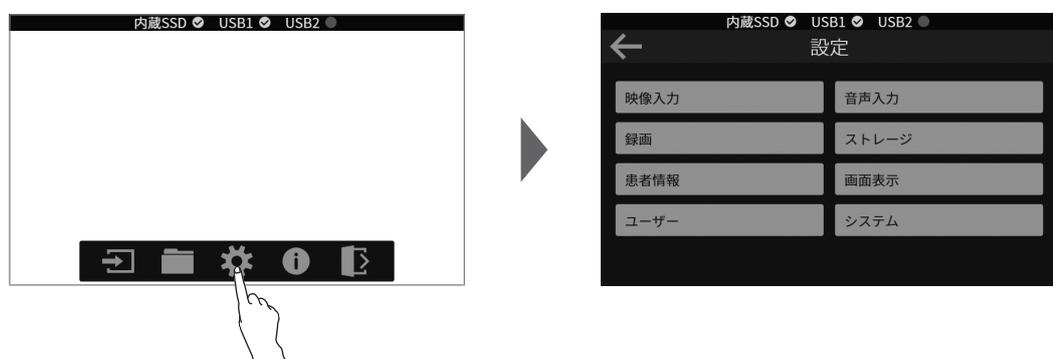
NTPの設定をおこなっておくと、電源を入れた際にNTPサーバーと通信し日付時刻を同期します。NTPの設定の詳細は、[ネットワークの設定をおこなう（任意） \[P. 38\]](#)を参照してください。

日付時刻の同期を使用しない/使用できないときは、次の手順で手動で設定します。

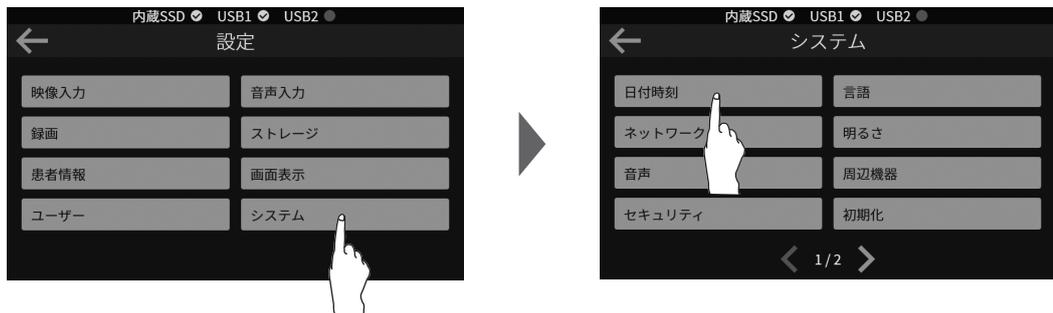
注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

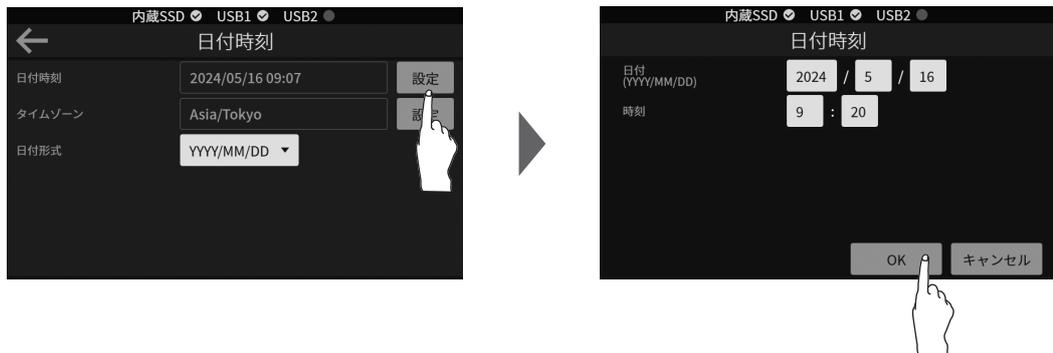
1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。



2. 「設定」で「システム」を押して、「日付時刻」を押します。



3. 「日付時刻」項目で「設定」を押して、各項目に入力します。

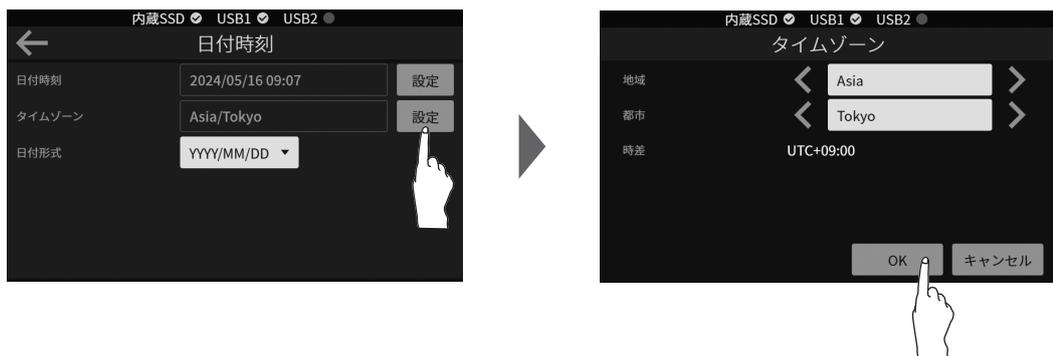


参考

- 文字を入力するときはソフトウェアキーボードまたはUSBキーボードを使います。ソフトウェアキーボードの操作方法については、[ソフトウェアキーボード \[P. 25\]](#)を参照してください。

「OK」を押します。

4. 「タイムゾーン」項目で「設定」を押して、「地域」、「都市」を選択します。



「OK」を押します。

5. 「日付形式」項目で「YYYY/MM/DD」、「MM/DD/YYYY」または「DD/MM/YYYY」を選択します。



選択完了後、左上の←を押して、「システム」に戻り設定完了です。

2.3.4 映像入力信号を設定する

「ホーム画面メニュー」の→を押して、表示したい入力信号を切り替えます。「SDI」 / 「HDMI」のどちらかを選択します。

また、「ホーム画面メニュー」の⚙️からも入力信号を設定できます。以下では「ホーム画面メニュー」の⚙️で設定する手順について説明します。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。
- 「設定」で「映像入力」を押します。
- 「映像入力」で、接続する機器のインターフェースに応じて「SDI」 / 「HDMI」のどちらかを選択します。

HDMI信号を表示する場合は、互換性を設定できます。詳細は、[映像入力 \[P. 69\]](#)を参照してください。

選択完了後、左上の←を押して、「設定」に戻り設定完了です。

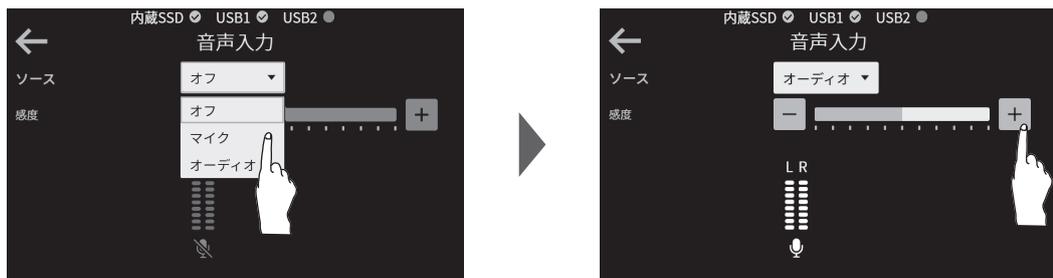
2.3.5 音声入力信号を設定する（任意）

音声を記録する場合に設定します。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。
- 音声を記録する場合は、NASをLAN1端子またはUSBストレージをUSB1端子に接続してください。USB2端子に接続したUSBストレージは無効になります。

- レコーダー本体背面のオーディオ入力端子（J2）またはマイク入力端子（J3）に音声出力機器を接続します。
次のとおりどちらかの端子に接続してください。
 - マイク付きカメラなどの音声信号出力機器
オーディオ入力端子（J2）
 - マイクなどの音声信号出力機器
マイク入力端子（J3）
- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「音声入力」を押します。
- 手順1で音声信号出力機器を接続した端子に応じて、ソース項目で「マイク」または「オーディオ」を選択します。
 - オーディオ入力端子（J2）に接続した場合
「オーディオ」
 - マイク入力端子（J3）に接続した場合
「マイク」
- 必要に応じて、「感度」を調整します。「感度」は1から10の間で調整できます。



参考

- 「マイク」または「オーディオ」を選択している場合は、ミュートにできません。音声をミュートにしたい場合は「オフ」を選択します。
- 録画中に録音のオン/オフを切り替える場合は、音声信号出力機器の設定を変更してください。

選択完了後、左上の  を押して、「設定」に戻り設定完了です。

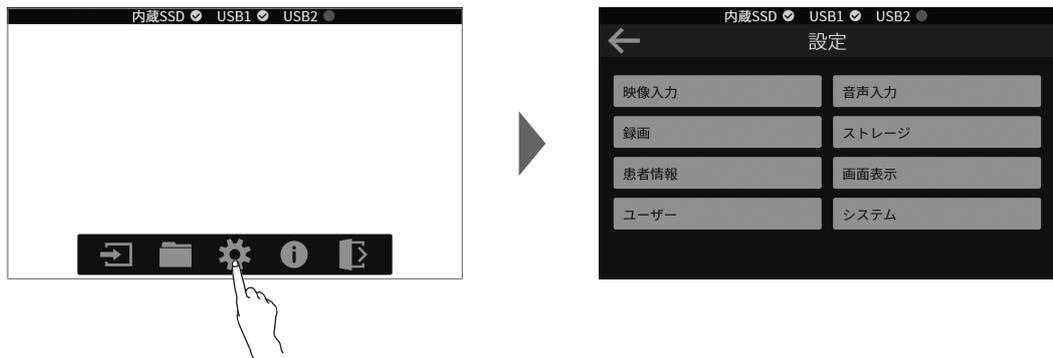
2.3.6 ネットワークの設定をおこなう（任意）

録画データをレコーダーからNASに同時記録するなどネットワークに接続する機能を利用する場合に設定します。

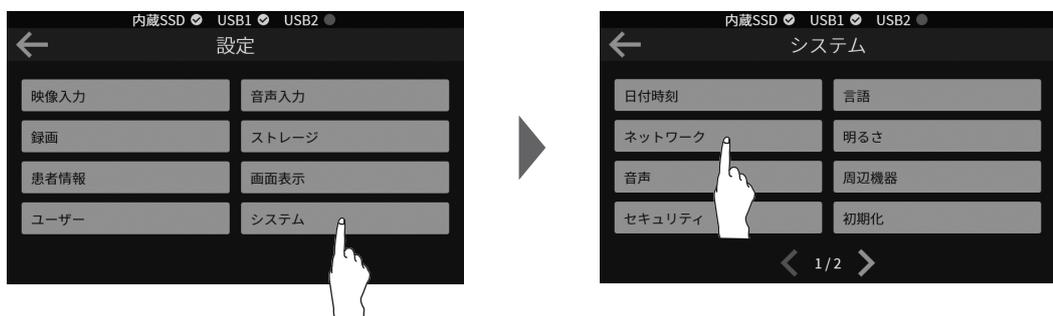
注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。



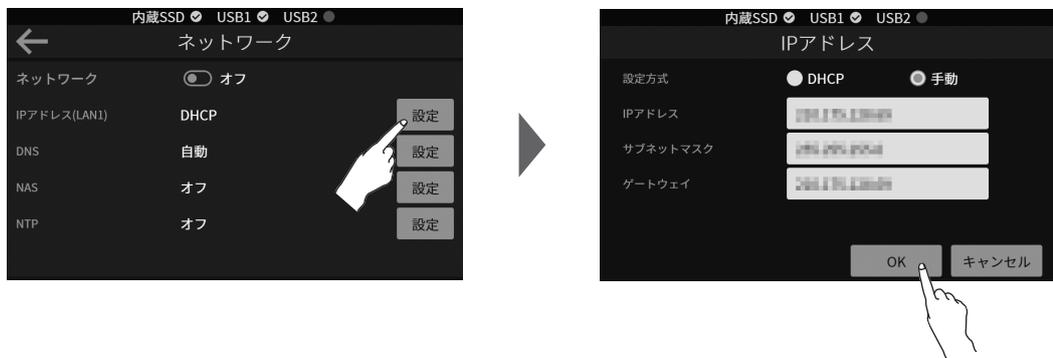
2. 「設定」で「システム」を押して、「ネットワーク」を押します。



3. 「ネットワーク」項目で「オン」(有効) / 「オフ」(無効) を切り替えます。

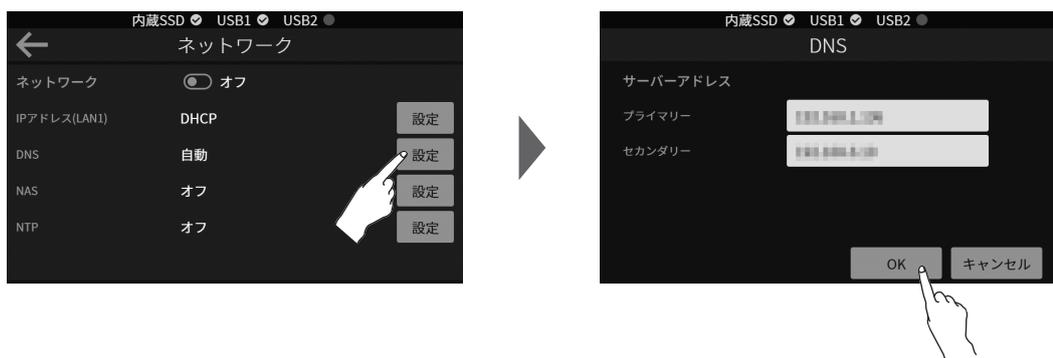


4. 「IPアドレス(LAN1)」項目で「設定」を押して、各項目を設定します。
 - DHCP
DHCPを利用してネットワークの設定を自動でおこなうときに選択します。
 - 手動
ネットワークの設定を手動でおこなうときに選択します。
 - IPアドレス
設定方式が「手動」の場合に入力します。IPv4アドレスを入力してください。IPv6は非対応です。
 - サブネットマスク
設定方式が「手動」の場合にサブネットマスクのアドレスを入力します。
 - ゲートウェイ
設定方式が「手動」の場合にゲートウェイのアドレスを入力します。



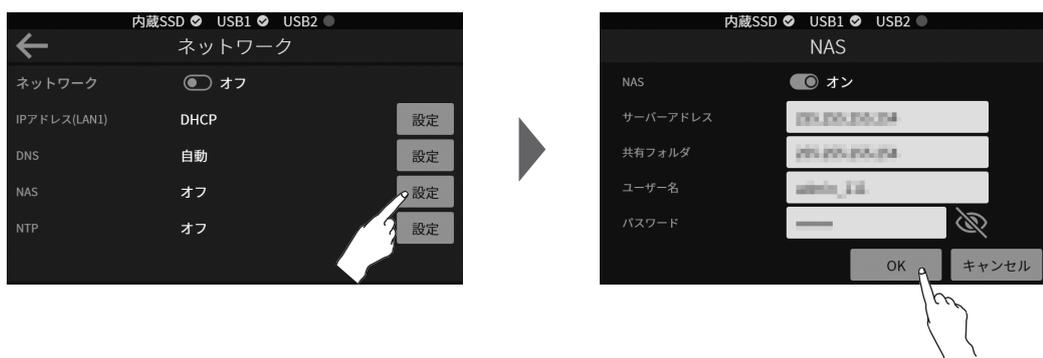
「OK」を押して、「IPアドレス」の設定を完了します。

5. 「DNS」項目で「設定」を押して、各項目を設定します。
 - プライマリー
プライマリーサーバーアドレスを手動設定する場合に入力します。
 - セカンダリー
セカンダリーサーバーアドレスを手動設定する場合に入力します。



「OK」を押して、「DNS」の設定を完了します。

6. 「NAS」項目で「設定」を押して、各項目を設定します。
 - NAS
 - 「オン」（有効） / 「オフ」（無効）を切り替えます。
 - サーバーアドレス
 - NASが「オン」の場合にサーバーのアドレスを2～64文字で入力します。ドメイン名またはIPアドレスのどちらでも入力できます。共有フォルダのURLが「\ABCD\EFG\HIJ\KLM」の場合、サーバーアドレスには「ABCD」と入力してください。
 - 共有フォルダ
 - NASが「オン」の場合にサーバーの共有フォルダのパスを1～64文字で入力します。共有フォルダのURLが「\ABCD\EFG\HIJ\KLM」の場合、共有フォルダには「EFG\HIJ\KLM」と入力してください。
 - ユーザー名
 - NASが「オン」の場合にサーバーに登録されているユーザーのユーザー名を0～64文字で入力します。
 - パスワード
 - NASが「オン」の場合にサーバーに登録されているユーザーのパスワードを0～64文字で入力します。



「OK」を押して、「NAS」の設定を完了します。

「OK」を押したタイミングでNASへの接続確認がおこなわれます。接続に失敗した場合はエラーメッセージが表示されます。

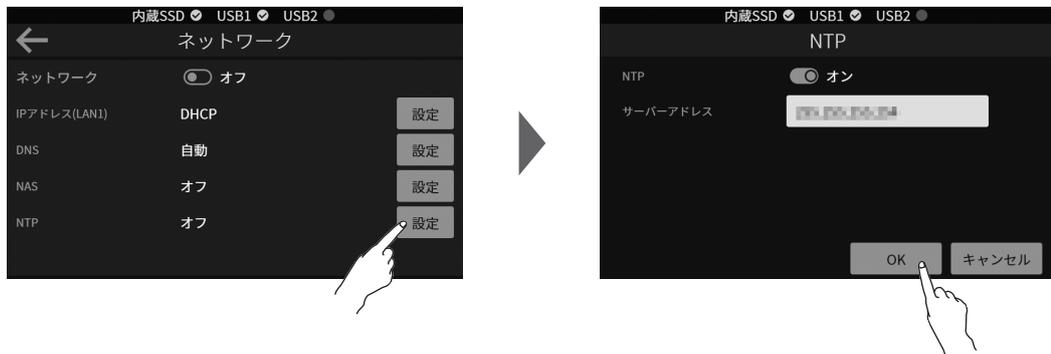
7. 「NTP」項目で「設定」を押して、各項目を設定します。

– NTP

「オン」（有効） / 「オフ」（無効）を切り替えます。

– サーバーアドレス

NTPが「オン」の場合にサーバーのアドレスを2～64文字で入力します。



「OK」を押します。左上の◀を押して、「システム」に戻り設定完了です。

参考

- NASを有効にした場合は、USBストレージを無効化しておくことをお勧めします。詳細は、[USBストレージ \[P.90\]](#)を参照してください。

2.3.7 同時記録の設定をおこなう（任意）

録画データを内蔵SSDと同時にNASまたはUSBストレージに記録する場合に設定します。

NASに同時記録する場合

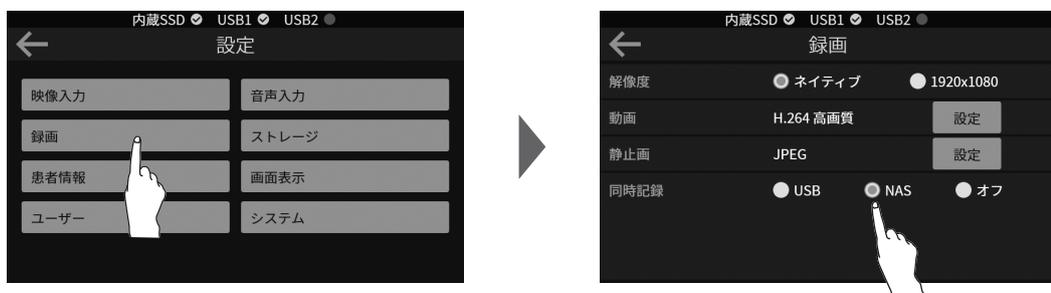
注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. ネットワークの設定をおこない、NASを有効にします。詳細は、[ネットワークの設定をおこなう（任意） \[P.38\]](#)を参照してください。

左上の◀を押して、「設定」画面に戻ります。

2. 「設定」で「録画」を押して、「同時記録」項目の「NAS」を選択します。



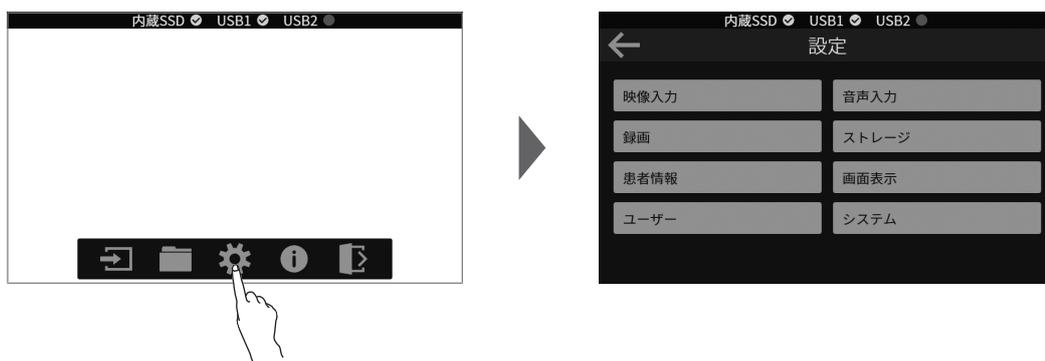
左上の◀を数回押して、「ホーム画面メニュー」に戻り設定完了です。

USBストレージに同時記録する場合

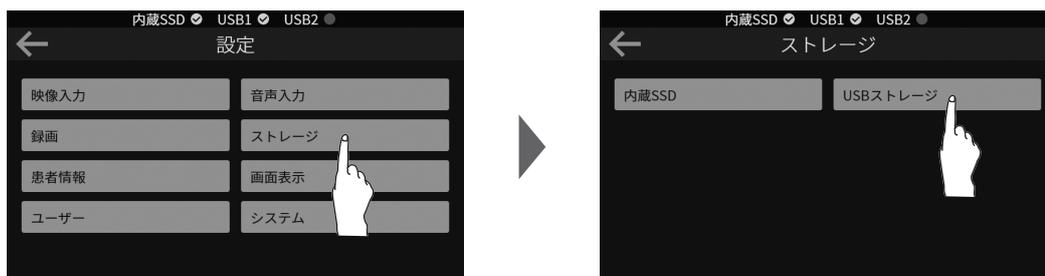
注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。



- 「設定」で「ストレージ」を押して、「USBストレージ」を押します。

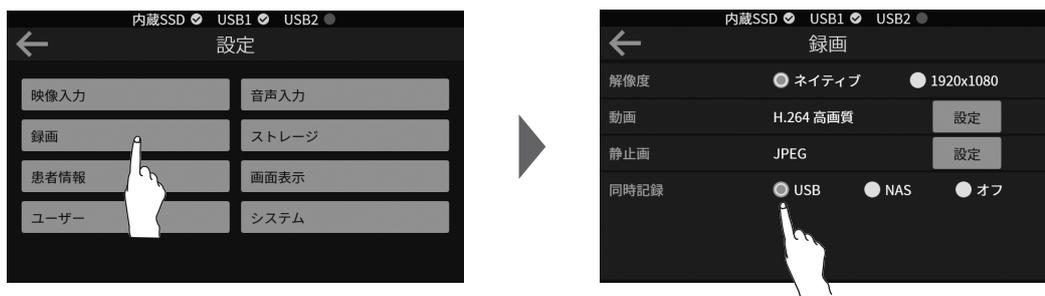


- 「USBストレージ」の項目で、「オン」にします。



左上の  を数回押して、「設定」画面に戻ります。

- 「設定」で「録画」を押して、「同時記録」項目の「USB」を選択します。



左上の  を数回押して、「ホーム画面メニュー」に戻り設定完了です。

2.3.8 モニターのタリー機能を使用する（任意）

録画中、モニターのタリー機能を使用する場合に設定します。

この機能を使用すると、EIZO CuratORシリーズモニター上に本機の動作状態を示すアイコンが表示されます。詳細は、[外部機器制御 \[P. 102\]](#)を参照してください。

注意点

- ・設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. EIZO CuratORシリーズモニターをレコーダー本体背面のRS-232C端子に接続します。
2. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
3. 「設定」で「システム」を押して、「周辺機器」を押します。
4. 「周辺機器」で「外部機器制御」を押します。
5. 「RS-232C」項目で「EIZOモニター録画タリー制御」または「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」を選択します。
 - 「EIZOモニター録画タリー制御」
録画状態（録画中）のアイコンを表示します。
 - 「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」
録画状態（録画中、一時停止、または停止）および静止画撮影状態のアイコンを表示します。



手順5で「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」を選択したときは、「タリー位置」項目で、「左上」、「右上」または「左下」を選択します。

参考

- ・手順5で「EIZOモニター録画タリー制御」を選択したときは、「左上」固定になります。

6. 「テスト」を押して接続確認をおこないます。
「テスト中…」のメッセージが表示されます。完了すると「EIZOモニターのタリー制御に成功しました。」と通知メッセージが表示されます。



参考

- 接続に失敗する場合は、モニターがタリー制御に対応しているか、およびRS-232Cで接続され電源が入っているか確認してください。お使いのモニターがタリー制御に対応しているかどうか不明な場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

「OK」を押します。左上のを押して、「システム」に戻り設定完了です。

2.3.9 バーコード入力を使用する（任意）

患者IDのバーコード入力を使用する場合に設定します。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. レコーダー本体背面のUSB端子にバーコードリーダーを接続します。
2. 「ホーム画面メニュー」でを押します。
3. 「設定」で「患者情報」を押します。



4. 「患者情報」で「バーコードリーダー」を押します。



参考

- 「バーコードリーダー」では、長さの項目を設定できません。設定を変更したいときは「ID入力」の桁数の項目で変更します。詳細は、[ID入力 \[P. 92\]](#)を参照してください。

5. バーコードリーダーを「オン」に切り替えます。
6. 「開始位置」の「設定」を押します。開始位置項目が表示されます。
7. 「開始位置」を1～999の間で入力し「OK」を押します。例えば、バーコードから読み取った文字列のうち、10文字目以降を入力として受け付けたい場合は、10と入力します。
「バーコードリーダー」に戻ります。

8. 「バーコードリーダー」で「読み込みテスト」を押します。



9. 患者IDのバーコードを読み込みます。

読み込み結果項目にバーコードの読み込み結果が表示されます。解析結果項目には「ID入力」の桁数および「バーコードリーダー」の開始位置の設定に基づいて解析された文字列が表示されます。

解析結果を確認してください。もう一度バーコードを読み込む場合は、「読み込み」を押します。完了後、左上の◀を押して、「バーコードリーダー」に戻りテスト完了です。

必要に応じて、「患者情報」に戻り「ID入力」の設定をおこなってください。詳細は、[ID入力 \[P. 92\]](#)を参照してください。

2.3.10 トリガー入力を使用する（任意）

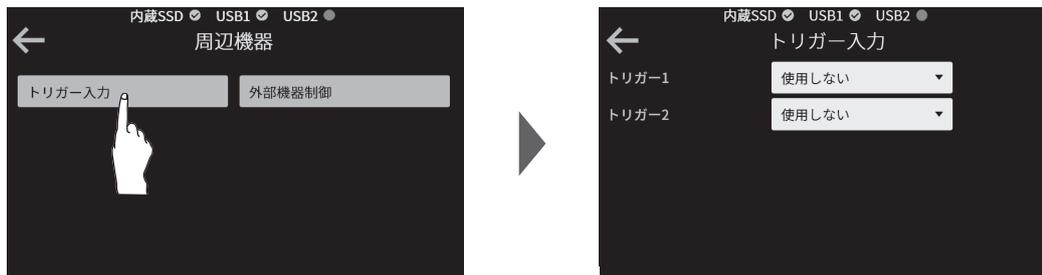
フットスイッチなどでレコーダー本体の制御をおこないたいときに設定します。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- レコーダー本体背面のトリガー入力端子（J4）またはトリガー入力端子（J5）にトリガー出力機器を接続します。
トリガー入力によっておこないたい操作に応じて、次のとおりどちらかの端子に接続してください。
 - 静止画撮影
トリガー入力端子（J4）
 - 録画/停止
トリガー入力端子（J5）
 - トリガー入力をオンにしている間は録画を実行、オフにすると録画を一時停止
トリガー入力端子（J5）
- 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。
- 「設定」で「システム」を押して、「周辺機器」を押します。

4. 「周辺機器」で「トリガー入力」を押します。



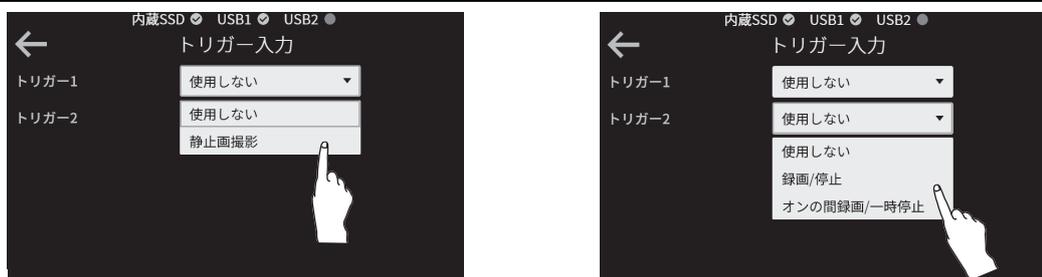
5. 「トリガー入力」で「トリガー-1」（トリガー入力端子（J4））または「トリガー-2」（トリガー入力端子（J5））の項目を選択します。

参考

- 「トリガー-1」は「静止画撮影」が選択できます。
- 「トリガー-2」は「録画/停止」 / 「オンの間録画/一時停止」から選択できます。
- トリガー入力端子の詳細な仕様については、販売店にお問い合わせください。

注意点

- 「トリガー-2」で「オンの間録画/一時停止」を選択している場合、トリガー入力によって録画を実行している間はレコーダー本体ボタンによる一時停止や停止ができません。
- 「オンの間録画/一時停止」は記録モード中のみ操作を受け付けます。



完了後、左上の◀を押して、「トリガー入力」に戻り設定完了です。

2.3.11 その他

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

その他の項目は必要に応じて設定ください。詳細は、[5.1 設定一覧 \[P. 68\]](#)を参照してください。

2.3.12 試運転

すべての設定が完了したら、試運転をします。
詳細は、[3 操作の流れ \[P. 48\]](#)を参照してください。

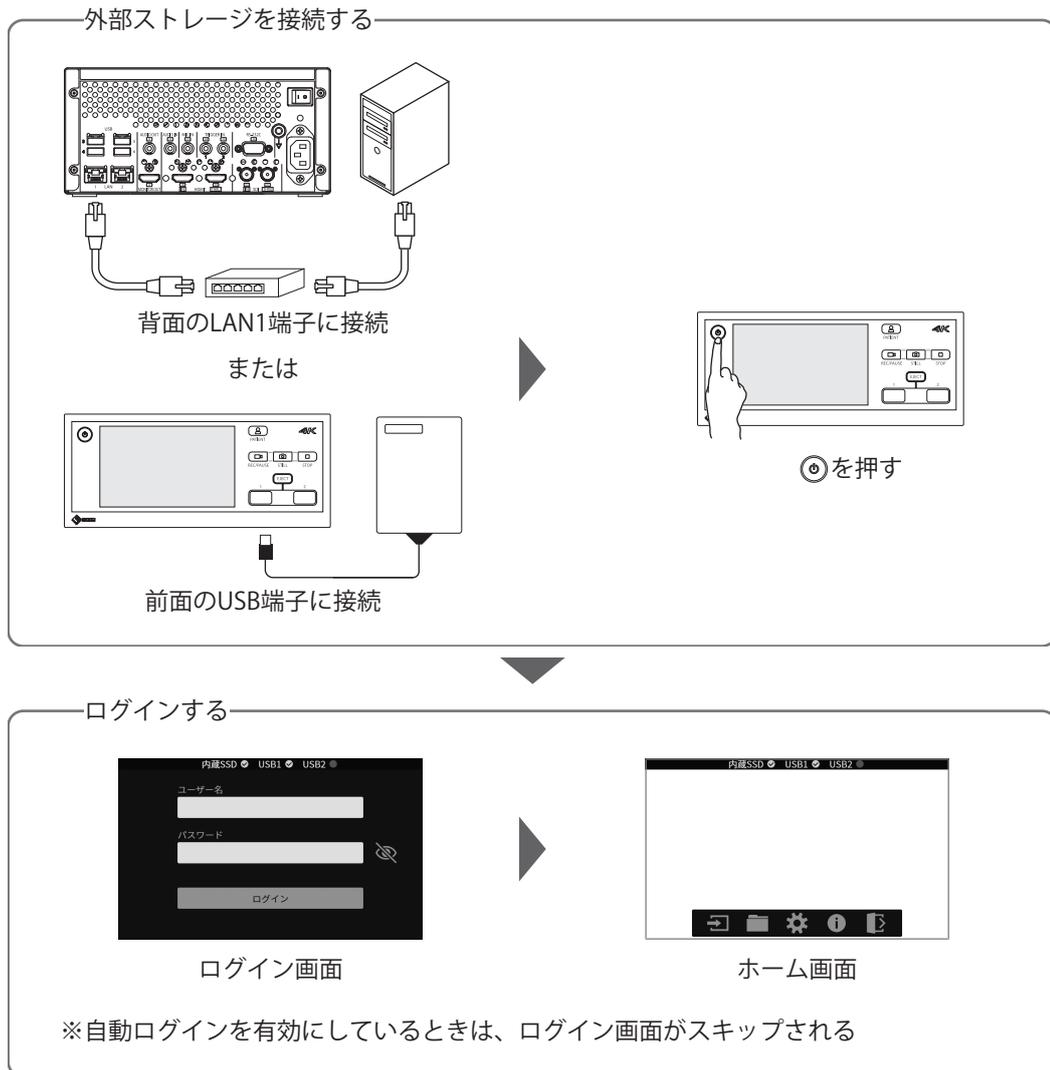
3 操作の流れ

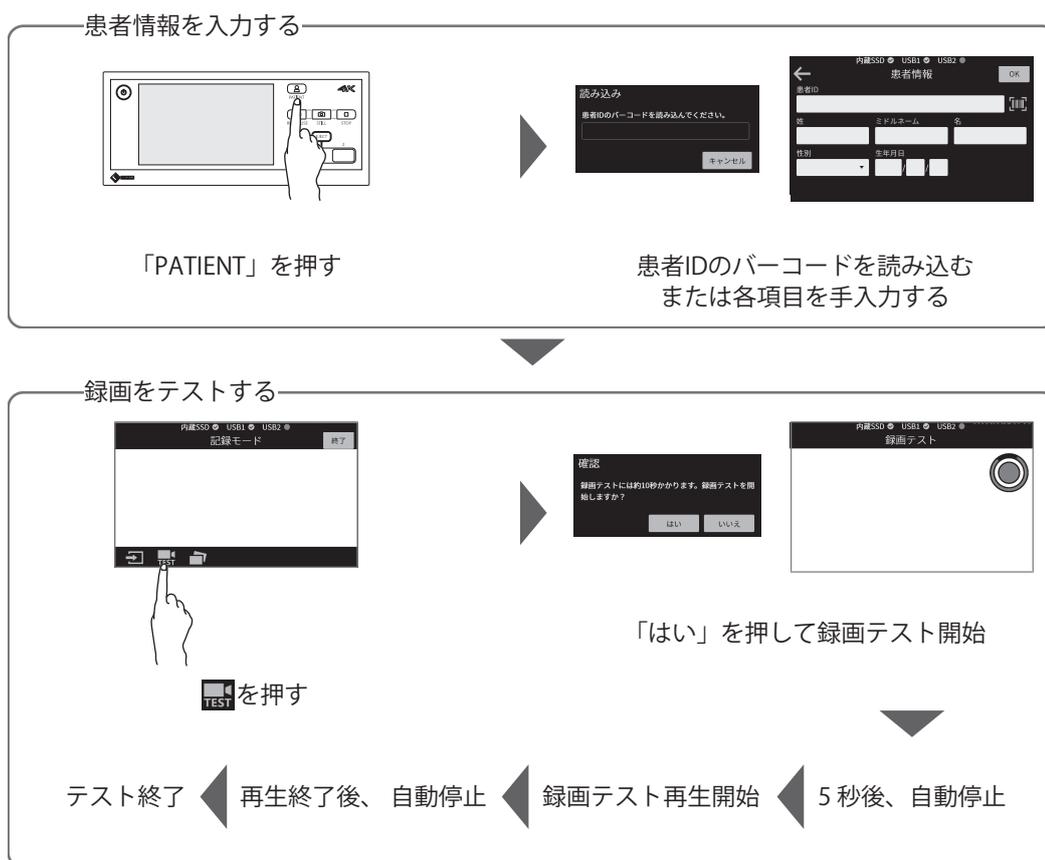
本章では、この製品の前面のボタンを使ってタッチパネルモニターを見ながら録画 / 再生 / 静止画撮影をおこなうときの操作の流れについて説明します。

3.1 操作の流れ

3.1.1 Step 1 録画の準備

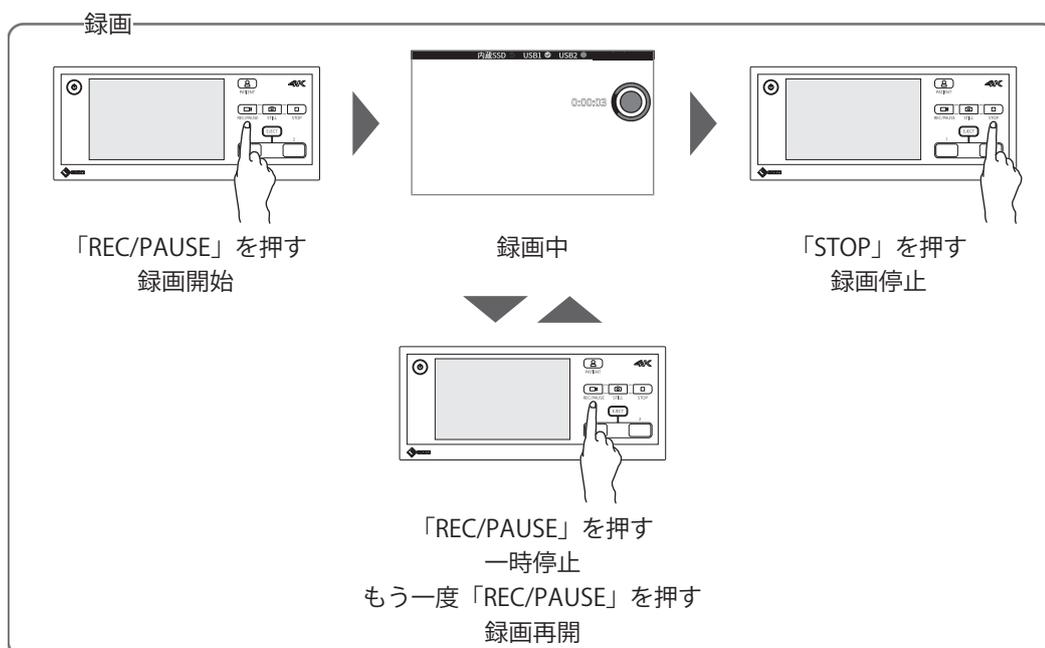
詳細は、[4.1 録画の準備 \[P.52\]](#)を参照してください。

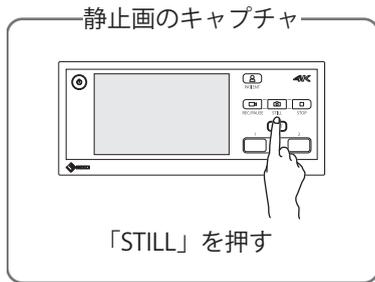




3.1.2 Step 2 録画 / 静止画のキャプチャ

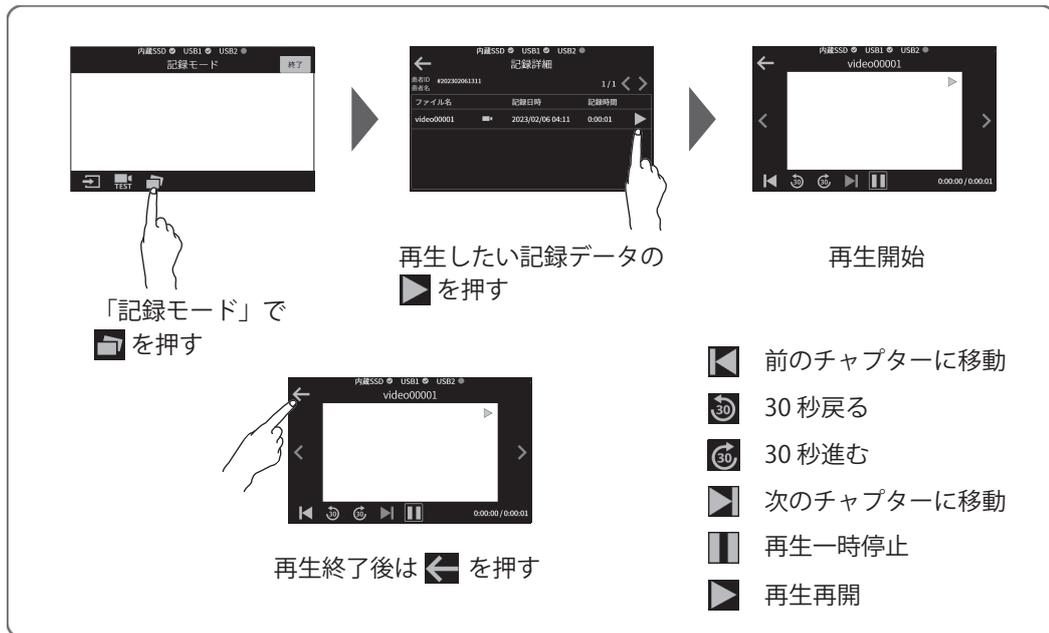
詳細は、[4.2 録画 \[P. 57\]](#)、[4.3 静止画のキャプチャ \[P. 59\]](#)を参照してください。





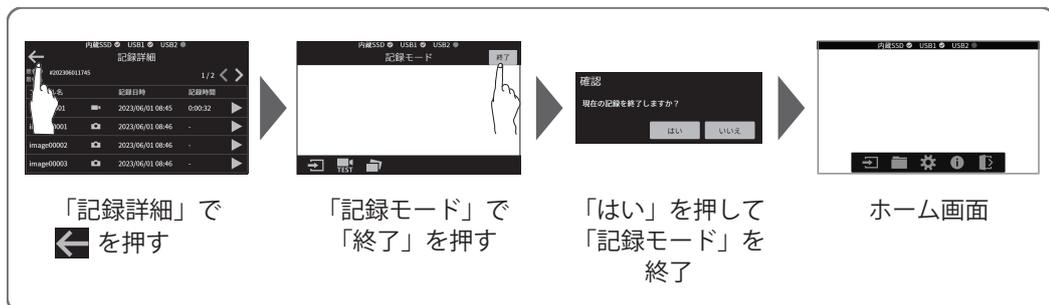
3.1.3 Step 3 再生

詳細は、[4.4 再生 \[P.59\]](#)を参照してください。

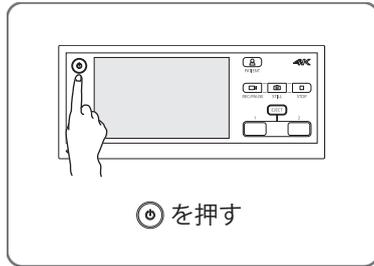


3.1.4 Step 4 記録モードの終了

詳細は、[4.5 記録モードの終了 \[P.61\]](#)を参照してください。



3.1.5 Step 5 電源を切る



4 録画 / 再生

4.1 録画の準備

4.1.1 外部ストレージを接続する

録画データを内蔵SSDと同時にNASまたはUSBストレージに記録する場合に接続します。

注意点

- レコーダー本体に接続する前に、NASまたはUSBストレージが正しく動作することを確認してください。また、ウイルスに感染している（感染の可能性を含む）機器は接続しないでください。レコーダーの機能不全などを引き起こす可能性があります。
- 記録データには、患者情報などの個人情報が含まれます。NASまたはUSBストレージは適切に管理してください。

NASを接続する

- レコーダー本体背面のLAN1端子をネットワークに接続し、NASと通信できるようにします。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

参考

- 「同時記録」を「NAS」以外に設定している場合でも、録画後にデータをNASにコピーできます。詳細は、[記録データを外部ストレージにコピーする \[P.65\]](#)を参照してください。

- 「POWER」ボタンを押して電源を入れます。
- ログイン画面で管理者権限のある「ユーザー名」と「パスワード」を入力して「ログイン」を押します。

4. ネットワークの設定をおこなう（任意） [P. 38]と同時記録の設定をおこなう（任意） [P. 42]を参照し、NASが有効かつ、NASに同時記録するように設定されていることを確認します。未設定の場合は設定してください。

内蔵SSDの状態とNASの状態がステータスバーに表示されます。



- (緑点灯)
空き領域が十分にあります。
- (黄点灯)
空き領域が少なくなっています。
記録データを削除して空き領域を確保してください。
- (緑点滅) / (黄点滅)
アクセス中
- (グレー表示)
NASに接続されているが、マウントされていない状態です。
ネットワークの接続、およびネットワーク / NASの設定を見直してください。
- (グレー表示)
NASが未接続の状態です。

USBストレージを接続する

注意点

- ・設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. レコーダー本体前面のUSB端子にUSBストレージを接続します。

注意点

- ・暗号化アプリケーションの入ったUSBストレージは使用できません。
- ・レコーダーとの互換性が確認されているUSBストレージを使用してください。レコーダーとUSBストレージの互換性情報については、当社Webサイト (www.eizo.co.jp) でご確認ください。
- ・レコーダー本体背面のUSB端子に接続した場合はUSBストレージとして認識されません。レコーダー本体前面のUSB端子に接続し直してください。
- ・音声を記録する場合は、USBストレージをUSB1端子に接続してください。USB2端子に接続したUSBストレージは無効になります。
- ・USBハブ経由でのUSBストレージの接続はサポートしていません。
- ・USB2.0以下のUSBストレージは、転送に時間がかかるため推奨していません。USB 5Gbps以上のUSBストレージを接続してください。
- ・exFAT / NTFS以外でフォーマットされたストレージには対応していません。

参考

- ・USBストレージに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションに記録データを書き出します。
- ・USBストレージを接続していない場合や、「同時記録」を「USB」以外に設定している場合でも、録画後にデータをUSBストレージにコピーできます。詳細は、[記録データを外部ストレージにコピーする \[P. 65\]](#)を参照してください。

2. 「POWER」 ボタンを押して電源を入れます。
3. ログイン画面で管理者権限のある「ユーザー名」と「パスワード」を入力して「ログイン」を押します。

4. [同時記録の設定をおこなう（任意） \[P. 42\]](#)を参照し、USBストレージに同時記録するように設定されていることを確認します。未設定の場合は設定してください。
内蔵SSDの状態とUSBストレージの状態がステータスバーに表示されます。



- (緑点灯)
空き領域が十分にあります。
- (黄点灯)
空き領域が少なくなっています。
記録データを削除して空き領域を確保してください。
- (緑点滅) / (黄点滅)
アクセス中
- (グレー表示)
USBストレージがレコーダー本体に接続されているが、マウントされていない状態です。
USBストレージを、この製品のUSBストレージフォーマット機能でフォーマットしてください。
- (グレー表示)
USBストレージが未接続か取り出し処理が完了した状態です。

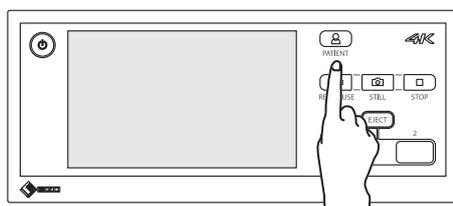
4.1.2 患者情報を入力する

患者ID、患者名（姓、ミドルネーム、名）、性別、および生年月日を登録します。

参考

- ここでの患者情報の入力を省略し、後から入力することができます。詳細は、[患者情報を変更する \[P. 64\]](#)を参照してください。
- 文字を入力するときはソフトウェアキーボードまたはUSBキーボードを使います。ソフトウェアキーボードの操作方法については、[ソフトウェアキーボード \[P. 25\]](#)を参照してください。

1. 「PATIENT」ボタンを押します。



2. 「患者ID」、「患者名^{※1}」、「性別^{※2}」、「生年月日^{※3}」を入力します。

※1 患者の名前を「姓」、「ミドルネーム」、「名」の各項目に64文字以内で入力します。

※2 患者の性別を「男性」 / 「女性」 / 「不明」から選択します。

※3 年（西暦） / 月 / 日を選択します。

参考

- 入力できる文字や桁数の設定を変更できます。詳細は、[5.6 患者情報 \[P. 92\]](#)を参照してください。
- 「患者名」、「性別」、および「生年月日」は入力を省略することができます。「患者ID」は「必須入力」の設定が「オフ」の場合に入力を省略することができます。詳細は、[ID入力 \[P. 92\]](#)を参照してください。

入力完了後に右上の「OK」を押すと設定が完了し、画面に「記録モード」と表示され、患者情報と紐づいた録画や静止画キャプチャができる状態になります。

4.1.3 録画をテストする

正常に録画がおこなわれるかを確認できます。

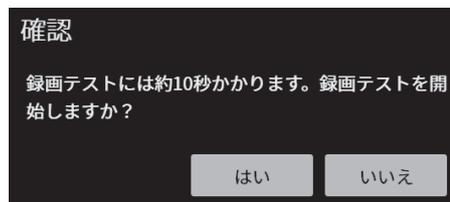
録画テストを実行すると、5秒間録画され、その後自動的に再生されます。

注意点

- 録画テストで録画したデータは、テスト終了後に取り出したり再生することはできません。

1. 「記録モード」で  を押します。

録画テスト開始の「確認」メッセージが表示されます。

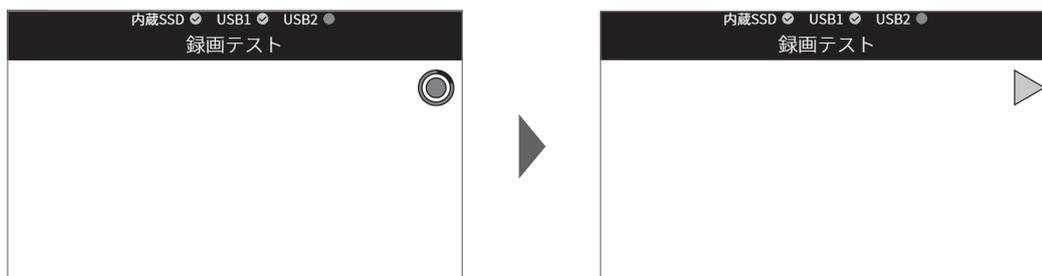


2. 「はい」を押し、録画テストを開始します。

「録画テスト」が表示され、録画を開始します。

5秒間録画された後、自動的に再生されます。このとき正しく録画できているか確認してください。オーディオ出力端子（J1）にスピーカーを接続している場合は音声も再生されます。

再生が終了すると、「記録モード」に戻ります。



録画テスト後に「記録モード」からそのまま録画を開始するときは、「REC/PAUSE」ボタンを押します。

4.2 録画

録画の方法は、ボタン操作による録画と、トリガー入力による録画があります。ここでは、ボタン操作による録画の手順について説明します。

参考

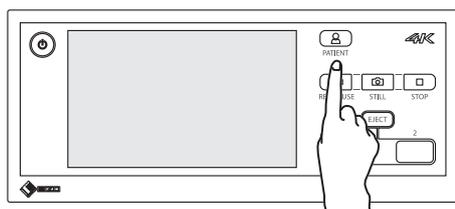
- 記録データを長期保管する場合は、定期的にサーバーなどの別ストレージに保存してください。データの移動にはNASまたはUSBストレージを使用してください。詳細は、[記録データを外部ストレージにコピーする \[P. 65\]](#)を参照してください。
- 記録データの自動削除機能が「オン」の状態、内蔵SSDの空き領域が一定の値を下回った場合、自動的に古いデータから削除されます。詳細は、[内蔵SSD \[P. 89\]](#)を参照してください。
- 記録データの自動削除機能を使用しない場合は、自動削除機能を「オフ」にしてください。詳細は、[内蔵SSD \[P. 89\]](#)を参照してください。
- トリガー入力による録画については、[トリガー入力を使用する（任意） \[P. 46\]](#)を参照してください。

1. 録画の準備をします。

詳細は、[4.1 録画の準備 \[P. 52\]](#)を参照してください。

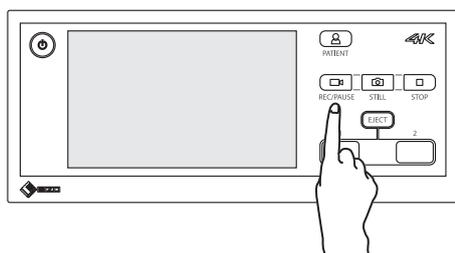
参考

- 患者情報を設定せずに録画を開始する場合、記録モード終了後に患者情報を編集することができます。
- 患者情報の事前設定については、[5.1 設定一覧 \[P. 68\]](#)を参照してください。
- 患者情報画面で「OK」を押すと、録画の残り時間によっては通知メッセージが表示されます。記録データの自動削除機能が「オン」の状態では、自動削除開始までの録画可能な時間が表示されます。「オフ」の場合は録画停止までの時間が表示されます。



2. 「REC/PAUSE」 ボタンを押します。

録画が開始されます。録画中は、タッチパネルモニターに◎と表示されます。



注意点

- 無信号状態または非サポート信号が入力された状態になると、録画を一時停止します。この場合は、信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 録画中にHDMI信号のスルーアウト端子（J9）に接続されているモニターの電源がオフからオンになると、本製品に接続している機器の仕様によっては、録画が一時停止し、録画データが分割される場合があります。
- 記録モード中にタリー制御が失敗した場合、通知メッセージが表示されます。接続を確認してください。詳細は、[モニターのタリー機能を使用する（任意） \[P. 44\]](#)を参照してください。

参考

- 現在の設定に基づき内蔵SSDと接続中のストレージの残り時間が表示されます。現在の設定は「ホーム画面メニュー」の ⓘ 「現在の設定」で確認できます。設定を変更したいときは、[5.4 録画 \[P. 86\]](#)を参照してください。

録画を一時停止する場合は「REC/PAUSE」ボタンを押します。一時停止した録画を再開する場合は再度「REC/PAUSE」ボタンを押します。録画中の静止画キャプチャも可能です。

3. 録画を停止するときは、「STOP」ボタンを押します。

録画が停止し、「記録モード」が表示されます。

4.3 静止画のキャプチャ

画像の一場面を任意のタイミングで静止画ファイルとして保存できます。

静止画キャプチャの方法は、ボタン操作と、トリガー入力によるキャプチャがあります。

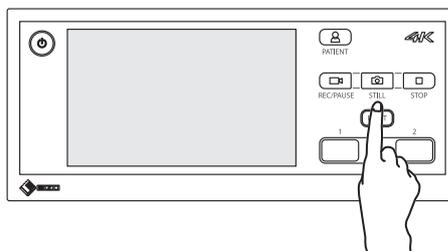
ここでは、ボタン操作による静止画キャプチャの手順について説明します。

参考

- トリガー入力による静止画のキャプチャについては、[トリガー入力を使用する（任意） \[P.46\]](#)を参照してください。
- 静止画はJPEG形式またはTIFF形式で保存されます。取得できる静止画のサイズは、動画の解像度設定に依存します。詳細は、[5.4 録画 \[P.86\]](#)を参照してください。

1. 静止画のキャプチャをしたい場面で、「STILL」ボタンを押します。

静止画キャプチャで撮影された画像が、タッチパネルモニター上に一定時間表示されます。



参考

- 静止画キャプチャの画像表示時間は1秒～5秒の間で設定できます。詳細は、[5.7 画面表示 \[P.95\]](#)を参照してください。
- キャプチャ画像表示がオフの場合は、静止画撮影状態表示アイコンがモニター中央に一定時間表示されます。

4.4 再生

録画を停止した後に、内蔵SSDに保存された記録データを再生することができます。

静止画データも表示できます。

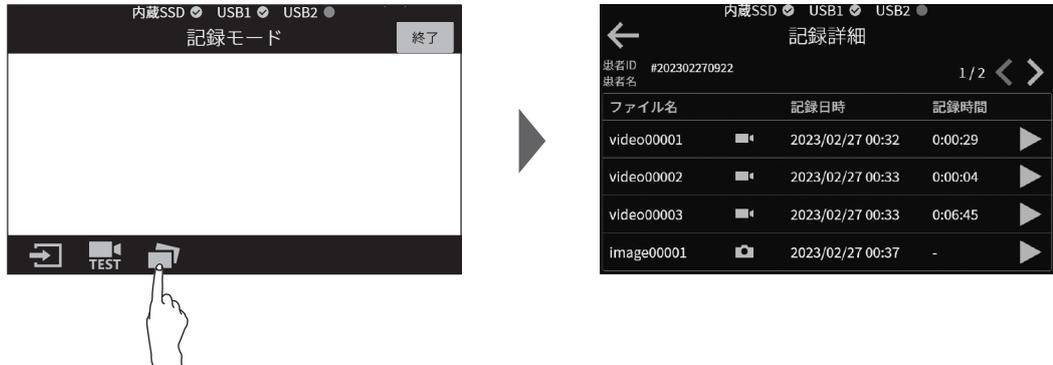
注意点

- 記録した音声を確認したい場合は、オーディオ出力端子（J1）にスピーカーを接続して、記録データを再生してください。
- USBストレージまたはNASに保存された記録データは、レコーダーで再生または表示することはできません。

1. 録画中の場合は「STOP」ボタンを押します。

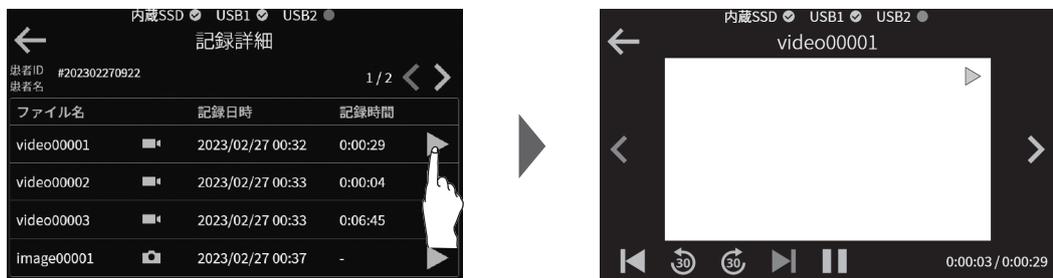
2. 「記録モード」で  を押します。

記録データ（録画および静止画）の一覧が表示されます。



3. 再生したい記録データの  を押します。

記録データが再生されます。



-  : 再生を一時停止する
記録データの再生を一時停止します。一時停止中は  に切り替わります。
-  : 再生を再開する
一時停止中の動画の再生を再開します。再生中は  に切り替わります。
-  : 30秒前へ戻る
30秒前へ移動します。再生経過時間が30秒未満の場合は動画ファイルの最初へ移動します。
-  : 30秒進む
30秒後へ移動します。残り時間が30秒未満の場合は動画ファイルの最後に移動し、一時停止します。
-  : 次のチャプター^{※1}へ移動する
現在位置の後ろにあるチャプターへ移動します。
移動後も再生設定（再生または一時停止）を維持します。
-  : 前のチャプターへ移動する
現在位置の前にあるチャプターへ移動します。
移動後も再生設定（再生または一時停止）を維持します。
-  : 次の記録データへ移動する
現在位置の後ろにある記録データへ移動します。
-  : 前の記録データへ移動する
現在位置の前にある記録データへ移動します。

※1 チャプターは、動画を特定の位置から再生できるようにするために動画ファイルに埋め込まれた区切りです。静止画のキャプチャまたは録画の一時停止をおこなったタイミングでチャプターが設定されます。

再生終了後は \leftarrow を押して「記録詳細」に戻ります。

参考

- 記録データを記録一覧から選択して再生することもできます。詳細は、[記録一覧から録画を再生する / 静止画を表示する \[P.65\]](#)を参照してください。

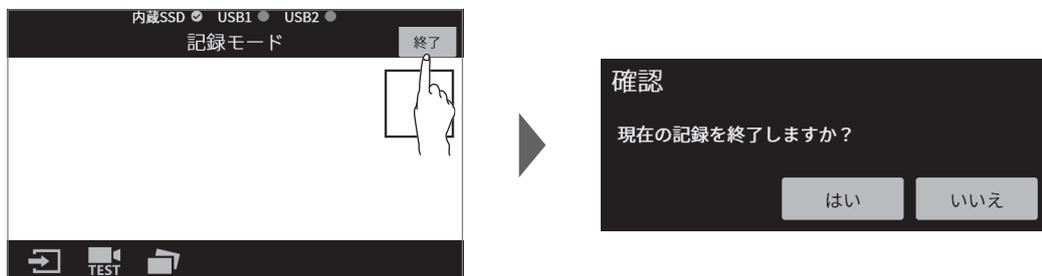
4.5 記録モードの終了

手術や検査が終了し、登録した患者情報に基づく録画および静止画キャプチャを終えたら、記録データを保存します。

- 「記録詳細」で \leftarrow を押します。



- 「記録モード」で右上の「終了」を押します。



- 「はい」を押して記録モードを終了します。

記録データとして、動画ファイル、静止画ファイル、およびCCXファイル（患者情報などが記録されたファイル）が保存されます。保存が完了すると、「ホーム画面メニュー」に戻ります。

注意点

- 外部ストレージを接続している場合は、書き出しが完了するまで「外部ストレージへ書き出し中…」のメッセージが表示されます。書き出しが終了するまで、しばらくお待ちください。
- CCXファイルは、記録モードを終了するタイミングで生成され外部ストレージに保存されます。そのため録画および書き出しが終了していても、記録モード中は外部ストレージを取り外さないでください。

参考

- 「PATIENT」ボタンを押すことで記録モードを終了することもできます。その場合は、記録終了の「確認」メッセージで「はい」を押すと「患者情報」が表示され、次の患者の記録モードに入る準備をおこなうことができます。
- 録画可能時間はストレージの残容量から定期的に計算し、画面に表示されます。
- 1ファイルあたりの録画時間の上限は24時間です。24時間を超えて録画すると自動的にファイルが分割されます。

記録データのファイル名

- ディレクトリ
日付時刻 (YYMMDDHHMMSS) + 記録モードのID (10桁の数字、非連番)
例: 230101111111_0000000001
- 動画ファイル
video+5桁の数字連番 (「00001」始まり)^{※1}、ファイル分割時は末尾に「0001」始まりの4桁の連番を追加
例: video00001 (ファイル分割時: video00001-0001)
- 静止画ファイル
image+5桁の数字連番 (「00001」始まり)^{※1}
例: image00001
- CCXファイル^{※2}
日付時刻 (YYMMDDHHMMSS) + 記録モードのID (10桁の数字、非連番)
例: 230101111111_0000000001

※1 無信号または非サポート信号入力時に録画や静止画キャプチャをおこなった場合、および信号変化などによりファイル分割がおこなわれた場合は、ファイル名が連番とならない可能性があります。

※2 外部ストレージに出力する場合のみ生成されます。MIR BrowserおよびADMENIC Browserを使って参照できます。

4.6 記録データの操作

レコーダー本体の内蔵SSDに保存されている記録データの検索、確認、変更、コピー、および削除ができます。記録モード中は操作できません。

参考

- 文字を入力するときはソフトウェアキーボードまたはUSBキーボードを使います。ソフトウェアキーボードの操作方法については、[ソフトウェアキーボード \[P.25\]](#)を参照してください。

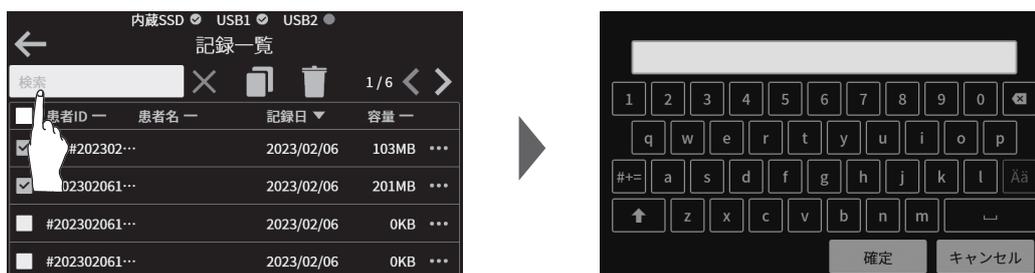
4.6.1 条件を指定して検索する

患者ID、患者名、記録日などの条件を指定して、記録データを検索できます。

注意点

- 大文字と小文字は区別されません。
- 複数項目の検索には対応していません。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「記録一覧」で検索ボックスを押します。
ソフトウェアキーボードが表示されます。



- 検索条件を指定して入力し、「確定」を押します。
患者ID / 患者名 / 記録日 / 容量を検索対象として、入力値に該当する記録データが表示されます。

4.6.2 記録データの一覧を並べ替える

患者ID / 患者名 / 記録日 / 容量を対象に、表示順を切り替えることができます。

一覧表のヘッダー部分を押しして切り替えます。

参考

- 初期設定では、記録日の新しいものから降順に表示されます。
- 同じ患者名の記録データが複数ある場合は、患者名でソートすると記録日の新しいものから降順に表示されます。
- 「記録一覧」で一覧表のヘッダー部分を押しすると、昇順と降順を切り替えることができます。
 - 現在のソート順が押下した項目と同じ場合は、昇順と降順を切り替えます。
 - 患者IDまたは患者名は昇順ソートに切り替わります。
 - 記録日または容量は降順ソートに切り替わります。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「記録一覧」で並び替えたい項目の  を押します。

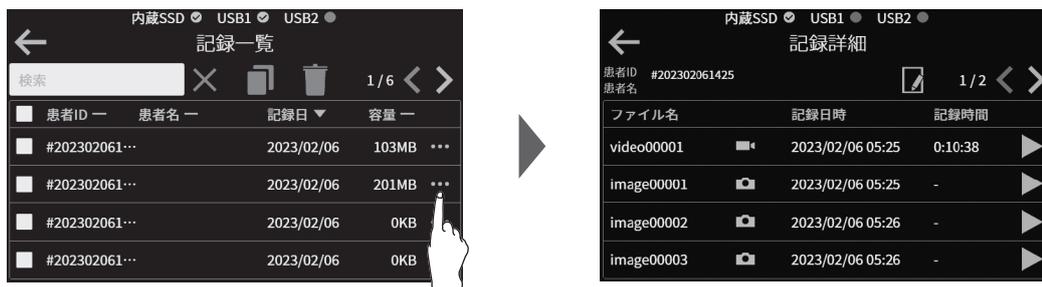


4.6.3 記録データの詳細を確認する

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「記録一覧」で詳細を確認したい記録データの  を押します。
「記録詳細」が表示されます。

参考

- ・「記録詳細」は記録した順に表示されます。
- ・動画データと静止画が一覧で表示されます。



4.6.4 患者情報を変更する

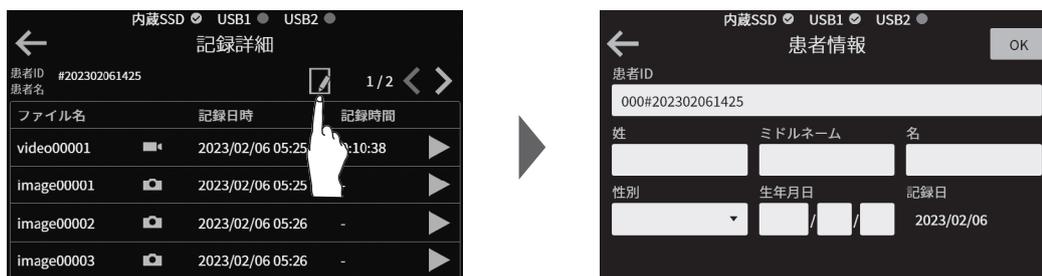
録画開始前に患者情報入力を省略したときや、患者情報を修正したいときは、「記録一覧」から患者情報を変更できます。

注意点

- ・患者情報を変更しても、外部ストレージに保存された記録データには反映されません。必要に応じてデータをコピーしてください。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 患者情報を変更したい記録データの  を押します。

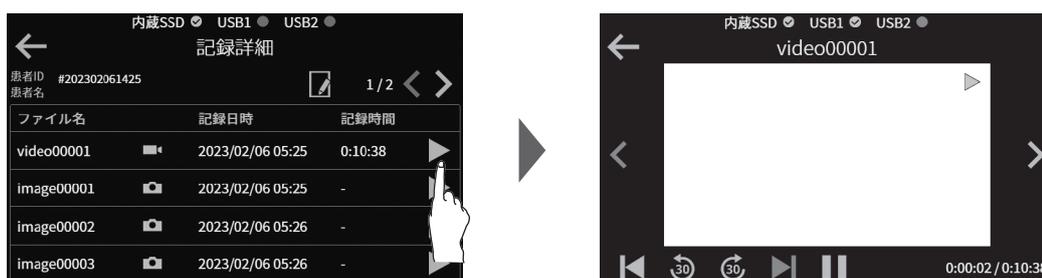
- 記録データの「記録詳細」でを押します。



- 変更したい項目を入力し、右上の「OK」を押します。
患者情報入力を省略したときは各項目をすべて入力します。変更完了後に、患者情報編集の「確認」メッセージが表示され、記録データの「記録詳細」に戻ります。

4.6.5 記録一覧から録画を再生する / 静止画を表示する

- 「ホーム画面メニュー」でを選択します。
- 再生したい記録データ（録画または静止画）のを押します。
- 「記録詳細」の一覧から再生したい記録データのを押します。
記録データが再生されます。



再生後に、を押して「記録詳細」に戻ります。

4.6.6 記録データを外部ストレージにコピーする

内蔵SSDに保存された記録データは、「記録一覧」から選択して外部ストレージにコピーすることができます。

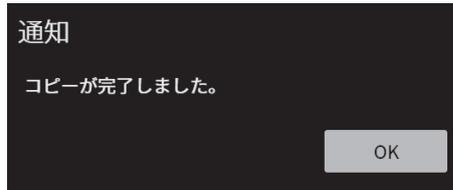
- 「ホーム画面メニュー」でを押します。
- 「記録一覧」でコピーしたい記録データにチェックマークを付け、を押します。
複数の記録データを選択できます。コピー先選択の「確認」メッセージが表示されません。



- 保存先の外部ストレージを選択し、「OK」を押します。
コピーが完了するまで「コピー中…」のメッセージが表示されます。



コピー処理を中断したいときは「キャンセル」を押します。
コピー完了後には、完了メッセージが表示されます。



- 「OK」を押して「記録一覧」に戻ります。

注意点

- USBストレージをレコーダー本体から取り外すときは、「EJECT」ボタンを押します。「USBストレージを取り外すことができます。」のメッセージが表示されたら取り外すことができますようになります。

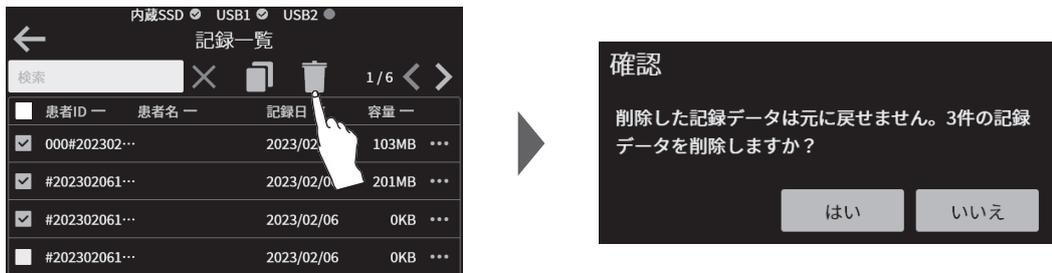
4.6.7 記録データを削除する

内蔵SSDに保存された記録データは、「記録一覧」から選択して削除することができます。

注意点

- 削除した記録データは元に戻せません。

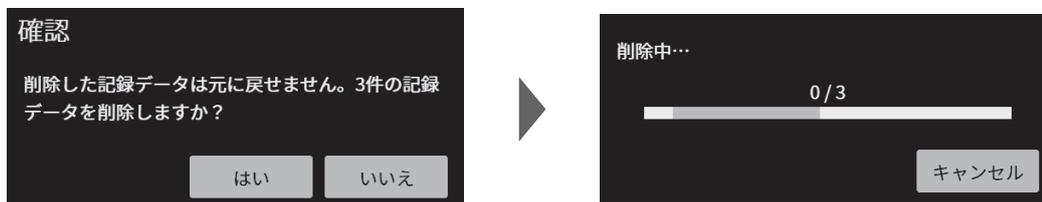
- 「ホーム画面メニュー」で  を選択します。
- 「記録一覧」で削除したい記録データにチェックマークを付け、  を押します。
削除するデータは複数選択できます。記録削除の「確認」メッセージが表示されます。すべてのデータを削除したい場合は、ヘッダー部分にチェックマークを付けます。すべてのデータが選択されます。



3. 「はい」を押して、削除を開始します。

削除が完了するまで、「削除中…」のメッセージが表示されます。

削除処理を中断したいときは「キャンセル」を押します。



削除完了後には、完了メッセージが表示されます。



「OK」を押して「記録一覧」に戻ります。

参考

- 記録データの自動削除機能が「オン」の状態、内蔵SSDの空き領域が一定の値を下回った場合、自動的に古いデータから削除されます。詳細は、[内蔵SSD \[P. 89\]](#)を参照してください。
- 記録データの自動削除機能を使用しない場合は、自動削除機能を「オフ」にしてください。詳細は、[内蔵SSD \[P. 89\]](#)を参照してください。

5 設定

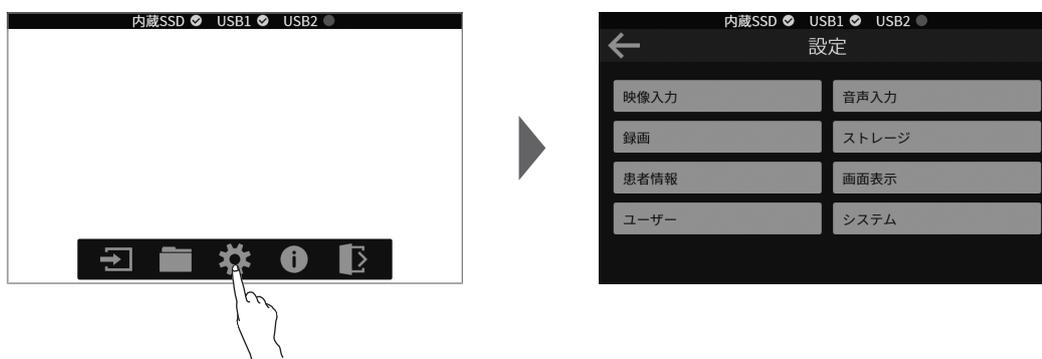
この章では、「ホーム画面メニュー」の「設定」から調整 / 設定できる機能について説明します。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

5.1 設定一覧

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。



2. 設定したい項目を押して必要な設定をおこないます。

- 映像入力（映像入力 [P. 69]参照）
- 音声入力（音声入力 [P. 70]参照）
- 録画（録画 [P. 71]参照）
- ストレージ（ストレージ [P. 73]参照）
- 患者情報（患者情報 [P. 74]参照）
- 画面表示（画面表示 [P. 76]参照）
- ユーザー（ユーザー [P. 77]参照）
- システム（システム [P. 79]参照）

設定が終了したら、左上の  を押します。設定が保存され、「設定」に戻ります。

5.1.1 映像入力

信号

設定値：「SDI」 / 「HDMI」

モニターに表示する信号の種類を切り替えることができます。接続する機器のインターフェースに応じて「SDI」（初期設定） / 「HDMI」のどちらかを選択してください。

映像入力詳細 - HDMI - 互換性

設定値：「3840x2160 60Hz」 / 「3840x2160 30Hz」 / 「1920x1200 60Hz」

HDMI信号のEDIDを切り替えたいときに設定します。入力信号が表示されない場合や意図した表示ができない場合に設定を変更してください。設定を反映するには再起動が必要になります。

- 「3840x2160 60Hz」（初期設定）
上限4K 60Hzで表示、録画します。スルー出力モニターが4K 60Hzに非対応のときは「1920x1200 60Hz」になります。
- 「3840x2160 30Hz」
接続機器の互換性問題などで「3840x2160 60Hz」で正しく表示、録画できないときに使用します。スルー出力モニターが4K 30Hzに非対応のときは「1920x1080 60Hz」になります。
- 「1920x1200 60Hz」
上限をWUXGAに切り替えます。

5.1.2 音声入力

ソース

設定値：「オフ」 / 「マイク」 / 「オーディオ」

音声入力信号の種類を切り替えることができます。接続する機器に応じて選択してください。

- 「オフ」（初期設定）
音声を録音しないときに選択します。
- 「マイク」
マイクなどの音声信号出力機器をマイク入力端子（J3）に接続して録音するときに選択します。
- 「オーディオ」
マイク付きカメラなどの音声信号出力機器をオーディオ入力端子（J2）に接続して録音するときに選択します。

注意点

- 音声入力を使用する場合は、NASをLAN1端子に接続する、またはUSBストレージをUSB1端子に接続してください。USB2端子に接続したUSBストレージは無効になります。

感度

設定値：「1」～「10」

音声入力の入力感度を1～10の間で設定します。記録した音量が小さい場合、感度を上げてください。ただし、感度を上げるとノイズが入りやすくなります。（初期設定：「5」）

- 「1」：最も感度が低くなります。
- 「10」：最も感度が高くなります。

5.1.3 録画

解像度

設定値：「ネイティブ」 / 「1920x1080」

録画解像度を切り替えることができます。

- 「ネイティブ」（初期設定）
入力信号の解像度で録画したいときに選択します。アスペクト比を維持します。フレームレートは入力信号と同じになります。
- 「1920x1080」
FHD画質で十分なときや、解像度に関する互換性に問題があるときに選択します。同解像度にスケーリングされるためアスペクト比が崩れることがあります。フレームレートは入力信号と同じになります。

動画

現在の「エンコード方式」と「画質」を表示します。

動画 - エンコード方式

設定値：「H.264」 / 「H.265」

エンコード方式を切り替えることができます。

- 「H.264」（初期設定）
一般的に広く使用されているエンコード方式です。市販のコンピュータで録画データを再生することができます。
- 「H.265」
H.264より圧縮率が高い方式です。そのため録画データの容量を小さくできますが、市販のコンピュータで録画データを再生する際は、専用のソフトウェアのインストールが必要な場合があります。

動画 - 画質

設定値：「高画質」 / 「標準」 / 「録画時間優先」

動画の画質を切り替えることができます。

- 「高画質」
画質を優先する場合に選択します。
- 「標準」（初期設定）
画質と録画時間のバランスを考慮した設定です。
- 「録画時間優先」
録画時間を優先する場合に選択します。

動画 - 録画時間 (1TBあたり)

ストレージの残容量と現在の設定をもとに計算し、1TBあたりの録画可能な予想時間が解像度ごとに表示されます（3840x2160と1920x1080）。

静止画

現在の「保存方式」を表示します。

静止画 - フォーマット

設定値：「JPEG」 / 「TIFF」

- 「JPEG」（初期設定）
圧縮率の高い形式です。静止画データの容量を小さくできますが、画質の劣化があります。
- 「TIFF」
画質の劣化がありません。画質を優先する場合に選択します。

同時記録

設定値：「USB」 / 「NAS」 / 「オフ」

同時記録をおこなう外部ストレージを設定することができます。

- 「USB」（初期設定）
USBストレージに記録する場合に選択します。
- 「NAS」
NASに記録する場合に選択します。
- 「オフ」
同時記録をおこなわない場合を選択します。

5.1.4 ストレージ

内蔵SSD - 内蔵SSD

内蔵SSDの空き領域と総容量が表示されます。

内蔵SSD - 自動削除

設定値：「オン」 / 「オフ」

- 「オン」（初期設定）
内蔵SSDの空き領域が一定の値を下回った場合、自動的に古いデータから削除されま
す。
- 「オフ」
内蔵SSDの空き領域が無くなった場合、録画を停止します。

USBストレージ - USBストレージ

設定値：「オン」 / 「オフ」

USBストレージの有効 / 無効を選択します。

- 「オン」（初期設定）：有効
- 「オフ」：無効

USBストレージ - 管理 - USB1 / USB2

USB1またはUSB2の製品名とUSB規格および空き領域と総容量が表示されます。USBストレ
ージ未接続または未マウントの状態では「-」表示になります。

「フォーマット」を押すと、USBストレージを「exFAT」（初期設定）または「NTFS」で
フォーマットします。

5.1.5 患者情報

ID入力 - 必須入力

設定値：「オン」 / 「オフ」

- ・ 「オン」
患者IDの入力が必須になります。
- ・ 「オフ」 (初期設定)
患者IDの入力を任意とします。

ID入力 - 文字

設定値：「英数記号」 / 「数字のみ」

入力文字の英数記号 / 数字のみを切り替えることができます。

- ・ 「英数記号」 (初期設定)
- ・ 「数字のみ」

ID入力 - 桁数

設定値：「4」 ~ 「20」

「設定」を押すと桁数入力画面に移動します。

患者IDの最大桁数を4桁~20桁の間で設定します。(初期設定：「8」)

ID入力 - 0パディング

設定値：「オン」 / 「オフ」

0パディングの有効 / 無効を切り替えることができます。

- ・ 「オン」 (初期設定)
IDが指定した桁数に満たない場合、0を付加します。

バーコードリーダー - バーコードリーダー

設定値：「オン」 / 「オフ」

- ・ 「オン」
患者IDの入力にバーコードリーダーを使用することができます。患者情報入力時にバーコード入力ダイアログボックスが表示されます。
- ・ 「オフ」 (初期設定)

バーコードリーダー - 開始位置

設定値：「1」 ~ 「999」

「設定」を押して、1桁~999桁の間で設定します。

バーコードリーダー - 長さ

「バーコードリーダー」では設定できません。設定を変更したいときは「ID入力」の桁数の項目で設定します。

読み込みテスト - 読み込み

このキーを押すと読み込みテストを開始します。

読み込みテスト - 読み込み結果

バーコードリーダーで読み込んだ文字列がそのまま表示されます。

読み込みテスト - 解析結果

「ID入力」の「桁数」および「バーコードリーダー」の「開始位置」の設定に基づいて解析された文字列が表示されます。

5.1.6 画面表示

静止画キャプチャ-キャプチャ画像表示

設定値：「オン」 / 「オフ」

- 「オン」（初期設定）
静止画キャプチャをおこなった際に、静止画キャプチャで撮影された画像をモニター上に一定時間表示します。
- 「オフ」
静止画キャプチャをおこなった際に、静止画撮影状態表示アイコンをモニター中央に一定時間表示します。連続してキャプチャをおこなう場合は、「オフ」に設定してください。

静止画キャプチャ-表示時間

設定値：「1」～「5」

キャプチャ画像の表示時間を1秒～5秒の間で設定します。

「オフ」のときは設定できません。（初期設定：「3」）

5.1.7 ユーザー

ユーザー一覧

登録されているユーザーのユーザー名とタイプが表示されます。「追加」を押すとユーザーを登録できます。最大30名まで登録できます。

ユーザー情報 - ユーザー名

ユーザー名を半角1~16文字の英数記号で設定します。

同一のユーザー名は、登録できません。

#、&、:、/、<、>、\、"は使用できません。

ユーザー情報 - タイプ

設定値：「管理者」 / 「標準」

ユーザーのタイプを設定します。少なくとも1名の「管理者」ユーザーが必要です。

- ・ 「管理者」
設定を含むすべての機能を使用できます。
- ・ 「標準」（初期設定）
録画や再生機能を使用できます。

ユーザー情報 - パスワード

パスワードを半角8~32文字で設定します。英大文字、英小文字および数字をそれぞれ1文字以上含む必要があります。

パスワードは大文字小文字が区別されます。

\は使用できません。

ユーザー情報 - パスワード (確認)

パスワードを再度入力します。

自動ログイン - 自動ログイン

設定値：「オン」 / 「オフ」

製品起動時の自動ログインを設定します。

- ・ 「オン」
自動ログインを有効にします。
- ・ 「オフ」（初期設定）
自動ログインを無効にします。ログイン画面でログインします。

自動ログイン - タイプ

設定値：「管理者」 / 「標準」

自動ログインをおこなうユーザーのタイプを選択します。

- ・ 「管理者」
設定を含むすべての機能を使用できます。

- 「標準」 (初期設定)
録画や再生機能を使用できます。

5.1.8 システム

日付時刻 - 日付時刻 - 日付 - 年

設定値：「2022」～「2050」

日付時刻 - 日付時刻 - 日付 - 月

設定値：「1」～「12」

日付時刻 - 日付時刻 - 日付 - 日

設定値：「1」～「31」

日付時刻 - 日付時刻 - 時刻 - 時

設定値：「0」～「23」

日付時刻 - 日付時刻 - 時刻 - 分

設定値：「0」～「59」

日付時刻 - タイムゾーン - 地域

この製品を使用する地域を設定します。

日付時刻 - タイムゾーン - 都市

この製品を使用する都市を設定します。

日付時刻 - タイムゾーン - 時差

設定された「地域」、「都市」の、UTC（協定世界時）との時差を表示します。サマータイムがある地域は、標準の時差を表示します。

日付時刻 - 日付形式

設定値：「YYYY/MM/DD」 / 「MM/DD/YYYY」 / 「DD/MM/YYYY」

日付の表示形式を設定します。

言語 - 言語

設定値：「日本語」 / 「英語」 / 「ドイツ語」 / 「フランス語」 / 「スペイン語」 / 「イタリア語」 / 「簡体中国語」

表示言語を設定します。

言語 - USBキーボード

設定値：「日本語」 / 「英語 (US)」 / 「英語 (UK)」 / 「ドイツ語」

USBキーボードの言語を設定します。

ネットワーク - ネットワーク

設定値：「オン」 / 「オフ」

ネットワークの有効 / 無効を設定します。

ネットワーク - IPアドレス - 設定方式

設定値：「DHCP」 / 「手動」

ネットワークの設定方法を設定します。

ネットワーク - IPアドレス - IPアドレス

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

「設定方式」が「手動」の場合、IPアドレスを設定します。

ネットワーク - IPアドレス - サブネットマスク

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

「設定方式」が「手動」の場合、サブネットマスクのアドレスを設定します。

ネットワーク - IPアドレス - ゲートウェイ

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

「設定方式」が「手動」の場合、ゲートウェイのアドレスを設定します。

ネットワーク - DNS - プライマリー

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

プライマリーサーバーのアドレスを設定します。

ネットワーク - DNS - セカンダリー

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

セカンダリーサーバーのアドレスを設定します。

ネットワーク - NAS - NAS

設定値：「オン」 / 「オフ」

NASの有効 / 無効を設定します。

ネットワーク - NAS - サーバーアドレス

「NAS」が「オン」の場合、サーバーのアドレスを2～64文字で設定します。

ドメイン名またはIPアドレスのどちらでも設定できます。

ネットワーク - NAS - 共有フォルダ

「NAS」が「オン」の場合、共有フォルダのアドレスを1～64文字で設定します。

ネットワーク - NAS - ユーザー名

「NAS」が「オン」の場合、ユーザー名を0～64文字で設定します。

「NAS」を「オフ」にすると、設定したユーザー名が消去されます。

ユーザー認証が必要なNASに接続する場合は、「ユーザー名」の入力が必要です。一方、ユーザー認証が不要なNASに接続する場合は、ユーザー名の入力は不要です。

ネットワーク - NAS - パスワード

「NAS」が「オン」の場合、パスワードを0～64文字で設定します。
「NAS」を「オフ」にすると、設定したパスワードが消去されます。
ユーザー認証が必要なNASに接続する場合は、「パスワード」の入力が必要です。一方、ユーザー認証が不要なNASに接続する場合は、パスワードの入力は不要です。

ネットワーク - NTP - NTP

設定値：「オン」 / 「オフ」
NTPの有効 / 無効を設定します。

ネットワーク - NTP - サーバーアドレス

「NTP」が「オン」の場合、サーバーのアドレスを2～64文字で設定します。
ドメイン名またはIPアドレスのどちらでも設定できます。

明るさ - 画面の明るさ

設定値：「1」～「5」
1～5の間で設定します。（初期設定：「4」）

- ・ 「1」：最も暗くなります。
- ・ 「5」：最も明るくなります。

音声 - 操作音

設定値：「オン」 / 「オフ」
操作音のオン / オフを切り替えることができます。（初期設定：「オン」）
「テスト」を押すとタッチパネルモニター操作時の操作音を鳴らすことができます。

音声 - アラート音

設定値：「オン」 / 「オフ」
アラート音のオン / オフを切り替えることができます。（初期設定：「オン」）
「テスト」を押すとエラー発生時のアラート音を鳴らすことができます。

トリガー入力 - トリガー1

設定値：「使用しない」 / 「静止画撮影」

- ・ 「使用しない」（初期設定）
- ・ 「静止画撮影」
トリガー入力端子（J4）に接続した機器で静止画撮影の制御を実行することができます。

トリガー入力 - トリガー2

設定値：「使用しない」 / 「録画/停止」 / 「オンの間録画/一時停止」

- ・ 「使用しない」（初期設定）

- 「録画/停止」

トリガー入力端子（J5）に接続した機器で録画/停止の制御を実行することができます。トリガーでの制御を実行するたびに録画と停止を切り替えます。

- 「オンの間録画/一時停止」

トリガー入力端子（J5）に接続した機器でオンの間録画/一時停止の制御を実行することができます。

フットスイッチを接続した場合、フットスイッチを踏んでいる間は録画を実行し、スイッチから足を離すと一時停止になります。

外部機器制御 - RS-232C

設定値：「オフ」 / 「EIZOモニター録画タリー制御」 / 「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」

録画中にEIZO CuratORシリーズモニターの画面内に本機の動作状態を示すアイコンを表示します。（表示するアイコンはモニターによって異なります。）

EIZO CuratORシリーズモニターをRS-232Cで接続し、「EIZOモニター録画タリー制御」または「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」を選択することで利用できます。（初期設定：「オフ」）

- 「EIZOモニター録画タリー制御」

録画中にEIZO CuratORシリーズモニターの画面内に録画状態（録画中）のアイコンを表示します。

- 「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」

録画中にEIZO CuratORシリーズモニターの画面内に録画状態（録画中、一時停止、または停止）および静止画撮影状態のアイコンを表示します。

外部機器制御 - タリー位置

設定値：「左上」 / 「左下」 / 「右上」

「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」を選択したとき、タリー制御中に表示するアイコンの表示位置を設定します。

「テスト」を押すとタリー制御時のアイコンを表示することができます。

セキュリティ - 情報ファイル暗号化 - 暗号化方式

設定値：「TripleDES」 / 「AES256」 / 「オフ」

外部ストレージに書き出す際のCCXファイルの暗号化を設定します。

- 「TripleDES」（初期設定）

ADMENIC Browserとの互換性を重視しています（システム内部のキー（固定値）を利用して暗号化します）。

- 「AES256」

「TripleDES」よりも暗号化強度を高め、セキュリティを重視しています（ユーザーの設定したパスワードに基づいて暗号化します）。

- 「オフ」

暗号化をおこないません。

セキュリティ - 情報ファイル暗号化 - パスワード

「暗号化方式」で「AES256」を選択した場合にパスワードを半角8～32文字で設定します。英大文字、英小文字および数字をそれぞれ一文字以上含む必要があります。

セキュリティ - 情報ファイル暗号化 - パスワード (確認)

パスワードを再度入力します。

初期化 - 設定

「初期化」を押すと設定値を工場出荷値に戻します。

初期化 - 内蔵SSD

「フォーマット」を押すと内蔵SSDをフォーマットし、記録データをすべて削除します。

ソフトウェア更新 - 現在のバージョン

現在のソフトウェアバージョンを表示します。

ソフトウェア更新 - ソフトウェア更新ファイル一覧

接続中の外部ストレージ内のソフトウェア更新ファイルを表示します。検索対象は、USBストレージの場合は先頭のパーティションのルートフォルダ、NASの場合はNASの設定で指定した共有フォルダになります。更新ファイルのファイル名と保存先が表示されます。ファイル名の拡張子は表示されません。

「→」を押すとソフトウェア更新の「確認」メッセージが表示されます。「はい」を押すとソフトウェア更新を実行します。処理実行中は「更新中…」のメッセージが表示されません。更新完了後に再起動が実行されます。

ログ - 出力先

設定値：「USB1」 / 「USB2」 / 「NAS」

ログの出力先にする外部ストレージを選択します。

この製品に問題が生じたとき、お問い合わせの際にログファイルを出力して当社に送付してください。

ログ - ファイル名

日付 (YYYYMMDD) _CuratOR_MIR-1_製造番号 (8桁) .log.tar

「ファイル出力」を押すとログと設定値情報を選択中の外部ストレージに出力します。

ライセンス情報 - 出力先

設定値：「USB1」 / 「USB2」 / 「NAS」

ライセンス情報の出力先にする外部ストレージを選択します。

ライセンス情報 - ファイル名

CuratOR_MIR-1_LICENSE.txt

「ファイル出力」を押すとライセンス情報を選択中の外部ストレージに出力します。

キャリブレーション

タッチパネルのキャリブレーションをおこないます。タッチパネルモニターに表示される十字の中心をタッチして調整します。左上→右上→左下→右下の順に十字が表示されます。設定完了後に再起動が実行されます。

5.2 映像入力

映像入力信号に対する設定をおこないます。「SDI」または「HDMI」から入力信号を選択します。

注意点

- 「SDI」と「HDMI」の同時録画には対応していません。
- 「SDI」および「HDMI」入力からの音声入力には対応していません。録音が必要な場合は、オーディオ入力端子（J2）またはマイク入力端子（J3）に音声信号出力機器を接続してください。詳細は、[5.3 音声入力 \[P. 85\]](#)を参照してください。

参考

- 映像入力信号はタッチパネルモニター上にライブ表示されます。

5.2.1 映像入力信号の設定

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「映像入力」を押します。



- 「映像入力」で、接続する機器のインターフェースに応じて「SDI」/「HDMI」のどちらかを選択します。

「HDMI」を選択時は、必要に応じて「詳細設定」を押し、互換性を次のいずれかから選択します。

- 「3840x2160 60Hz」

入力信号の解像度で録画したい場合に選択します。

- 「3840x2160 30Hz」

接続機器の互換性問題などにより、「3840x2160 60Hz」で正しく表示、録画できない場合に設定します。スルー出力モニターが4K 30Hzに非対応のときは「1920x1080 60Hz」になります。

- 「1920x1200 60Hz」

上限をWUXGAに切り替えます。

互換性設定変更の「確認」メッセージが表示され、「はい」を押すと設定が完了します。

「再起動中…」のメッセージが表示され、再起動が実行されます。

5.3 音声入力

音声入力信号に対する設定をおこないます。「マイク」または「オーディオ」から入力信号を選択します。

注意点

- 「SDI」および「HDMI」入力からの音声入力には対応していません。
- 「マイク」と「オーディオ」の同時録音には対応していません。
- 音声入力を使用する場合は、NASをLAN1端子に接続する、またはUSBストレージをUSB1端子に接続してください。USB2端子に接続したUSBストレージは無効になります。

5.3.1 音声入力信号の設定

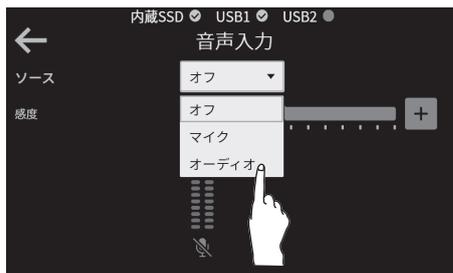
注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「音声入力」を押します。



3. 接続する音声信号出力機器に応じて、ソース項目で「マイク」または「オーディオ」を選択します。次のとおり選択してください。
 - マイク付きカメラなどの音声信号出力機器を接続する場合
 接続する端子：オーディオ入力端子（J2）
 「音声入力」 - 「ソース」：オーディオ
 - マイクなどの音声信号出力機器を接続する場合
 接続する端子：マイク入力端子（J3）
 「音声入力」 - 「ソース」：マイク



4. 必要に応じて、感度を調整します。感度は1から10の間で調整できます。記録した音量が小さい場合、感度を上げてください。ただし、感度を上げるとノイズが入りやすくなります。



参考

- 「マイク」または「オーディオ」を選択している場合は、ミュートにできません。音声をミュートにしたい場合は「オフ」を選択します。
- 録画中に録音のオン/オフを切り替える場合は、音声信号出力機器の設定を変更してください。

左上の  を押して「設定」に戻り設定完了です。

5.4 録画

録画に関する設定をおこないます。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。

2. 「設定」で「録画」を押します。



3. 解像度を次のいずれかから選択します。静止画の解像度は、動画の解像度設定に依存します。
- ネイティブ
入力信号の解像度のままで録画したいときに選択します。
 - 1920x1080
4K高画質ではなく、フルハイビジョン画質で録画したいとき、またはH.264 / 265の解像度に関する互換性問題を回避したいときに選択します。
4. 動画の「設定」を押します。
5. エンコード方式を次のいずれかから選択します。
- H.264
互換性を優先する場合に選択します。
 - H.265
圧縮率を優先する場合に選択します。
6. 画質を次のいずれかから選択します。
- 高画質
録画時間より画質を優先する場合に選択します。
 - 標準
画質と録画時間のバランスを考慮した設定です。
 - 録画時間優先
画質より録画時間を優先する場合に選択します。
7. 静止画の「設定」を押します。
8. フォーマットを次のいずれかから選択します。
- JPEG
圧縮率の高い形式です。静止画データの容量を小さくできますが、画質の劣化があります。
 - TIFF
画質の劣化がありません。画質を優先する場合に選択します。

9. 同時記録をおこなう外部ストレージを次のいずれかから選択します。

外部ストレージについては、[USBストレージ \[P. 90\]](#)、[ネットワーク \[P. 97\]](#)を参照してください。

– USB

USBストレージに記録する場合に選択します。

– NAS

NASに記録する場合に選択します。

– オフ

同時記録をおこなわない場合に選択します。

設定後に左上のを押して「録画」に戻り設定完了です。

5.5 ストレージ

内蔵SSDの自動削除機能の設定とUSBストレージのフォーマットをおこないます。この製品は録画中にストレージの空き領域が不足し録画が停止することを防ぐため、内蔵SSDの自動削除機能を搭載しています。

注意点

- 内蔵SSDのフォーマットは「ストレージ」ではおこなえません。「設定」-「システム」-「初期化」でおこないます。詳細は、[初期化 \[P. 104\]](#)を参照してください。
- 本体背面のUSB端子に接続したときはUSBストレージとして認識されません。またUSBハブを介したUSBストレージの接続はサポートしていません。レコーダー本体前面のUSB端子に直接接続してください。
- USB2.0以下のUSBストレージは転送に時間がかかるため、推奨していません。USB 5Gbps以上のUSBストレージを接続してください。
- USBストレージのフォーマットをおこなうとUSBストレージのデータはすべて消去され、元に戻せません。
- 音声を記録する場合は、USBストレージをUSB1端子に接続してください。USB2端子に接続したUSBストレージは無効になります。

5.5.1 内蔵SSD

内蔵SSDの空き領域、総容量の確認、および自動削除機能オン/オフの切り替えができます。

自動削除機能が「オン」の状態、内蔵SSDの空き領域が一定の値を下回った場合、自動的に古いデータから削除されます。

内蔵SSDの空き領域、総容量の確認、および自動削除機能の設定

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「ストレージ」を押します。
3. 「ストレージ」で「内蔵SSD」を押します。

内蔵SSDの空き領域と総容量の確認ができます。



4. 自動削除の項目を「オン」または「オフ」に設定します。
左上の  を押して、「設定」に戻り設定完了です。

5.5.2 USBストレージ

USBストレージの無効化や、接続しているUSBストレージの空き領域、総容量の確認、およびフォーマットができます。

USBストレージの無効化

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「ストレージ」を押し、「USBストレージ」を押しします。
- USBストレージの項目を「オフ」に設定します。



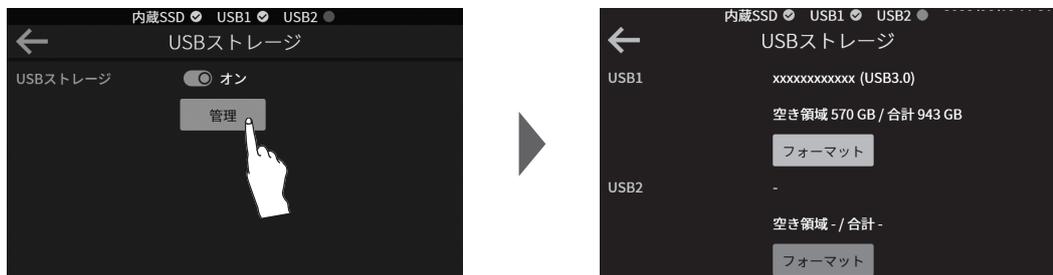
左上の  を押して、「ストレージ」に戻り設定完了です。

USBストレージのフォーマット

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「ストレージ」を押し、「USBストレージ」を押しします。
- USBストレージの項目を「オン」に設定し、「管理」を押します。



接続しているUSBストレージの空き領域と総容量が表示されます。

4. 「USBストレージ」で「フォーマット」を押します。
フォーマットの「確認」メッセージが表示されます。



5. ファイルシステムを次のいずれかから選択します。
- exFAT
Windows、Macでアクセス可能です。
 - NTFS
Windows標準
6. 選択後に「OK」を押し、フォーマットを開始します。
実行中は「フォーマット中…」のメッセージが表示されます。
フォーマットが完了すると「通知」メッセージが表示されます。

5.6 患者情報

患者情報に関する設定をおこないます。

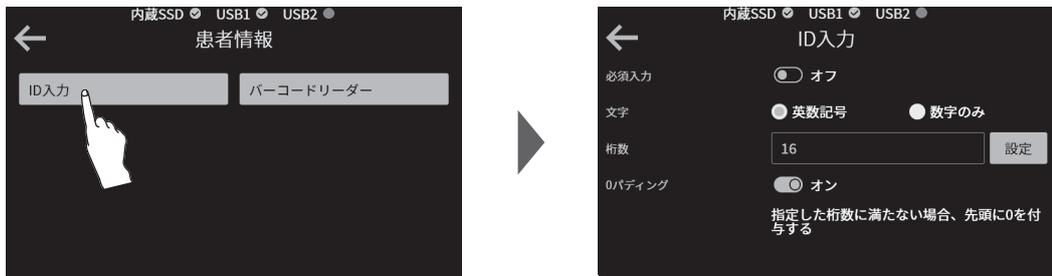
5.6.1 ID入力

ID入力の設定

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「患者情報」を押します。
- 「患者情報」で「ID入力」を押します。
各項目の設定をします。



- 必須入力
患者IDの入力を必須とするときは「オン」を選択します。
- 文字
「英数記号」/「数字のみ」から選択します。
- 桁数
4桁～20桁で設定できます。「設定」を押します。「ID入力」の桁数項目に桁数を入力し、「OK」を押します。
- 0パディング
IDの桁数が指定した桁数に満たない場合、先頭に0を付与して桁数を補いたいときは「オン」を選択します。

左上の  を押して、「患者情報」に戻り設定完了です。

5.6.2 バーコードリーダー

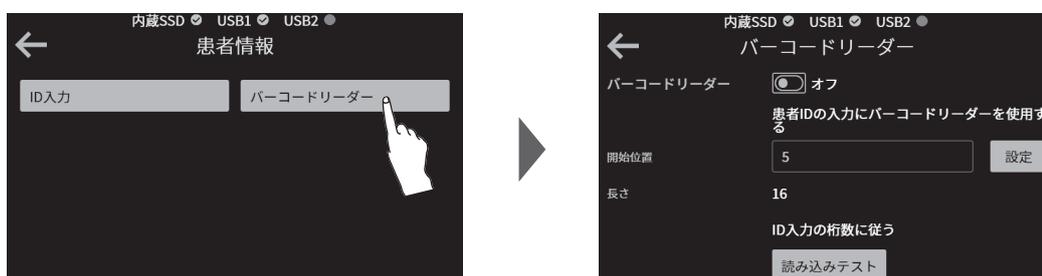
バーコードリーダーを使用して患者IDを読み込むための設定をおこないます。

バーコードリーダーの設定

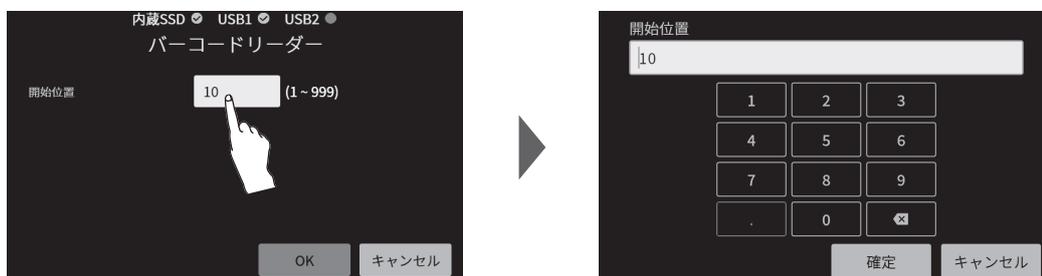
注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「患者情報」を押します。
- 「患者情報」で「バーコードリーダー」を押します。

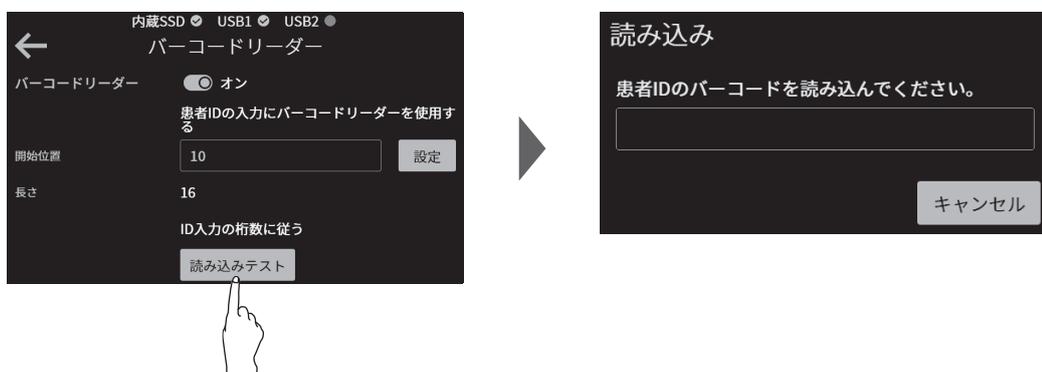


- バーコードリーダーを「オン」に切り替えます。
- 「開始位置」の「設定」を押します。
- 「開始位置」を1~999の間で入力し「確定」を押します。



- 「バーコードリーダー」に戻り「読み込みテスト」を押します。

バーコードの「読み込み」のメッセージが表示され、バーコード読み込みを受け付けます。



8. 患者IDのバーコードを読み込みます。

読み込み結果にはバーコードリーダーで読み込んだ文字列がそのまま表示されます。

「ID入力」の桁数および「バーコードリーダー」の開始位置の設定に基づいて解析された文字列が解析結果に表示されます。もう一度バーコードを読み込む場合は、「読み込み」を押します。



左上の◀を押して、「バーコードリーダー」に戻り設定完了です。

5.7 画面表示

静止画キャプチャの表示に関する設定をおこないます。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「画面表示」を押します。



- キャプチャ画像表示の項目を「オン」または「オフ」に設定します。
「オン」に設定すると、静止画キャプチャをおこなった際に、撮影された画像がモニター上に表示されます。
「オフ」の場合は、モニター中央に静止画撮影状態表示アイコンが表示されます。
- 「オン」に設定したときは、必要に応じて表示時間の項目を1秒～5秒の間で設定します。



左上の  を押して、「設定」に戻り設定完了です。

5.8 システム

5.8.1 日付時刻

レコーダーの日付時刻、タイムゾーン、日付形式を設定します。日付時刻は年（西暦）/月/日/時/分の項目を手動で設定します。設定方法は、[現在の時刻とタイムゾーンを設定する \[P. 35\]](#)を参照してください。

5.8.2 言語

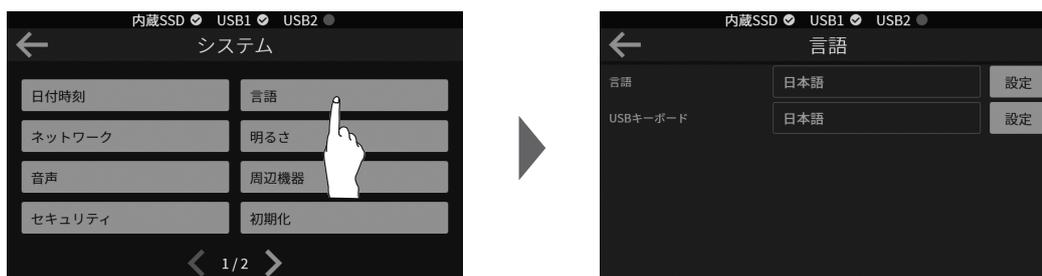
表示言語やUSB接続キーボードでの入力言語を設定できます。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

表示言語

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。
3. 「システム」で「言語」を押します。



4. 「言語」項目で「設定」を押し、表示する言語を選択します。

参考

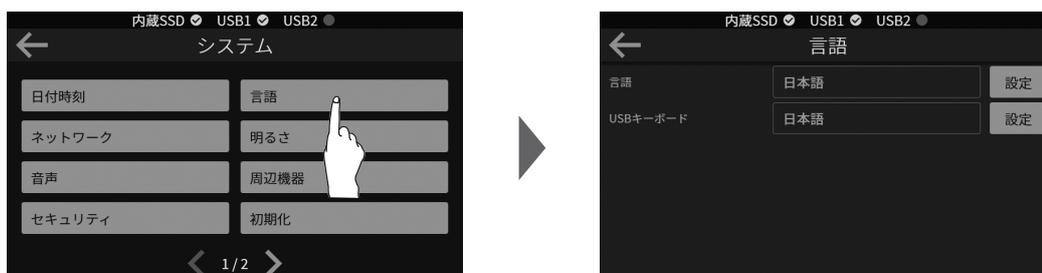
- 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / 簡体中国語を選択できます。



「OK」を押します。左上の  を押して、「システム」に戻り設定完了です。

USBキーボード言語

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。
3. 「システム」で「言語」を押します。



4. 「USBキーボード」項目で「設定」を押し、言語を選択します。

参考

- 日本語/英語 (US)/英語 (UK)/ドイツ語を選択できます。



「OK」を押します。左上の←を押して、「システム」に戻り設定完了です。

5.8.3 ネットワーク

録画データをレコーダーからNASに同時記録するなどネットワークに接続する機能を利用する場合に設定します。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

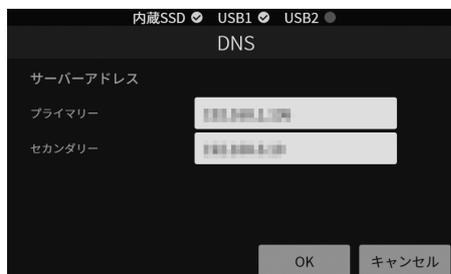
- 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。
- 「設定」で「システム」を押します。
- 「システム」で「ネットワーク」を押します。



- 「ネットワーク」項目で「オン」（有効） / 「オフ」（無効）を選択します。
- 「IPアドレス(LAN1)」の「設定」を押します。



6. 設定方式を次のいずれかから選択し、各項目を設定します。
 - DHCP
DHCPを利用した自動でのネットワーク設定をするときに選択します。
 - 手動
手動でのネットワーク設定をするときに選択します。
 - IPアドレス
設定方式が「手動」の場合に入力します。
 - サブネットマスク
設定方式が「手動」の場合に入力します。
 - ゲートウェイ
設定方式が「手動」の場合に入力します。
7. 「OK」を押して、「IPアドレス」の設定を完了します。
8. 「DNS」の項目で「設定」を押して、各項目を設定します。



- プライマリー
プライマリーサーバーアドレスを手動設定する場合に入力します。
 - セカンダリー
セカンダリーサーバーアドレス手動設定する場合に入力します。
9. 「OK」を押して、「DNS」の設定を完了します。
 10. 「NAS」の項目で「設定」を押して、各項目を設定します。



11. 「オン」 (有効) / 「オフ」 (無効) を選択し、各項目を設定します。
 - サーバーアドレス
NASが「オン」の場合に入力します。
 - 共有フォルダ
NASが「オン」の場合に入力します。
 - ユーザー名
NASが「オン」の場合に入力します。
 - パスワード
NASが「オン」の場合に入力します。
12. 「OK」を押して、「NAS」の設定を完了します。
13. 「NTP」の項目で「設定」を押します。



14. 「オン」 (有効) / 「オフ」 (無効) を選択します。
 - サーバーアドレス
NTPが「オン」の場合に入力します。
15. 「OK」を押して、「NTP」の設定を完了します。
左上の◀を押して、「システム」に戻り設定完了です。

5.8.4 明るさ

内蔵モニターの明るさは1～5の5段階で調整できます。

注意点

- 内蔵モニターはタッチパネルを兼ねています。そのため消灯ができません。
- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

1. 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。
3. 「システム」で「明るさ」を押します。



- 「明るさ」で画面の明るさ項目の **-** または **+** を押して調整します。
左上の **←** を押して、「システム」に戻り設定完了です。

5.8.5 音声

タッチパネルモニターを操作したときやエラーが発生したときなどに、レコーダーから音を鳴らすかどうかを設定できます。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で **⚙️** を押します。
- 「設定」で「システム」を押します。
- 「システム」で「音声」を押します。



- 操作音とアラート音のオン/オフを選択します。
テストを押すと操作音とアラート音の確認ができます。

参考

- タッチパネルモニター、本体ボタン、およびトリガー入力の操作音が不要なときは、「操作音」をオフにします。
- エラー、警告、および通知のアラート音を出力しないときは、「アラート音」をオフにします。
- 記録した音声を確認したい場合は、オーディオ出力端子 (J1) にスピーカーを接続して、記録データを再生してください。

左上の **←** を押して、「システム」に戻り設定完了です。

5.8.6 周辺機器

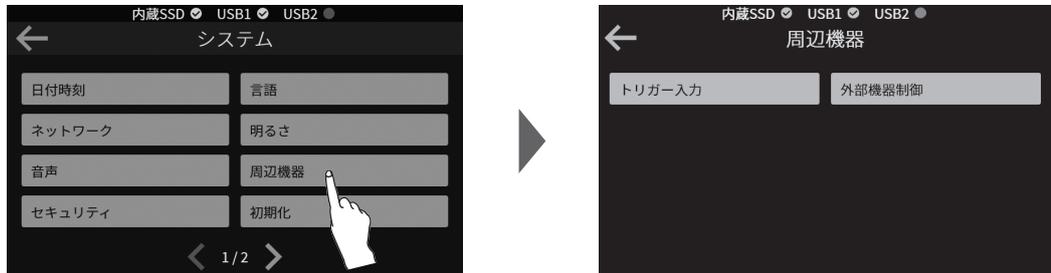
注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

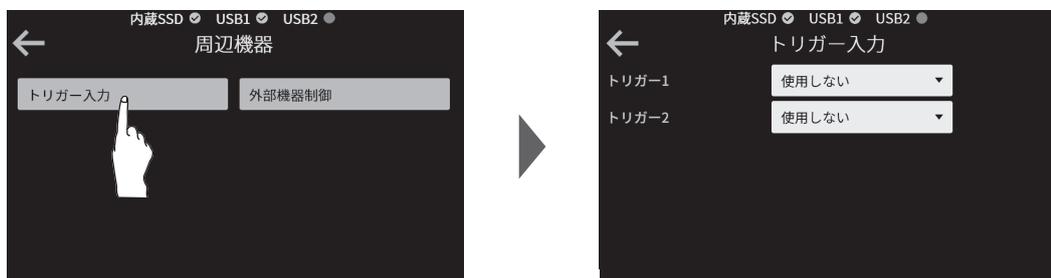
トリガー入力

レコーダー本体背面のトリガー入力端子に接続した機器で制御をおこなう場合に設定します。制御の種類を設定できます。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。
3. 「システム」で「周辺機器」を押します。



4. 「周辺機器」で「トリガー入力」を押します。



5. トリガー入力によっておこないたい制御の種類を「トリガー1」、「トリガー2」で選択します。

「トリガー1」と「トリガー2」では、選択できる制御の種類が異なります。

– 「トリガー1」

設定値：「使用しない」 / 「静止画撮影」

– 「トリガー2」

設定値：「使用しない」 / 「録画/停止」 / 「オンの間録画/一時停止」



左上の  を押して、「周辺機器」に戻り設定完了です。

注意点

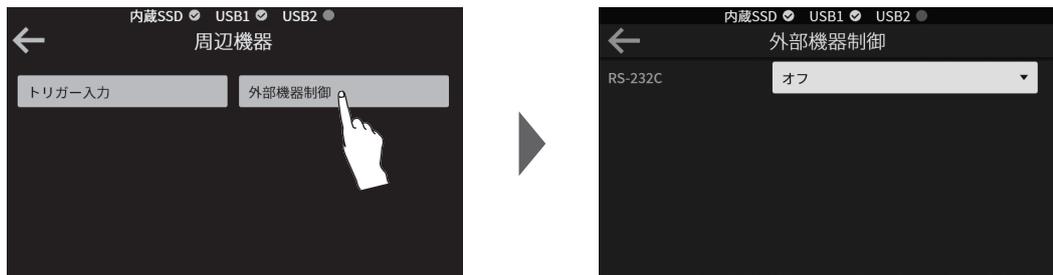
- フットスイッチなどのトリガー出力機器は、「トリガー1」を使用する場合はトリガー入力端子 (J4) に、「トリガー2」を使用する場合はトリガー入力端子 (J5) に接続してください。

外部機器制御

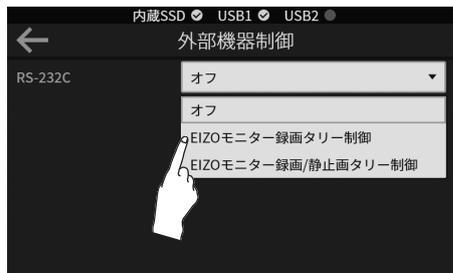
レコーダーとEIZO CuratORシリーズモニターをRS-232C経由で接続すると、モニターのタリー表示機能を利用できます。この機能を使用すると、録画中、EIZO CuratORシリーズモニター上に本機の動作状態を示すアイコンが表示されます。

ご使用のモニターによっては、タリー表示機能に対応していない場合があります。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。
3. 「システム」で「周辺機器」を押します。
4. 「周辺機器」で「外部機器制御」を押します。



5. 「外部機器制御」のRS-232Cの項目で「EIZOモニター録画タリー制御」または「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」を選択します。
 - EIZOモニター録画タリー制御
録画状態（録画中）のアイコンを表示します。
 - EIZOモニター録画/静止画タリー制御
録画状態（録画中、一時停止、または停止）および静止画撮影状態のアイコンを表示します。



6. 「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」を選択したときは、タリー位置の選択が可能になります。



7. タリー位置を「左上」、「右上」、「左下」から選択します。



8. 「テスト」を押します。

正しく機能したときは、「EIZOモニターのタリー制御に成功しました。」と通知メッセージが表示されます。



参考

- 正しく機能しないときは、モニターがタリー制御に対応しているか、およびRS-232Cで接続され電源が入っているか確認してください。お使いのモニターがタリー制御に対応しているかどうか不明な場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

左上の◀を押して、「周辺機器」に戻り設定完了です。

5.8.7 セキュリティ

情報ファイルの暗号化を「TripleDES」 / 「AES256」 / 「オフ」で切り替えることができます。

注意点

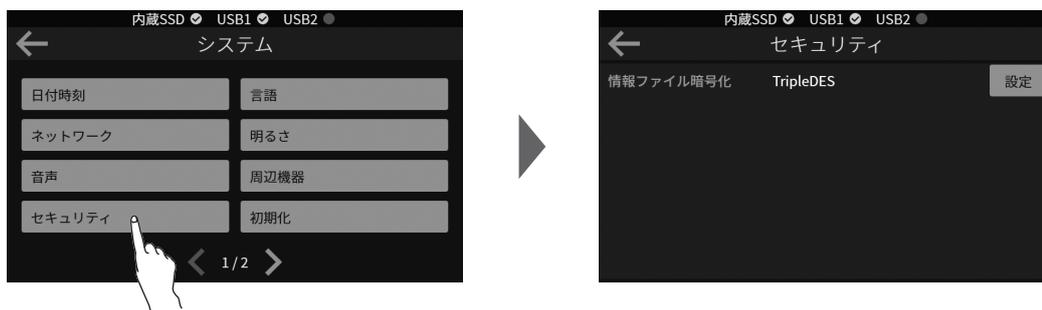
- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

参考

- 患者ID、患者名、および生年月日など個人特定につながる情報を暗号化の対象にしています。

1. 「ホーム画面メニュー」で⚙️を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。

3. 「システム」で「セキュリティ」を押します。



4. 「セキュリティ」で「情報ファイル暗号化」の「暗号化方式」の項目を「TripleDES」 / 「AES256」 / 「オフ」から選択します。



5. 暗号化方式で「AES256」を選択したときは、パスワードを設定します。



「OK」を押します。左上の◀を押して、「システム」に戻り設定完了です。

注意点

- 暗号化方式で「AES256」を選択したときのパスワードは、8～32文字で設定してください。英大文字、英小文字および数字をそれぞれ一文字以上含む必要があります。ここで設定したパスワードはMIR Browserで使用します。
- パスワードを忘れると、データを復元することができなくなります。パスワードを紛失しないように注意してください。

5.8.8 初期化

設定の初期化と内蔵SSDのフォーマットをおこないます。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

設定の初期化

注意点

- 設定の初期化では内蔵SSDのデータは消去されません。データを消去するときは内蔵SSDのフォーマットをしてください。詳細は、[内蔵SSDのフォーマット \[P. 105\]](#)を参照してください。

参考

- 設定の初期化が完了すると自動的に再起動をおこないます。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。
3. 「システム」で「初期化」を押します。



4. 「初期化」で設定項目の「初期化」を押します。
初期化の「確認」メッセージが表示されたら、「はい」を押します。初期化が実行されます。



実行中は「初期化中…」のメッセージが表示されます。

完了後は、自動的に再起動が実行されます。

内蔵SSDのフォーマット

注意点

- フォーマットをおこなうと、内蔵SSDのデータはすべて消去され、元に戻せません。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「設定」で「システム」を押します。
3. 「システム」で「初期化」を押します。

4. 「初期化」で内蔵SSD項目の「フォーマット」を押します。

フォーマットの「確認」メッセージが表示されたら、「はい」を押します。フォーマットが実行されます。



5. フォーマット実行中は「フォーマット中…」のメッセージが表示されます。

フォーマットには約2分かかります。

完了後は、自動的に再起動が実行されます。

5.8.9 ソフトウェア更新

この製品のソフトウェアを更新することができます。ソフトウェア更新は、アップデートファイルを保存した外部ストレージを経由しておこないます。

アップデートファイルは事前に当社Webサイト (www.eizo.co.jp) からダウンロードしてください。

注意点

- USBストレージはレコーダー本体前面のUSB端子に直接接続してください。USBハブ経由の接続はサポートされません。
- ソフトウェアのバージョンダウンはできません。
- ソフトウェア更新中は電源を切らないでください。また、外部ストレージを取り外さないでください。
- アップデートファイルの拡張子はmirupです。
- 設定値はソフトウェア更新前の設定を引き継ぎます。
- ソフトウェア更新で追加された機能は初期値が設定されます。必要に応じて変更してください。
- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

参考

- 現在のバージョン情報は「ソフトウェア更新」または「インフォメーション」-「機器情報」で確認できます。

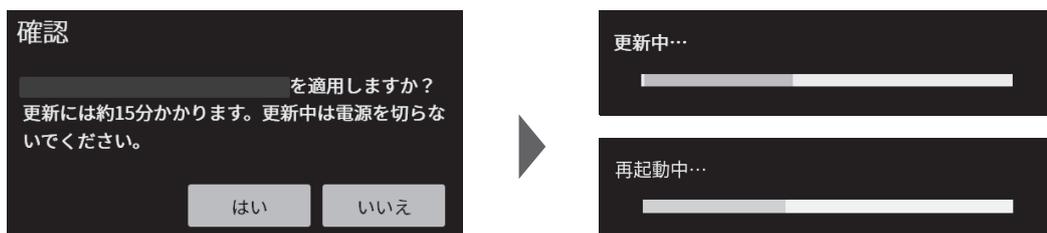
1. アップデートファイルを外部ストレージにコピーします。

NASを経由して更新する場合はNASの設定で指定した共有フォルダに、USBストレージを経由して更新する場合は先頭のパーティションのルートフォルダにコピーします。

- NAS経由の場合は、レコーダー本体背面のLAN1端子にNASを接続し、ネットワーク設定でNASが有効になっていること確認します。
USBストレージ経由の場合は、アップデートファイルをコピーしたUSBストレージをレコーダー本体前面のUSB端子に接続します。
- 「POWER」ボタンを押して電源を入れます。
- 「ホーム画面メニュー」で ⚙ を押します。
- 「設定」で「システム」を押します。
- 「システム」で「ソフトウェア更新」を押します。
現在のバージョンと更新ファイル一覧が表示されます。



- 適用したいファイルの \rightarrow を押します。
ソフトウェア更新の「確認」メッセージが表示されたら、「はい」を押します。



- ソフトウェア更新が実行されます。
ソフトウェア更新中は「POWER」ボタン (⊙) のランプが橙色に点滅し、「更新中…」のメッセージが表示されます。その後、「再起動中…」のメッセージが表示され、自動的に再起動が実行されます。ソフトウェア更新完了後は、「POWER」ボタン (⊙) のランプが緑色に点灯します。

5.8.10 ログ

ログと設定値情報を外部ストレージに出力します。

注意点
<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。 この製品に問題が生じたとき、お問い合わせの際にログファイルを出力して当社に送付してください。
参考
<ul style="list-style-type: none"> 出力ファイル名は日付 (YYYYMMDD) _CuratOR_MIR-1_製造番号 (8桁) .log.tarです。

1. NASに出力する場合は、レコーダー本体背面のLAN1端子にNASを接続し、ネットワーク設定でNASが有効になっていること確認します。ファイルはNASの設定で指定した共有フォルダに出力されます。
USBストレージに出力する場合は、USBストレージをレコーダー本体前面のUSB端子に接続します。
2. 「POWER」ボタンを押して電源を入れます。
3. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
4. 「設定」で「システム」を押します。
5. 「システム」で「ログ」を押します。



6. 出力先の外部ストレージを「USB1」、「USB2」または「NAS」から選択し、「ファイル出力」を押します。
出力中は「外部ストレージへ書き出し中…」のメッセージが表示されます。



7. 出力完了後に「通知」のメッセージが表示されます。



5.8.11 ライセンス情報

この製品は多数のオープンソースソフトウェアを利用し、ライセンスを管理しています。管理しているライセンス情報を外部ストレージに出力します。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

参考

- 出力ファイル名は (CuratOR_MIR-1_LICENSE.txt) です。

- NASに出力する場合は、レコーダー本体背面のLAN1端子にNASを接続し、ネットワーク設定でNASが有効になっていること確認します。ファイルはNASの設定で指定した共有フォルダに出力されます。
USBストレージに出力する場合は、USBストレージをレコーダー本体前面のUSB端子に接続します。
- 「POWER」ボタンを押して電源を入れます。
- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「システム」を押します。
- 「システム」で「ライセンス情報」を押します。



- 出力先の外部ストレージを「USB1」、「USB2」または「NAS」から選択し、「ファイル出力」を押します。
出力中は「外部ストレージへ書き出し中…」のメッセージが表示されます。



- 出力完了後に「通知」のメッセージが表示されます。



5.8.12 キャリブレーション

キャリブレーションとは、タッチパネルの補正をおこなう機能のことをいいます。タッチした位置と反応するボタン/項目がずれたり、タッチ操作が効かなくなったりしたときはキャリブレーションをおこなってください。

注意点

- 設定メニューは管理者権限のあるユーザーのみが実行できます。管理者権限のあるユーザーでログインする、または管理者タイプでの自動ログインが必要です。

- 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
- 「設定」で「システム」を押します。
- 「システム」で「キャリブレーション」を押します。
キャリブレーション開始の「確認」メッセージが表示されたら、「はい」を押します。



- キャリブレーション画面が表示されます。
- 左上から順に右上、左下、および右下のキャリブレーションをおこないます。
- タッチパネル左上の十字の中心をタッチします。
- タッチパネル右上、左下、および右下の順に繰り返しタッチします。
補正実行のメッセージが表示されます。
「はい」を押すと設定が完了し、自動的に再起動が実行されます。
「キャンセル」を押すと設定を破棄して「システム」に戻ります。



6 インフォメーション

6.1 機器情報

この製品の機器情報を表示します。

1. 「ホーム画面メニュー」で **i** を押します。
2. 「インフォメーション」で「機器情報」を押します。



- モデル
製品名が表示されます。
- S/N
製造番号が表示されます。
- バージョン
ソフトウェアのバージョンが表示されます。
- 使用時間
総使用時間が表示されます。

6.2 現在の設定

現在の設定を表示します。

参考

- 設定を変更したいときは、[5.2 映像入力 \[P. 84\]](#)、[5.4 録画 \[P. 86\]](#)を参照してください。

1. 「ホーム画面メニュー」で **i** を押します。
2. 「インフォメーション」で「現在の設定」を押します。



6.3 入力信号

映像入力信号の詳細を表示します。

参考

- ・ 入力信号を変更したいときは、[映像入力 \[P. 69\]](#)を参照してください。

1. 「ホーム画面メニュー」で **i** を押します。
2. 「インフォメーション」で「入力信号」を押します。

入力されている信号の情報（解像度およびフレームレート）が表示されます。



6.4 ネットワーク

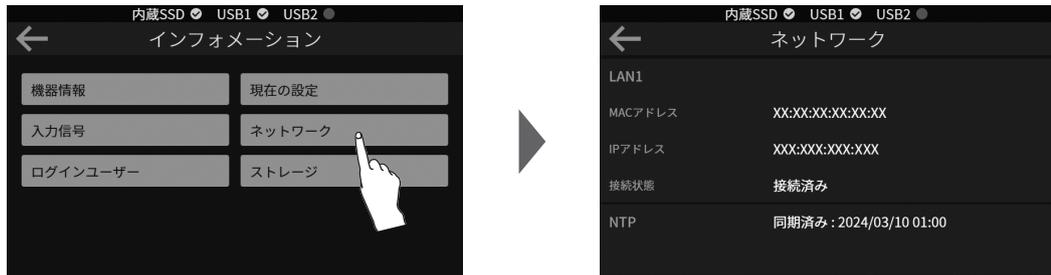
ネットワーク情報を表示します。

参考

- ・ 設定を変更したいときは、[ネットワーク \[P. 97\]](#)を参照してください。

1. 「ホーム画面メニュー」で **i** を押します。

2. 「インフォメーション」で「ネットワーク」を押します。

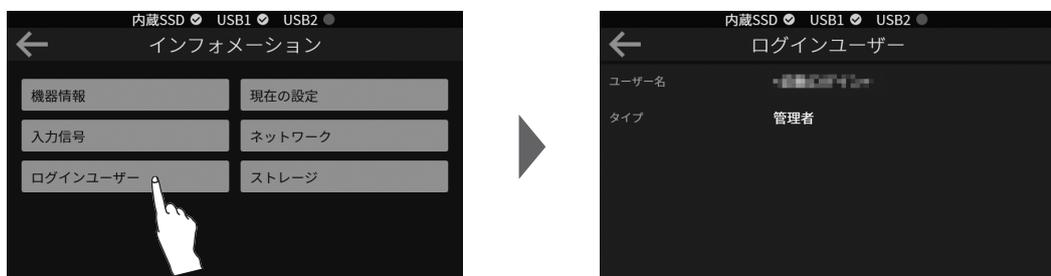


- MACアドレス
MACアドレスが表示されます。
- IPアドレス
IPアドレスが表示されます。
- 接続状態
接続状態が表示されます。
- NTP
最後にNTP同期に成功した日時が表示されます。

6.5 ログインユーザー

ログインしているユーザー情報を表示します。

1. 「ホーム画面メニュー」で ⓘ を押します。
2. 「インフォメーション」で「ログインユーザー」を押します。



- ユーザー名
ユーザー名が表示されます。
自動ログインの場合は「<自動ログイン>」と表示されます。
- タイプ
ユーザータイプが表示されます。

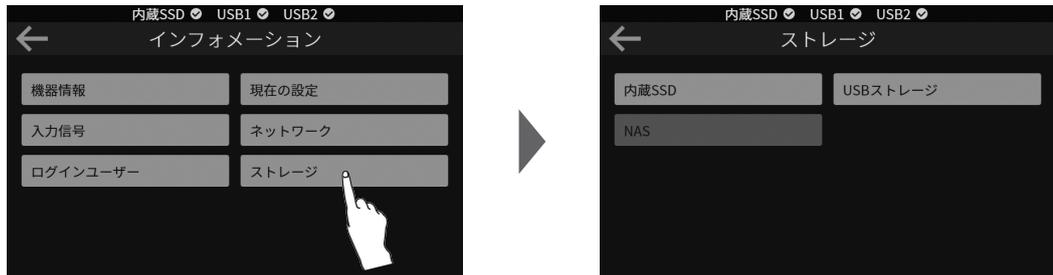
6.6 ストレージ

6.6.1 内蔵SSD

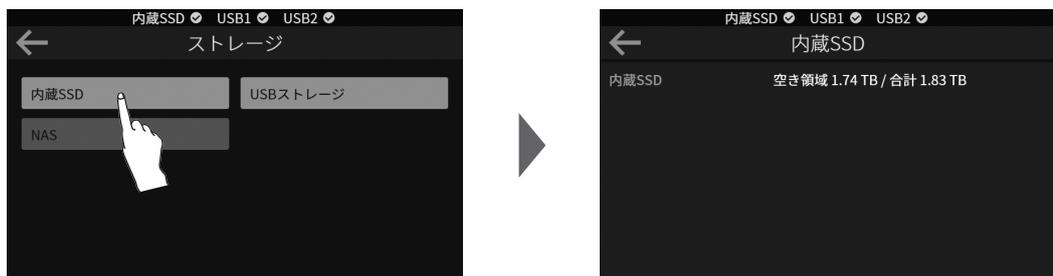
内蔵SSDのストレージ情報を表示します。

1. 「ホーム画面メニュー」で ⓘ を押します。

2. 「インフォメーション」で「ストレージ」を押します。



3. 「ストレージ」で「内蔵SSD」を押します。
内蔵SSDのストレージ情報が表示されます。



6.6.2 NAS

NASのストレージ情報を表示します。

注意点

- NASが有効になっている場合のみNASのストレージ情報を表示できます。詳細は、[ネットワーク \[P. 97\]](#)を参照してください。

1. 「ホーム画面メニュー」で  を押します。
2. 「インフォメーション」で「ストレージ」を押します。
3. 「ストレージ」で「NAS」を押します。
NASのストレージ情報が表示されます。



6.6.3 USBストレージ

USBストレージ情報を表示します。

注意点

- USBストレージが有効になっている場合のみUSBのストレージ情報を表示できます。詳細は、[USBストレージ \[P. 90\]](#)を参照してください。

1. 「ホーム画面メニュー」で **i** を押します。
 2. 「インフォメーション」で「ストレージ」を押します。
 3. 「ストレージ」で「USBストレージ」を押します。
- USB1 / USB2のストレージ情報が表示されます。



7 メンテナンス

7.1 記録データの退避

定期的には内蔵SSDの空き領域を確認してください。詳細は、[内蔵SSD \[P. 89\]](#)を参照してください。

記録データは「記録一覧」から、NASまたはUSBストレージにコピーをすることができます。詳細は、[記録データを外部ストレージにコピーする \[P. 65\]](#)を参照してください。

内蔵SSDの記録データは、「記録一覧」から選択して削除することができます。詳細は、[記録データを削除する \[P. 66\]](#)を参照してください。

7.2 ソフトウェア更新

この製品の背面のLAN1端子にNASを接続または前面にUSBストレージを接続して、「システム」の「ソフトウェア更新」からソフトウェアの更新をおこないます。

「ソフトウェア更新」では、現在のバージョンと更新ファイルが一覧で表示されます。詳細は、[ソフトウェア更新 \[P. 106\]](#)を参照してください。



8 こんなときは

8.1 映像が出力されない場合

本体画面に映像が表示されない

- 電源コードは正しく接続されていますか。
- 主電源を入れてください。
- 「POWER」ボタン (⊙) を押してください。
- 「POWER」ボタン (⊙) のランプは緑色に点灯していますか。橙色に点灯している場合は「POWER」ボタン (⊙) を押して電源を入れてください。
- この製品に接続している映像信号出力機器の電源は入っていますか。
- 信号ケーブルは正しく接続されていますか。入力信号に合った入力ポートが選択されているか確認してください (映像入力信号の設定 [P. 84]参照)。
- 入力信号が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか (9.2 対応解像度 [P. 125]参照)。
- HDMI信号を入力している場合は、「映像入力詳細」で互換性項目を変更してみてください (映像入力信号の設定 [P. 84]参照)。

外部モニターに映像が表示されない

- この製品に接続しているモニターの電源は入っていますか。
- 接続しているモニターが故障していないか確認してください。
- 映像入力信号ケーブルは正しく接続されていますか。映像入力信号に合った入力ポートが選択されているか確認してください (映像入力信号の設定 [P. 84]参照)。
- 接続しているモニターがこの製品で表示可能な信号に対応していることを確認してください (9.2 対応解像度 [P. 125]参照)。
- HDMI信号を入力している場合は、「映像入力詳細」で互換性項目を変更してみてください (映像入力信号の設定 [P. 84]参照)。
- レコーダーの映像出力端子と出力先のモニターが正しく接続されているか確認してください。表示されない場合は、接続している出力端子 (スルー出力端子とMonitor OUT端子) を切り替えてみてください。

意図した解像度と異なる解像度で映像が表示される

- HDMI信号を入力している場合は、「映像入力詳細」で互換性項目を変更してみてください (映像入力信号の設定 [P. 84]参照)。
- この製品に接続している映像信号出力機器の設定は適切ですか。

8.2 タッチパネルに関する症状

タッチ操作が効かない

- ・ 主電源を入れ直してみてください。
- ・ 「POWER」ボタン (⊙) のランプは緑色に点灯していますか。
- ・ タッチパネル周辺にシールなどが貼り付けられていないか確認してください。シールなどが付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。

タッチ位置と反応するボタンにずれがある

- ・ キャリブレーションを実行してください ([キャリブレーション \[P. 109\]](#)参照)。

8.3 録画に関する症状

録画できない

- ・ 内蔵SSDの空き領域が不足している可能性があります。「記録一覧」から不要な記録データを削除してください。

内蔵SSDの容量が不足する

- ・ 自動削除機能を「オン」に設定すると、内蔵SSDの空き領域が一定の値を下回った場合、自動的に古いデータから削除されます ([内蔵SSD \[P. 89\]](#)参照)。

NASが認識されない / NASに記録データを保管できない

- ・ NASのネットワーク設定を確認してください ([ネットワーク \[P. 97\]](#)参照)。
- ・ NASが有効かどうか確認してください ([ネットワーク \[P. 97\]](#)参照)。
- ・ NASの空き容量を確認してください ([NAS \[P. 114\]](#)参照)。
- ・ NASに設定しているパスワードが変わっていないかどうか確認してください。
- ・ NASに認証されたユーザーの権限に、書き込みが含まれているか確認してください。

USBストレージが認識されない / USBストレージに記録データを保存できない

- ・ USBストレージが有効かどうか確認してください ([USBストレージ \[P. 90\]](#)参照)。
- ・ この製品との互換性が確認されているUSBストレージかどうか確認してください。この製品とUSBストレージの互換性情報については、当社Webサイト (www.eizo.co.jp) でご確認ください。
- ・ USBストレージの空き領域を確認してください ([USBストレージ \[P. 114\]](#)参照)。
- ・ 別のUSB端子に差し替えてみてください。USBストレージは、レコーダー本体前面にあるUSB端子に接続した場合のみ記録データを保存できます。背面のUSB端子に接続している場合は、前面のUSB端子に差し替えてください。
- ・ 音声入力を使用している場合は、USBストレージをUSB1端子に接続してください。USB2端子に接続されたUSBストレージは無効になります。

- USBストレージを、この製品のUSBフォーマット機能でフォーマットしてみてください。（この製品はFAT32フォーマットのUSBストレージには対応していません。）
- この製品はUSBハブを経由したUSBストレージの接続には対応していません。USBハブを使用してUSBストレージを接続している場合は、USBハブからUSBストレージを取り外してレコーダー本体に直接接続してください。

録画時に外部ストレージに同時書き出しがおこなわれない

- 「記録モード」に入る前にUSBストレージまたはNASを接続してください。
- 「録画」にて「同時記録」が「NAS」または「USBストレージ」に設定されていることを確認してください（[外部ストレージを接続する \[P. 52\]](#)参照）。

USBストレージがMacで認識されない

- Macで使用する場合は、この製品のUSBストレージのフォーマット機能で「exFAT」を選択してフォーマットしてください。フォーマットをおこなうと、USBストレージに保存されているデータはすべて消去されます。データが消去されても問題ないことを確認してからフォーマットしてください。

USBストレージの容量が小さく表示される

- USBストレージが複数のパーティションで区切られている場合、小さく表示されます。この製品のUSBストレージのフォーマット機能でフォーマットしてから使用してください。フォーマットをおこなうと、USBストレージに保存されているデータはすべて消去されます。データが消去されても問題ないことを確認してからフォーマットしてください。

USB転送が遅い

- USB 5Gbps以上のUSBストレージ（SSDを推奨）を使用してください。

音声記録されない

- 「音声入力」にて「ソース」が「マイク」または「オーディオ」に設定されていることを確認してください。正しく設定されている場合は、感度を調整してみてください（[5.3 音声入力 \[P. 85\]](#)参照）。
- オーディオ入力端子（J2）またはマイク入力端子（J3）に音声信号出力機器を接続していることを確認してください。
「音声入力」にて正しく設定されていることを確認してください（[5.3 音声入力 \[P. 85\]](#)参照）。

記録した音声再生できない

- オーディオ出力端子（J1）にスピーカーなどの外部機器を接続していることを確認してください。

8.4 その他の症状

本体画面が明るすぎる / 暗すぎる

- ・ 設定画面にて明るさを設定してください。

トリガー入力が機能しない

- ・ トリガー入力端子に接続していることを確認してください。ライン端子に接続した場合は動作しません。
「トリガー入力」にて正しく設定されていることを確認してください（[トリガー入力 \[P. 100\]](#)参照）。

バーコードリーダーでIDを読み込んでも、IDが読み込みできない

- ・ バーコードリーダーのモード設定がキーボードになっているか確認してください。
- ・ バーコードリーダーをレコーダー本体前面のUSB端子に接続している場合は、背面のUSB端子に接続し直してください。

バーコードリーダーでIDを読み込んでも、IDが確定されない

- ・ バーコードリーダーの設定で終端コードとしてEnterキーを入れると、Enter入力操作が不要になります。
- ・ 終端コードを設定しない場合は、USBキーボードまたはソフトウェアキーボードでEnterを入力してください。

録画したファイルがコンピュータで再生できない

- ・ 動画のエンコード方式項目で「H.265」を選択している場合、再生側のコンピュータにもH.265コーデックが必要になります。
コンピュータがH.265の再生に対応していない場合は「H.264」を選択してください。

録画ファイルが途切れ途切れになっている

- ・ 映像信号が途切れたり、変化したりすると、録画ファイルを作り直すため映像が途切れます。信号スイッチャーなどを利用して、信号切り替えなどをおこなった場合も同様にファイルを作り直します。

「EIZOモニター録画タリー制御」または「EIZOモニター録画/静止画タリー制御」を有効にしてもタリーが表示されない

- ・ タリー表示対応のモニターか確認してください。ご不明な場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- ・ レコーダーとモニターがRS-232Cストレートケーブルで接続されているか確認してください。

「POWER」ボタン（Ⓞ）のランプが緑色または橙色に点滅する

- 起動中またはシャットダウン中は、ランプが緑色に点滅します。
- ソフトウェア更新中は、ランプが橙色に点滅します。
- 上記以外の場合は製品が故障している可能性があります。お客様ご相談窓口にお問い合わせください。お問い合わせの際には、点滅のパターン（緑色1回、橙色2回など）をご連絡ください。

本体画面に「内部が高温のため、使用を中止してください。使い続けると強制的にシャットダウンします。」というメッセージが表示される

- この製品には冷却用のファンが内蔵されています。このメッセージが表示された場合は、ファンが正常に動作していない可能性があります。お客様ご相談窓口にご連絡ください。

パスワードを忘れた

- お客様ご相談窓口にご連絡ください。

9 仕様

9.1 仕様

9.1.1 映像入力

端子	HDMI×1、12G-SDI (BNC) ×1
解像度	最大3840×2160

9.1.2 映像出力

スルーアウト端子	HDMI×1、12G-SDI (BNC) ×1
Monitor OUT端子	HDMI (1920×1080) ×1

9.1.3 録画

動画圧縮形式	H.264、H.265
動画ファイルフォーマット	MP4
静止画圧縮形式	JPEG、TIFF
静止画ファイルフォーマット	JPEG、TIFF

9.1.4 録音

音声形式	AAC
------	-----

9.1.5 電源

電源入力	AC 100 - 240 V ± 10 %、50 / 60 Hz、0.70 - 0.35 A
最大消費電力	68 W以下
待機時消費電力	7 W以下 (HDMI信号入力時)

9.1.6 機構

外観寸法 (幅×高さ×奥行き)	220.0 mm×107.2 mm×300.0 mm
質量	約3.8 kg

9.1.7 タッチパネル

サイズ	5.0 型
検出方式	抵抗膜方式

9.1.8 USB (前面)

ポート	ダウンストリーム	USB-A (USB 5Gbps) ×2
規格		USB Specification Revision 3.1 Gen 1
通信速度		5 Gbps、480 Mbps、12 Mbps、1.5 Mbps
供給電源		最大900 mA / 1ポート

9.1.9 USB (背面)

ポート	ダウンストリーム	USB-A (USB 2.0) ×4
規格		USB Specification Revision 2.0
通信速度		480 Mbps、12 Mbps、1.5 Mbps
供給電源		最大500 mA / 1ポート

9.1.10 音声入力

端子		ライン入力 (3極 3.5 mmミニジャック) ×1 マイク入力 (3極 3.5 mmミニジャック) ×1
サンプリングレート		48 kHz
形式	ライン入力	アナログ ステレオ
	マイク入力	アナログ モノラル

9.1.11 音声出力

スピーカー		内蔵
端子		3極 3.5 mmミニジャック×1

9.1.12 ネットワーク

ポート		RJ-45 (LANアダプタ)
有線LAN		IEEE802.3ab (1000BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX)
プロトコル		SMB (暗号化通信およびユーザー認証対応)

9.1.13 その他

RS-232C		D-Sub 9ピン×1
トリガー入力		3極 3.5 mmミニジャック×2

9.1.14 動作環境条件

温度		0 °C~40 °C
湿度		20 %~80 %R.H. (結露なきこと)
気圧		540 hPa~1060 hPa

9.1.15 輸送 / 保存環境条件

温度	-20 °C~60 °C
湿度	10 %~90 %R.H. (結露なきこと)
気圧	200 hPa~1060 hPa

9.2 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。（○：対応、－：非対応）

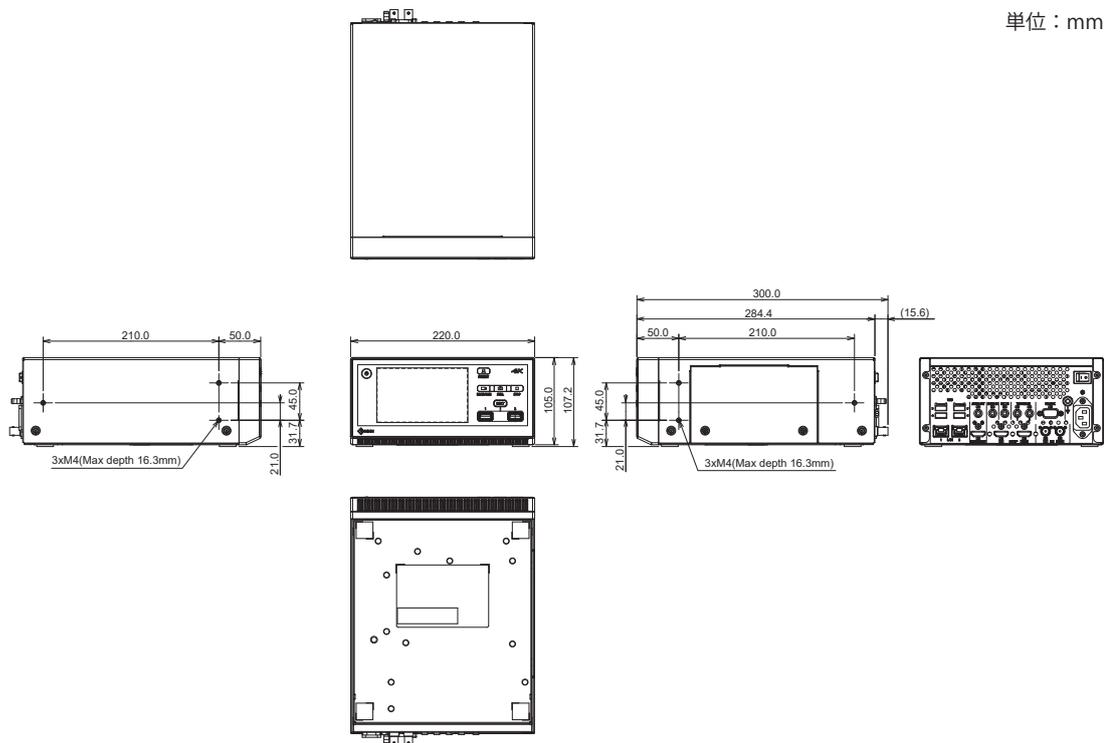
解像度	スキャン方式	垂直走査周波数 (Hz)	HDMI入力		SDI入力
			HDMI	DVI ^{※1}	
800×600	プログレッシブ	60.317	○	○	－
1024×768	プログレッシブ	60.004	○	○	－
1280×768	プログレッシブ	59.870	○	○	－
1280×1024	プログレッシブ	60.020	○	○	－
1600×1200	プログレッシブ	60.000	○	○	－
1920×1200	プログレッシブ	59.950	○	○	－
1280×720	プログレッシブ	25.000	○	－	○
1280×720	プログレッシブ	30.000	○	－	○
1280×720	プログレッシブ	29.970	○	－	○
1280×720	プログレッシブ	59.940	○	－	○
1280×720	プログレッシブ	60.000	○	○	○
1920×1080	インターレース	59.940	○	－	○
1920×1080	インターレース	60.000	○	－	○
1920×1080	プログレッシブ	59.940	○	－	○ ^{※2}
1920×1080	プログレッシブ	60.000	○	○	○ ^{※2}
1280×720	プログレッシブ	50.000	○	－	○
1920×1080	インターレース	50.000	○	－	○
1920×1080	プログレッシブ	50.000	○	－	○ ^{※2}
1920×1080	プログレッシブ	25.000	○	－	○
1920×1080	プログレッシブ	29.970	○	－	○
1920×1080	プログレッシブ	30.000	○	－	○
3840×2160	プログレッシブ	25.000	○	－	○
3840×2160	プログレッシブ	29.970	○	－	○
3840×2160	プログレッシブ	30.000	○	－	○
3840×2160	プログレッシブ	50.000	○	－	○ ^{※2}
3840×2160	プログレッシブ	50.000	○ ^{※3}	－	－
3840×2160	プログレッシブ	59.940	○	－	○ ^{※2}
3840×2160	プログレッシブ	59.940	○ ^{※3}	－	－
3840×2160	プログレッシブ	60.000	○	－	○ ^{※2}
3840×2160	プログレッシブ	60.000	○ ^{※3}	－	－

※1 DVI-HDMI変換ケーブルを使用

※2 YCbCr422のみ、10 bitに対応しています。

※3 YCbCr420に対応しています。

9.3 外観寸法



9.4 オプション品

次のオプション品を別売りで用意しています。

メディカルイメージング視聴・管理ソフトウェア	MIR Browser
フットスイッチ	FS500

9.4.1 フットスイッチ (CuratOR FS500)

CuratOR FS500はEIZO CuratOR MIR-1の専用品です。

- フットスイッチ (CuratOR FS500) 使用時の注意事項
次の点に注意してください。故障の原因となります。
 - 製品の仕様を守って使用してください。
 - 製品の上に物を落とさないでください。
 - ケーブルを持って持ち運びをしないでください。
 - ケーブルの上に物を置いたり、落としたりしないでください。
 - プラグ接続部に強い負荷をかけないでください。
 - クリーニングやメンテナンス前にレコーダー本体から接続端子を外してください。
 - カバーを外したり分解しないでください。

仕様**機構**

外観寸法（幅×高さ×奥行き）	73.0 mm×30.5 mm×103.0 mm
質量	約260 g

動作環境条件

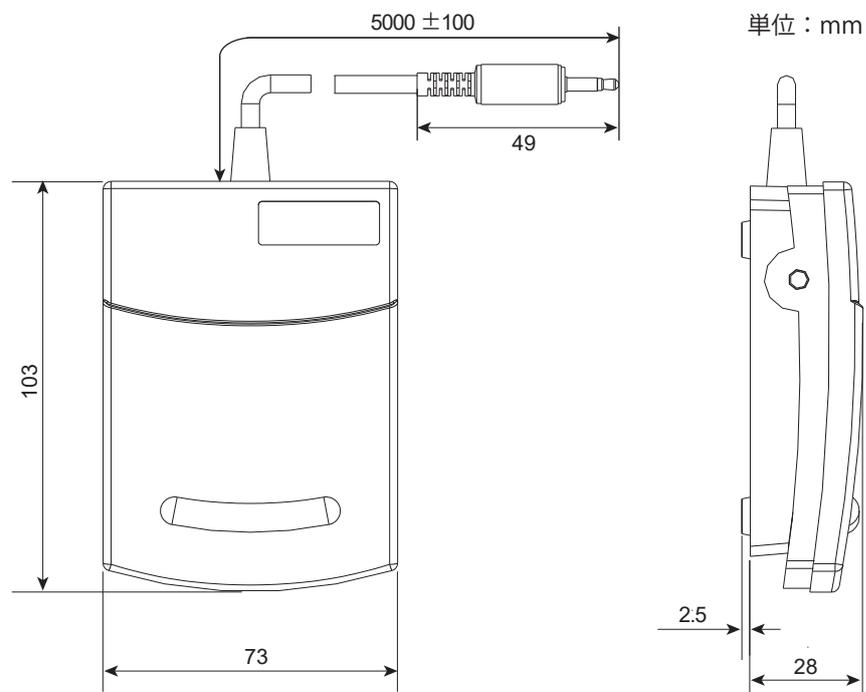
温度	0 °C~40 °C
湿度	20 %~80 %R.H.（結露なきこと）
気圧	800 hPa~1060 hPa

輸送 / 保存環境条件

温度	-20 °C~60 °C
湿度	10 %~90 %R.H.（結露なきこと）
気圧	200 hPa~1060 hPa

その他

端子	3極 3.5 mmミニジャック
ケーブル長さ	5 m
保護等級	IPX8

外観寸法

薬品による消毒

- フットスイッチを消毒する場合は、当社でテスト済みの薬品の使用をお勧めします（次の表を参照してください）。なお、これらの薬品を使用した場合でも、製品が損傷したり劣化しないことを保証するものではありません。

分類	薬品の種類	商品例
アルコール系	消毒用エタノール（エチルアルコール）	エタノール
アルコール系	イソプロパノール	イソプロピルアルコール（IPA）

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Incの商標または登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

MacはApple Inc.の商標です。

ADMENICはカーリーナシステム株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、CuratORIはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。オープンソースソフトウェアのうちGPL（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合には、GPLの利用許諾条件に従い、当社は次のコンタクト情報宛てにコンタクトしてきた個人、団体に対し、お買い上げ後、少なくとも3年間、実費にてGPLソフトウェアに対応するソースコードを、CD-ROMなどの媒体により頒布いたします。また、LGPL（GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）またはMPL（Mozilla Public License）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合についても、上述のGPLの場合と同様の手続きにてソースコードを頒布いたします。

コンタクト情報：www.eizo.co.jp/support/product/contact.html

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、この製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、この製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.hevcadvance.com

本製品には、Independent JPEG Groupによって作成されたソフトウェアが含まれていません。

医療規格

- この製品を用いる装置を設計、使用する場合は、IEC60601-1の規格要求に従ってください。
- フットスイッチ（CuratOR FS500）を用いる装置を使用する場合は、IEC60601-1の規格要求に従ってください。

EMC情報

MIR-1は、医療機器で撮影された画像や映像を記録する性能を有しています。

意図した使用環境

本製品は次の環境での使用を意図しています。

- ・ 医院・病院などの専門的ヘルスケア施設内の環境（電気メスなどの高周波手術機器の近傍を含む）

次のような環境での使用は意図していません。

- ・ ホームヘルスケア環境
- ・ 短波治療機器の近傍
- ・ MRI用RF遮蔽室内
- ・ 遮蔽された場所の特殊環境内
- ・ 救急車両を含む車載
- ・ その他特殊環境

警告

- ・ MIR-1は、EMC（電磁両立性）に関する特別な安全上の注意を必要とします。EMC情報および本書内の「使用上の注意」をよくお読みになり、以下の指示に従って、設置、操作する必要があります。

警告

- ・ MIR-1は、他の機器に隣接した設置や積み重ねた状態で使用をしないでください。やむを得ずその状態で使用する場合は、MIR-1およびシステムが実際に使用される構成で正常に動作することを確認してください。

警告

- ・ 携帯型RF通信機器は、ケーブルを含むMIR-1のいかなる部分に対しても、30cm（12インチ）以上離して使用してください。MIR-1に影響を与える恐れがあります。

警告

- ・ 信号入力部または出力部に追加装置を接続し、医療システムで使用する場合は、必ずIEC60601-1-2の要件に準拠してください。

警告

- ・ 高周波手術機器などを使用する場合に映像が乱れることがあります。あらかじめ、使用に当たって問題がないことを確認してください。

警告

- ・ MIR-1の使用中は信号入出力コネクタ類には触らないでください。表示画像に影響を与える恐れがあります。

 警告
<ul style="list-style-type: none"> ケーブルは、必ず次の表の条件を満たすケーブルを使用してください。 条件を満たさないケーブルを使用した場合、電磁妨害波の増加、電磁妨害に対する耐性低下の恐れがあります。

ケーブル	最大ケーブル長	シールド
AC電源コード	2 m	シールドなし
BNCケーブル (SDI)	30 m	シールドあり
HDMIケーブル	2 m	シールドあり
RS-232Cケーブル	3 m	シールドあり
USBケーブル	3 m	シールドあり
LANケーブル	30 m	シールドあり
オーディオケーブル	2.1 m	シールドなし
TRIGGER IN端子ケーブル	5 m	シールドなし

技術的説明

電磁エミッション

MIR-1は、次に規定する電磁環境内での使用を意図している。

顧客またはMIR-1の使用者は、次の環境でMIR-1が使用されていることを確認すること。

エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RFエミッション CISPR11	グループ1	MIR-1は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。 したがって、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器 に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RFエミッション CISPR11	クラスB	MIR-1は、住居環境および住居環境の建物に供給する公共の低電 圧用の配電網に直接接続された建造物を含む、すべての施設での 使用に適している。
高調波エミッション IEC61000-3-2	クラスD	
電圧変動/フリッカエ ミッション IEC61000-3-3	適合	

電磁イミュニティ

MIR-1は、IEC60601-1-2で規定される専門的ヘルスケア施設環境での要求試験レベル (T) に対して、次の適合レベル (C) で試験されている。

顧客またはMIR-1の使用者は、次の環境でMIR-1が使用されていることを確認すること。

イミュニティ試験	試験レベル (T)	適合レベル (C)	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC61000-4-2	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であること。
電气的ファストランジェント/バースト IEC61000-4-4	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。
サージ IEC61000-4-5	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。
交流電源における電圧ディップ、瞬時停電、および電圧変動 IEC61000-4-11	0% U_T (100% U_T のディップ) 0.5サイクル、1サイクル 70% U_T (30% U_T のディップ) 25サイクル / 50 Hz 0% U_T (100% U_T のディップ) 250サイクル / 50 Hz	0% U_T (100% U_T のディップ) 0.5サイクル、1サイクル 70% U_T (30% U_T のディップ) 25サイクル / 50 Hz 0% U_T (100% U_T のディップ) 250サイクル / 50 Hz	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。MIR-1の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合は、MIR-1への電力を無停電電源または電池から供給することを推奨する。
電力周波数磁界 IEC61000-4-8	30 A/m (50/60 Hz)	30 A/m	電力周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を持つこと。 電力周波数磁界の発生源とは少なくとも15cm以上離して使用すること。

イミュニティ試験	試験レベル (T)	適合レベル (C)	電磁環境 - ガイダンス
RF電磁界による伝導妨害 IEC61000-4-6	3 Vrms 150 kHz～80 MHz 6 Vrms 150 kHz～80 MHz間のISM帯域 ^{※1}	3 Vrms 6 Vrms	携帯型および移動型RF通信機器は、ケーブルを含むMIR-1のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離 $d = 1.2\sqrt{P}$ $d = 1.2\sqrt{P}$
放射RF電磁界 IEC61000-4-3	3 V/m 80 MHz～2.7 GHz	3 V/m	$d = 1.2\sqrt{P}$ 80 MHz～800 MHz $d = 2.3\sqrt{P}$ 800 MHz～2.7 GHz ここでPは、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、dはメートル (m) で表した推奨分離距離である。電磁界の現地調査 ^{※2} によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲 ^{※3} における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が発生する可能性がある。 

参考

- U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。
- 80 MHzおよび800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。
- RF電磁界による伝導妨害や放射RF電磁界に関するこれらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

※1 150 kHz～80 MHz間のISM（工業用、科学用および医学用）帯域は、6.765 MHz～6.795 MHz、13.553 MHz～13.567 MHz、26.957 MHz～27.283 MHz、および40.66 MHz～40.70 MHzである。

※2 例えば、（携帯/コードレス）電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送およびTV放送などの固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測することはできない。固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。MIR-1が使用される場所において測定した電界強度が、上記の適用されるRF適合性レベルを超える場合は、MIR-1が正常に動作するかを検証するために監視すること。異常動作が確認された場合は、MIR-1の再配置または再設置のような追加対策が必要になることがある。

※3 周波数範囲150 kHz～80 MHzにわたって、電界強度は3 V/m未満であること。

携帯型および移動型RF通信機器との間の推奨分離距離と確認された各種通信機器サービス

MIR-1は、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。顧客またはMIR-1の使用者は、携帯形及び移動型RF通信機器（送信機）とMIR-1との間の最小距離（30 cm）を維持することで、電磁妨害を抑制することができる。以下のRF通信サービスにおける近接電磁界イミュニティの要求試験レベル（T）に対して、MIR-1は次の適合レベル（C）で試験されている。

試験周波数 (MHz)	帯域 ^{※1} (MHz)	サービス ^{※1}	変調 ^{※2}	試験レベル (T) ^{※3} (V/m)	適合レベル (C) (V/m)
385	380~390	TETRA 400	パルス変調 ^{※2} 18 Hz	27	27
450	430~470	GMRS 460, FRS 460	FM ±5 kHz偏差 1 kHz正弦	28	28
710	704~787	LTE帯域13,17	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	9	9
745					
780					
810	800~960	GSM800/900, TETRA 800, iDEN 820 CDMA 850, LTE帯域5	パルス変調 ^{※2} 18 Hz	28	28
870					
930					
1720	1700~1990	GSM 1800; CDMA 1900; GMS 1900; DECT; LTE帯域1,3,4,25; UMTS	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	28	28
1845					
1970					
2450	2400~2570	ブルートゥース®, WLAN, 802.11 b/g/n, FIRD 2450, LTE帯域7	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	28	28
5240	5100~5800	WLAN 802.11a/n	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	9	9
5500					
5785					

※1 サービスによっては、アップリンク周波数のみ含まれる。

※2 搬送波は、50%デューティサイクル矩形波信号を用いて変調した。

※3 試験レベルは、最大電力、30cmの分離距離により計算した。

顧客またはMIR-1の使用者は、RF送信機とMIR-1との間の最小距離（15cm）を維持することで、近接磁界による妨害を抑制することができる。以下の近接磁界イミュニティの要求試験レベル（T）に対して、MIR-1は次の適合レベル（C）で試験されている。

試験周波数	変調	試験レベル (T) (A/m)	適合レベル (C) (A/m)
134.2 kHz	パルス変調 ^{※1} 2.1 kHz	65	65
13.56 MHz	パルス変調 ^{※1} 50 kHz	7.5	7.5

※1 搬送波は、50%デューティサイクル矩形波信号を用いて変調した。

MIR-1は、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。その他の携帯型及び移動型RF通信機器（送信機）について、通信機器の最大出力に基づくMIR-1との間の最小距離は、次のとおりである。

送信機の最大定格出力 (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150 kHz～80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz～800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz～2.7 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストされていない最大定格出力の送信機に関しては、送信機の周波数に対応する式を使用して推奨分離距離d（単位はメートル（m））を決定できる。ここで、Pは送信機製造業者による送信機の最大定格出力（単位はワット（W））である。

参考

- 80 MHzおよび800 MHzにおいて、分離距離は高い周波数範囲を適用する。
- RF電磁界による伝導妨害や放射RF電磁界に関するこれらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

VCCI

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

修理、保守、点検時には、情報漏洩防止のために、この製品内に保存されているデータおよび設定情報はあらかじめ削除してご依頼ください。削除するためには、この製品に搭載されている機能を使用して内蔵SSDをフォーマットしてください（[内蔵SSDのフォーマット \[P. 105\]](#)参照）。削除する前に、必要に応じてデータのバックアップをおこなってください。故障によりデータを削除できない場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

参考

- ・ 内蔵SSDが故障している場合は、レコーダー本体前面の「POWER」ボタン（）のランプが、緑色1回→橙色4回の順に点滅します。

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、故障箇所の修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・ お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号（製造番号は、本体の底面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- ・ 使用環境（この製品に接続している機器の製品名、型番など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・ エラーコード（画面に表示された場合）

廃棄について

- ・ この製品および付属品を廃棄する際は、産業廃棄物としての扱いとなりますので、この製品を使用している地域、自治体の規制に従って廃棄してください。また、この製品には、リチウム一次電池が内蔵されています。製品を廃棄する際は、電池を取り扱う産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。
- ・ 廃棄にあたっては、個人情報漏洩防止のために、この製品内に保存されている個人データ（患者情報、患部映像など）を完全に削除する必要があります。内蔵SSDはこの製品に搭載されている機能を使用してフォーマット（[内蔵SSDのフォーマット \[P. 105\]](#)参

照)の上、物理的に破壊するなど復元不可能な状態にする措置を講じることをお勧めします。お客様でのデータの完全削除が難しい場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

製品名	保証期間
CuratOR® MIR-1	お買い上げの日より 2年間

※別売オプション品のフットスイッチ「CuratOR FS500」の保証期間はお買い上げの日より1年間です。

記入欄

フリガナ	製造番号 (S/N)
お名前	様 製造番号は、本体の底面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
TEL ()	お買い上げ年月日 年 月 日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

- この製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無償で故障箇所の修理または交換をいたします。保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお申しつけください。
- 保証期間内でも次のような場合には、有償となります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因や、塵・埃に起因する故障および損傷
 - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障および損傷
 - 当社が想定する使用環境や使用状況を逸脱した場合
 - 外装の劣化、変色
 - 付属品（ケーブル、取扱説明書など）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 当社指定の消耗品（電池）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 塵・埃などの外的要因による冷却ファンの異音、回転不良
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
- 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。保証期間経過後の修理または交換については、お買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低5年間保有しています。この期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
- 修理状況や補修用性能部品の在庫切れなどにより修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただきます。
- 当社は、この製品の使用または故障により生じた直接、間接（逸失利益などを含む）のいかなる損害についても一切の責任を負いません。また、この製品内に保存されたデータの消失などについても同様です。
- 当社は、この製品内に保存されている映像データの違法または無許可の公開または利用に起因するいかなる損害賠償請求についても一切の責任を負いません。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。



EIZO株式会社

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

www.eizo.co.jp

Copyright © 2023 - 2024 EIZO Corporation. All rights reserved.

00N0N351D2

IFU-MIR-1

4th Edition – November 19th, 2024